

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査
被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査
について集計・分析報告書
(資料編)

平成 23 年 7 月

全国衛生部長会

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| I. 東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査 | 1 |
| 北海道（医療救護班） | 2 |
| 北海道（心のケアチーム） | 4 |
| 北海道（健康相談班） | 6 |
| 札幌市（福島第14班） | 10 |
| 札幌市（福島第15班） | 12 |
| 青森県（保健師チーム） | 14 |
| 青森県（スクリーニングチーム） | 16 |
| 青森県（地域医療チーム） | 18 |
| 青森県（健康福祉部高齢福祉保険課） | 20 |
| 青森県（健康福祉部こどもみらい課） | 22 |
| 青森県（介護職員チーム（障害）） | 24 |
| 仙台市 | 26 |
| 秋田県（保健師チーム） | 28 |
| 山形県 | 30 |
| 茨城県 | 32 |
| 栃木県（医師） | 34 |
| 栃木県障害福祉課（心のケア） | 36 |
| 栃木県（保健チーム） | 38 |
| 栃木県（放射線技師） | 40 |
| 群馬県 | 42 |
| 埼玉県 | 44 |
| さいたま市 | 46 |
| さいたま市 | 48 |
| 千葉県 | 50 |
| 千葉県 | 52 |
| 千葉市 | 54 |
| 東京都（公衆衛生）【保政】 | 56 |
| 東京都（保健師①）【保政】 | 58 |
| 東京都（保健師②）【保政】 | 60 |
| 東京都（保健師③）【保政】 | 62 |
| 東京都（保健師④）【保政】 | 64 |
| 東京都（保健師⑤）【保政】 | 66 |
| 東京都（保健師⑤） | 68 |
| 東京都（こころのケア）【障害】 | 70 |
| 東京都（福祉職）【障害】 | 72 |
| 東京都（介護職）【高齢】 | 74 |

| | |
|--|-----|
| 東京都（児童）【少子】 | 76 |
| 東京都（事務職）【医政】 | 78 |
| 東京都（医療救護班）【病経】 | 80 |
| 東京都（薬剤師）【健安】 | 82 |
| 神奈川県（心のケアチーム・保健師チーム／精神科医、公衆衛生医師、保健師） | 84 |
| 神奈川県（介護職員） | 86 |
| 神奈川県（生活支援員） | 88 |
| 横浜市 | 92 |
| 横浜市 | 94 |
| 横浜市 | 96 |
| 川崎市 | 98 |
| 相模原市 | 100 |
| 新潟県 | 102 |
| 新潟市 | 104 |
| 富山県 | 106 |
| 石川県（こころのケアチーム第2 1班） | 108 |
| 石川県（障害者の相談業務に従事する者の派遣） | 110 |
| 石川県（医療救護班） | 112 |
| 石川県（健康管理チーム） | 114 |
| 石川県（健康管理チーム） | 116 |
| 福井県 | 118 |
| 山梨県障害福祉課（心のケアチーム） | 120 |
| 長野県（保健師チーム） | 122 |
| 長野県（心のケアチーム） | 124 |
| 長野県（介護職員チーム） | 126 |
| 岐阜県(保健師の派遣) | 128 |
| 静岡県（医療救護チーム） | 130 |
| 静岡県（公衆衛生チーム、保健師） | 132 |
| 静岡県（精神医療チーム） | 134 |
| 静岡県（児童福祉関連職員） | 136 |
| 静岡県（手話通訳者） | 138 |
| 静岡県（薬剤師） | 140 |
| 静岡市（こころのケアチーム・静岡県の編成チームに参加） | 142 |
| 静岡市（保健師チーム） | 144 |
| 浜松市（保健師チーム） | 146 |
| 愛知県（心のケアチーム） | 148 |
| 愛知県（保健師チーム） | 150 |
| 名古屋市 | 152 |
| 三重県（医療救護班） | 154 |

| | |
|-----------------------------|-----|
| 三重県（保健師班） | 156 |
| 滋賀県（医務薬務課） | 158 |
| 滋賀県（健康推進課） | 160 |
| 滋賀県（障害者自立支援課） | 162 |
| 京都府（医療救護班） | 164 |
| 京都府（保健師） | 166 |
| 京都府（心のケアチーム） | 168 |
| 京都府（放射線技師） | 170 |
| 京都府（子どもの心のケア・児童福祉司関係） | 172 |
| 京都府（手話通訳チーム） | 174 |
| 京都市 | 176 |
| 大阪府（心のケア） | 178 |
| 大阪府（保健師） | 180 |
| 大阪市 | 182 |
| 堺市 | 184 |
| 兵庫県（保健活動チーム） | 186 |
| 兵庫県（医療救護班） | 188 |
| 神戸市 | 190 |
| 奈良県（こころのケア） | 192 |
| 奈良県（保健師等） | 194 |
| 和歌山県 | 196 |
| 鳥取県 | 198 |
| 島根県（ボランティア） | 200 |
| 島根県（医師） | 202 |
| 島根県（児童心理士） | 204 |
| 島根県（心のケア） | 206 |
| 島根県（保健師） | 208 |
| 岡山県（こころのケアチーム） | 210 |
| 岡山県（保健福祉部医療推進課） | 214 |
| 岡山県（保健師） | 216 |
| 岡山市 | 218 |
| 広島県（医療救護班） | 220 |
| 広島県（広島県歯科医師会など） | 222 |
| 広島県（避難所運営支援） | 226 |
| 広島県（保健師派遣） | 228 |
| 広島市 | 230 |
| 山口県 | 232 |
| 徳島県(医療救護チーム） | 236 |
| 徳島県(こころのケアチーム） | 238 |

| | |
|-------------------|-----|
| 徳島県(介護支援チーム) | 240 |
| 徳島県(保健師チーム) | 242 |
| 香川県 (保健師派遣) | 244 |
| 香川県 (心のケアチーム) | 246 |
| 香川県 (医療救護班) | 248 |
| 愛媛県 (医師会チーム) | 250 |
| 愛媛県 (保健師チーム) | 252 |
| 高知県 (医療) | 254 |
| 高知県 (心のケア) | 258 |
| 高知県 (保健) | 260 |
| 福岡県 (健康相談) | 262 |
| 福岡県 (健康相談) | 266 |
| 福岡県 (スクリーニング) | 268 |
| 福岡県 (児童福祉司) | 270 |
| 北九州市 | 272 |
| 福岡市 | 274 |
| 佐賀県 (健康危機管理支援チーム) | 276 |
| 佐賀県 (健康危機管理支援チーム) | 278 |
| 佐賀県 (心のケアチーム) | 280 |
| 長崎県 (診療放射線技師) | 282 |
| 長崎県 (保健師) | 284 |
| 熊本県 | 286 |
| 大分県 (No.1) | 288 |
| 大分県 (No.2) | 290 |
| 大分県 (No.3) | 292 |
| 宮崎県 | 294 |
| 鹿児島県 | 296 |
| 沖縄県 (こころのケアチーム) | 298 |
| 沖縄県 (医療救護班) | 300 |
| 沖縄県 (保健師チーム 27) | 302 |
| 沖縄県 (保健師チーム) | 304 |

| | |
|-------------------------------------|-----|
| II. 東日本大震災被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査 | 306 |
| 北海道（健康相談班） | 307 |
| 北海道（「心のケア」チーム） | 308 |
| 札幌市（管理栄養士） | 309 |
| 札幌市（医師、保健師、相談員） | 310 |
| 青森県 | 311 |
| 秋田県（医師） | 313 |
| 秋田県（心のケアチーム） | 314 |
| 秋田県（保健師チーム） | 315 |
| 山形県 | 316 |
| 茨城県 | 318 |
| 栃木県（医師） | 319 |
| 栃木県（心のケアチーム） | 320 |
| 栃木県（保健チーム） | 321 |
| 栃木県（放射線技師） | 322 |
| 群馬県（医療救護班） | 323 |
| 群馬県（保健師班） | 324 |
| 埼玉県 | 325 |
| さいたま市 | 326 |
| さいたま市 | 327 |
| さいたま市 | 328 |
| さいたま市 | 329 |
| さいたま市 | 330 |
| 千葉県 | 331 |
| 千葉市（こども未来局） | 333 |
| 千葉市（病院局） | 334 |
| 千葉市（保健福祉局） | 335 |
| 東京都（保健政策部） | 336 |
| 東京都（医療政策部） | 338 |
| 東京都（高齢社会対策部） | 339 |
| 東京都（健康安全部環境衛生課） | 340 |
| 東京都（健康安全部薬務課） | 341 |
| 東京都（病院経営本部） | 342 |
| 神奈川県 | 343 |
| 横浜市 | 344 |
| 横浜市 | 345 |
| 横浜市 | 346 |
| 川崎市 | 347 |
| 相模原市 | 348 |

| | |
|------------------------|-----|
| 新潟県 | 349 |
| 新潟市 | 350 |
| 富山県（保健師派遣） | 351 |
| 富山県（医療救護班） | 352 |
| 石川県（児童福祉等の派遣） | 353 |
| 石川県（健康管理チーム） | 354 |
| 石川県（避難所衛生管理支援チーム） 5チーム | 355 |
| 石川県（スクリーニングチーム） | 356 |
| 石川県（医療救護班） | 357 |
| 石川県（こころのケアチーム） | 358 |
| 福井県 | 359 |
| 山梨県（医療救護班） | 360 |
| 山梨県（健康相談班） | 362 |
| 山梨県（心のケアチーム） | 363 |
| 長野県 | 364 |
| 岐阜県（保健師派遣チーム） | 365 |
| 静岡県（公衆衛生チーム） | 367 |
| 静岡県（一般医療） | 368 |
| 静岡県（児童福祉関係職員派遣） | 369 |
| 静岡県（児童福祉関係職員派遣） | 370 |
| 静岡県（手話通訳者） | 372 |
| 静岡県（精神医療チーム） | 374 |
| 静岡市（こころのケアチーム） | 375 |
| 静岡市（保健師チーム） | 376 |
| 静岡県浜松市（児童相談所） | 377 |
| 浜松市（保健師チーム） | 378 |
| 愛知県(保健師チーム) | 379 |
| 名古屋市 | 381 |
| 三重県 | 383 |
| 滋賀県健康福祉部健康推進課 | 385 |
| 滋賀県（障害1） | 386 |
| 滋賀県（障害2） | 387 |
| 京都府（放射線技師） | 388 |
| 京都府（医療救護班） | 389 |
| 京都府（保健師派遣） | 390 |
| 京都府（児童福祉部門） | 391 |
| 京都府（手話） | 392 |
| 京都府（心のケア） | 393 |
| 京都市 | 394 |

| | |
|-------------------------------|-----|
| 大阪府（こころのケアチーム） | 395 |
| 大阪府（医師・保健師チーム） | 396 |
| 大阪府（管理栄養士） | 397 |
| 大阪市 | 398 |
| 堺市 | 400 |
| 兵庫県 | 401 |
| 兵庫県（健康増進課保健活動） | 402 |
| 兵庫県（障害福祉課） | 404 |
| 神戸市 | 405 |
| 奈良県 | 406 |
| 和歌山県（こころのケアチーム） | 408 |
| 和歌山県（医療救護班） | 409 |
| 和歌山県（公衆衛生チーム） | 410 |
| 和歌山県（保健師チーム） | 411 |
| 鳥取県 | 413 |
| 島根県（医師） | 414 |
| 島根県（心のケア） | 415 |
| 島根県（保健師） | 416 |
| 岡山県精神科医療センター（心のケア） | 417 |
| 岡山県（保健福祉部医療推進課） … 医療救護班の派遣 | 418 |
| 岡山県（保健師） | 419 |
| 岡山市 | 420 |
| 広島県（HICARE:放射線被曝者医療国際協力推進協議会） | 421 |
| 広島県（医療救護班） | 422 |
| 広島県（避難所運営支援） | 423 |
| 広島県（保健師派遣） | 424 |
| 広島市① | 425 |
| 広島市② | 426 |
| 山口県（DMAT） | 427 |
| 山口県（心のケアチーム） | 428 |
| 山口県（被災者の健康相談等） | 429 |
| 徳島県（医療救護班） | 431 |
| 徳島県（心のケアチーム） | 432 |
| 徳島県（保健師チーム） | 433 |
| 徳島県（介護支援チーム） | 434 |
| 香川県 | 435 |
| 愛媛県（保健師チーム） | 436 |
| 高知県（医療） | 438 |
| 高知県（心のケア） | 439 |

| | |
|----------------------|-----|
| 高知県（保健） | 440 |
| 福岡県 | 441 |
| 北九州市 | 443 |
| 福岡市 | 445 |
| 佐賀県 | 446 |
| 長崎県 | 448 |
| 熊本県 | 449 |
| 大分県 | 450 |
| 宮崎県 | 451 |
| 鹿児島県 | 452 |
| 沖縄県（こころのケアチーム） | 453 |
| 沖縄県（医療救護班） | 454 |
| 沖縄県（保健師チーム） | 455 |

I．東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査

回答自治体名:北海道(医療救護班)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県陸前高田市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所、救護所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(県からの要請に基づき調整)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 1 | ② | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 2 | ② | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(臨床医師) | 2 | ② |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 6 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月2日で終了 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ※一部把握 |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 別紙のとおり |

回答自治体名:北海道(心のケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼保健所管内(主に気仙沼市内の唐桑地区)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(県からの要請に基づき調整)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 1 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ① | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 1 | ① | その他(臨床医師) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>9月2日まで隔週で派遣予定</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ※一部把握</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>別紙のとおり</p> |

回答自治体名:北海道(健康相談班)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(臨床医師) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)

7月3日～8月11日まで派遣予定

⑧ 派遣期間を決定した理由

- ① 国からの依頼
- ② 派遣先自治体との調整
- ③ その他()

⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか

- ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定
- ② 長期的支援は考えていない
- ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき
- ④ その他()

⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。

- 1 医師会の支援
 - ア 把握していない。
 - イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 2 病院団体の支援
 - ア 把握していない。
 - イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 3 ボランティア団体の支援
 - ア 把握していない。
 - イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 4 大学の支援
 - ア 把握していない。
 - イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 5 その他団体の支援
 - ア 把握していない。
 - イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ※一部把握

⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。

別紙のとおり

各団体の派遣状況(別紙)

| 団体名 | 活動内容 | 派遣期間 | 補助金等の有無 |
|--------------|-----------------------------|---|-----------|
| 北海道看護協会 | 災害支援ナースの派遣 (登録者数:190名) | <ul style="list-style-type: none"> ・3月24日～3月29日:1名(岩手県) ・3月25日～3月30日:10名(岩手県) ・3月28日～4月1日:1名(宮城県) ・4月3日～4月6日:1名(宮城県) ・4月5日～4月8日:3名(宮城県) ・4月6日～4月9日:1名(宮城県) ・4月7日～4月10日:1名(宮城県) ・4月7日～4月12日:1名(宮城県) ・4月8日～4月13日:1名(宮城県) ・4月10日～4月15日:2名(宮城県) ・4月11日～4月16日:2名(宮城県) ・4月13日～4月18日:2名(福島県) ・4月15日～4月20日:1名(岩手県) ・4月15日～4月20日:1名(福島県) ・4月16日～4月21日:1名(宮城県) ・4月18日～4月23日:1名(宮城県) ・4月22日～4月27日:2名(宮城県) ・4月22日～4月27日:3名(岩手県) | 補助金等無し |
| 北海道老人福祉施設協議会 | 要介護者に対する身体介護等支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮城県仙台市(特養仙台楽生園) 5月 1日～5月12日 2名 5月 4日～5月15日 2名 5月14日～5月25日 2名 5月19日～5月30日 2名 5月24日～6月 4日 2名 5月29日～6月 9日 2名 6月 3日～6月14日 2名 6月13日～6月24日 2名 6月18日～6月29日 2名 6月23日～7月 4日 2名 ○ 宮城県名取市(養護老人ホーム松寿園) 5月11日～5月22日 2名 5月21日～6月 1日 2名 5月31日～6月11日 2名 6月20日～7月 1日 2名 ○ 宮城県仙台市(特別養護老人ホームパルシア) 6月 5日～6月16日 2名 | 補助金等無し |
| 北海道社会福祉協議会 | 災害ボランティアセンター運営、生活福祉資金貸付業務支援 | <ul style="list-style-type: none"> (岩手県) 3月21日～3月26日:2名(道社協2名) 3月25日～3月30日:2名(道社協2名) 3月29日～4月 3日:2名(道社協2名) 3月30日～4月 3日:1名(道社協1名) 4月 2日～4月 7日:2名(道社協2名) 4月 6日～4月11日:5名(道社協1名、市町村社協4名) 4月10日～4月15日:5名(道社協1名、市町村社協4名) 4月14日～4月19日:5名(道社協1名、市町村社協4名) 4月18日～4月23日:5名(道社協1名、市町村社協4名) 4月26日～5月 2日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 5月 1日～5月 7日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 5月 6日～5月12日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 5月11日～5月17日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 5月16日～5月22日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 5月21日～5月27日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 5月26日～6月 1日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 5月31日～6月 8日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 6月 7日～6月15日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 6月14日～6月22日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 6月21日～6月29日:6名(道社協1名、市町村社協5名) 6月28日～7月 6日:6名(道社協1名、市町村社協5名) (宮城県) 5月 5日～5月12日:3名(市町村社協3名) 5月10日～5月17日:2名(市町村社協2名) 5月10日～5月17日:2名(市町村社協2名) 5月15日～5月22日:2名(市町村社協2名) (福島県) 5月 6日～5月12日:2名(市町村社協2名) 5月11日～5月17日:2名(市町村社協2名) 5月16日～5月22日:2名(市町村社協2名) 5月31日～6月 8日:1名(市町村社協1名) 6月 7日～6月15日:2名(市町村社協2名) 6月14日～6月22日:2名(市町村社協2名) 6月21日～6月29日:2名(市町村社協2名) | 補助金有り(予定) |

回答自治体名： 札幌市（福島第14班）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない（調査は以上で終了です） ② 実施している（②以降についてお答えください） | | | | | |
| ② 派遣先等（〇〇県〇〇市等） | | | | | |
| 福島県会津若松市 | | | | | |
| ③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等） | | | | | |
| 2次避難所（宿泊施設）ホテルリステル猪苗代 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他（ ） | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| | | | |
|--|------|-------------|--------|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | | | |
| 6月23日まで(6/17～6/23) | | | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | | | |
| <input checked="" type="radio"/> ① 国からの依頼 <input type="radio"/> ② 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> ③ その他() | | | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | | | |
| <input type="radio"/> ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> ② 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="radio"/> ④ その他() | | | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | | | |
| <input type="radio"/> ① 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> ② 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> ③ ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> ④ 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> ⑤ その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | | | |
| 札幌市医師会 | 死体検案 | 3月13日～3月15日 | 委託金等無し |

回答自治体名： 札幌市（福島第15班）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない（調査は以上で終了です） ② 実施している（②以降についてお答えください） | | | | | |
| ② 派遣先等（〇〇県〇〇市等） | | | | | |
| 福島県会津若松市 | | | | | |
| ③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等） | | | | | |
| 2次避難所（宿泊施設）ホテルリステル猪苗代 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他（ ） | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月28日まで(6/22～6/28) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 札幌市医師会 死体検案 3月13日～3月15日 委託金等無し |

回答自治体名：青森県（保健師チーム）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 会津保健所（会津若松市内に避難している大熊町）

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 二次避難所（ホテル）等。

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 1チーム（6月22日までに計15チーム）

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| H24年3月までを予定 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input type="radio"/> ① 国からの依頼 <input type="radio"/> ② 派遣先自治体との調整 <input checked="" type="radio"/> ③ その他(県として被災地の要請に応えるため。) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> ② 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> ④ その他(長期的支援に関する被災地のニーズを国が把握し、公表及び調整する。) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input type="radio"/> 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：青森県(スクリーニングチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(岩手県からの派遣要請)

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(医師) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:青森県(地域医療チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(岩手県からの派遣要請)

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(医師) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※県内の県立病院及び自治体病院5病院から各チーム5名程度で交代で派遣

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 医師会の派遣については、県からの災害派遣要請とすべきか国の考え方を確認中である。 |

回答自治体名:青森県(健康福祉部高齢福祉保険課)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- ① 実施していない(調査は以上で終了です)
- 2 実施している(②以降についてお答えください)

※4月4日～4月20日に、国からの依頼により実施。現在は派遣無し。

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(行政職員) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 ①青森県老人福祉協会 活動内容:岩手県の特別養護老人ホームへの介護職員の派遣 派遣先 陸前高田市の特養高寿園、大槌町の特養らふたあヒルズ、大船渡市の特養富美岡荘 派遣人員 76人(実数) 658人日(1日当たり派遣者数の累積値) 活動期間:平成23年4月12日～6月(7月以降は未定) 委託金等:無し。ただし、災害等従事車両証明書の交付等により支援している。 ②青森県認知症グループホーム協会 活動内容:岩手県のグループホームへの介護職員の派遣及び現地コーディネーター派遣 派遣先 釜石市のGHございしよの里 山田町のGHまぶる 大船渡市の特養富美岡荘 派遣人員 23人(実数) 138人日(1日当たり派遣者数の累積値) 活動期間:平成23年4月2日～7月(8月以降は未定) 委託金等:無し。ただし、災害等従事車両証明書の交付等により支援している。 |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか ① 実施していない(調査は以上で終了です) 2 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|-------|-----|--|--|-----|--|--|--------|--|--|-------|--|--|------|--|--|-------|--|--|-----|--|--|-------|--|--|-----|--|--|----------|--|--|-----|--|--|----------------|--|--|-------|--|--|-----|--|--|-------|--|--|-----|--|--|---------|--|--|---------|--|--|------|--|--|-------|--|--|---------|--|--|--------|--|--|---------|--|--|------------|--|--|---------------|--|--|-----|--|--|
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 1 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 <table border="1"><thead><tr><th>職種</th><th>人数</th><th>自治体種別</th><th>職種</th><th>人数</th><th>自治体種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>保健師</td><td></td><td></td><td>保育士</td><td></td><td></td></tr><tr><td>公衆衛生医師</td><td></td><td></td><td>児童指導員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>歯科医師</td><td></td><td></td><td>児童福祉司</td><td></td><td></td></tr><tr><td>獣医師</td><td></td><td></td><td>児童心理司</td><td></td><td></td></tr><tr><td>薬剤師</td><td></td><td></td><td>介護職員(高齢)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>看護師</td><td></td><td></td><td>生活支援員・介護職員(障害)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>歯科衛生士</td><td></td><td></td><td>事務職</td><td></td><td></td></tr><tr><td>管理栄養士</td><td></td><td></td><td>運転員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>診療放射線技師</td><td></td><td></td><td>食品衛生監視員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>精神科医</td><td></td><td></td><td>社会福祉士</td><td></td><td></td></tr><tr><td>精神保健福祉士</td><td></td><td></td><td>施設関係職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>臨床心理技術者</td><td></td><td></td><td>その他(行政職員)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ペット捕獲作業にあたる職員</td><td></td><td></td><td>総人数</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> | 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 | 保健師 | | | 保育士 | | | 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | | 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | | 獣医師 | | | 児童心理司 | | | 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | | 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | | 歯科衛生士 | | | 事務職 | | | 管理栄養士 | | | 運転員 | | | 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | | 精神科医 | | | 社会福祉士 | | | 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | | 臨床心理技術者 | | | その他(行政職員) | | | ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保健師 | | | 保育士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(行政職員) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：青森県（介護職員チーム（障害））

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 岩手県下閉伊郡山田町

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 社会福祉法人親和会 障害者支援施設はまなす学園

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 1チーム（5月29日からの33日間を5班で交替して担当）

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員（障害） | 5 | ③ |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月30日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 仙台市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- ① 実施していない(調査は以上で終了です)
2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
2 派遣先自治体との相互援助協定
3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:秋田県(保健師チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 岩手県釜石市 | | | | | |
| 岩手県大槌町 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ①釜石市民体育館、②釜石中学校、③中妻体育館 | | | | | |
| ④大槌町赤浜小学校 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 6 | ①、②、③ | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>平成23年6月30日</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(県内の避難者等の受け入れ支援を含めて当県が判断)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>能代市 派遣期間:平成23年3月14日～平成23年6月3日(大船渡市) 活動内容:個別訪問、避難所での健康相談、仮設巡回 派遣に関する委託金・補助金:なし</p> <p>湯沢市 派遣期間:平成23年5月16日～20日、6月27日～7月1日(石巻市) 活動内容:個別訪問、避難所での健康相談 派遣に関する委託金・補助金:なし</p> |

回答自治体名：山形県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

| | | | | | |
|--|---|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none">・7月1日から「心のケアチーム」を岩手県大槌町と福島県相馬市に派遣・本県では現在も、福島県等の多くの被災者を県内の避難所（ホテル等の二次避難所を含む）で受け入れているため、保健師等はこれに関連した保健活動に従事している。 | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| 2 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <div data-bbox="957 837 1417 1039" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>(参考) ・山形県医療救護班として派遣したもの以外は把握していない</p> </div> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:茨城県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 福島県福島市
 福島県郡山市
 福島県伊達郡川俣町等

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 福島市飯野学習センター
 郡山市総合体育館
 川俣町体育館等

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(厚生労働省を通じた福島県災害対策本部からの要請)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム
 (診療放射線技師を中心に、2~3名のチームを概ね1週間程度の交替で派遣)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | 1 | ① | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | 1 | ① | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | 27 | ① | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 29 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年6月13日～7月24日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 <input checked="" type="radio"/> ③ その他(厚生労働省を通じた福島県災害対策本部からの要請) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input checked="" type="radio"/> ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 栃木県障害福祉課(心のケア)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

○ 1 実施していない(調査は以上で終了です)
2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示
2 派遣先自治体との相互援助協定
3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 栃木県(保健チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県亶理郡亶理町 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 亶理町吉田地区 宮前仮設住宅 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2人 | ① ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2人 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 4月30日～6月29日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣開始時期については国からの依頼により決定。終了時期については派遣先の状況及び派遣元の事情を考慮して決定。) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| <p>団体名： 栃木県看護協会</p> <p>活動内容： 福島県内の避難所における避難者への健康支援 活動に計62名の災害支援ナースを派遣。</p> <p>活動期間： 4月11日～5月13日</p> <p>派遣に関する委託金・補助金の有無： 無</p> |

回答自治体名： 栃木県（放射線技師）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない（調査は以上で終了です） ② 実施している（②以降についてお答えください） | | | | | |
| ② 派遣先等（〇〇県〇〇市等） | | | | | |
| 福島県福島市 | | | | | |
| ③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等） | | | | | |
| 県北保健福祉事務所 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 ③ その他（ 福島県の要請を受けた国からの協力依頼により派遣 ） | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | 1 | ① | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月18日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(診療業務に支障を来さない範囲) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 栃木県社会福祉協議会 福島県内における市町社協災害ボランティアセンター立ち上げ等支援のために職員(市町社協職員を含む)を派遣 ・活動期間:平成23年3月26日～ ・派遣に関する補助金:有(4～6月分) |

回答自治体名:群馬県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

1 実施していない(調査は以上で終了です)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 埼玉県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ○ イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ○ イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 1 医師会の支援 ・ 派遣人数 延べ96人 ・ 派遣先 宮城県が多く、福島県、茨城県にも派遣。 岩手県には心のケアチームを派遣。 ・ 従事内容 検死、検案書作成、救護所、病院等での医療活動 ・ 委託金・補助金 無 2 日赤埼玉県支部 ・ 派遣人数 延べ207人 ・ 派遣先 宮城県、岩手県、福島県 ・ 従事内容 医療救護班 延べ21班、143人(3病院) 心のケア 延べ26人 被災病院等支援 延べ38人 ・ 委託金・補助金 無 |

回答自治体名:さいたま市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県仙台市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 仙台市若林区若林体育館、サンピア仙台、荒浜地区の家庭訪問 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 ③ その他(全国市長会) | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 1 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 1 | / |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p style="text-align: center;">平成23年7月29日(金)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:さいたま市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県仙台市若林区

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 保健福祉センター

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(全国市長会)

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(ケースワーカー) | 2 | ② |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>平成23年8月24日(水)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:千葉県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県陸前高田市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 活動拠点;市立第一中学校,米崎コミュニティセンター

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(被災地医療機関から県内医療機関への支援依頼をきっかけに決定)

⑤ 派遣チーム数
 2チーム(通常時は1チーム、6月22日は交替日のため、2チームとなっている。)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 4 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 2 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | ③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 8 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月5日現在;8月5日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:千葉県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県石巻市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 各種避難所、個別訪問等 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2人 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | 1人 | ①、② |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>8月末まで</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 ③ その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(未定)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>① 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>② 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>③ ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>④ 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>⑤ その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:千葉市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

岩手県上閉伊郡大槌町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

吉里吉里地区体育館

④ 派遣先を決定した理由

- ① 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

1チーム(保健師2名、事務職1名で構成)
6月25日時点で計16班を派遣。

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年8月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> ① 国からの依頼 <input type="radio"/> ② 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> ③ その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> ② 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> ③ 長期的支援は、国の方針を示すべき <input type="radio"/> ④ その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(公衆衛生)【保政】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県石巻市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 石巻市役所ほか | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 ← 依頼 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | 2 | ① | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input checked="" type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(保健師①)【保政】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県石巻市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 河南総合支所 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 ② 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 3 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(環境衛生監視) | 1 | ① |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月28日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(保健師②)【保政】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県猪苗代町 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 福島県双葉町避難所 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| ② 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 1 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(環境衛生監視員) | 1 | ① |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月4日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(保健師③)【保政】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 岩手県宮古市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 笹見内仮設住宅等 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| ② 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | 1 | ② | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(環境衛生監視) | 1 | ② |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(保健師④)【保政】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県気仙沼市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 本吉地区仮設住宅等 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| ② 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | 1 | ② |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(環境衛生監視員) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(保健師⑤)【保政】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県いわき市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 福島県広野町避難所 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| ③ その他(現地事務所を通じた派遣依頼) | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 1 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(環境衛生監視) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 1 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(保健師⑤)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県いわき市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 福島県広野町避難所 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 ② 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 1 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(環境衛生監視員) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(こころのケア)【障害】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県陸前高田市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 市内全域

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 3班

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 0 | | 保育士 | 0 | |
| 公衆衛生医師 | 0 | | 児童指導員 | 0 | |
| 歯科医師 | 0 | | 児童福祉司 | 0 | |
| 獣医師 | 0 | | 児童心理司 | 0 | |
| 薬剤師 | 0 | | 介護職員(高齢) | 0 | |
| 看護師 | 5 | ① | 生活支援員・介護職員(障害) | 0 | |
| 歯科衛生士 | 0 | | 事務職 | 0 | |
| 管理栄養士 | 0 | | 運転員 | 1 | ③ |
| 診療放射線技師 | 0 | | 食品衛生監視員 | 0 | |
| 精神科医 | 5 | ① | 社会福祉士 | 0 | |
| 精神保健福祉士 | 0 | | 施設関係職員 | 0 | |
| 臨床心理技術者 | 0 | | その他(福祉指導) | 1 | ① |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | 0 | | 総人数 | 12 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 9月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(福祉職)【障害】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 千葉県鴨川市太海122-1

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 千葉県立鴨川青年の家

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(厚生労働省を通じた福島県からの協力要請)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | 9 | ①2、③7 |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 9 | |

※裏面へ

| |
|--|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>正式には8月5日までは確定。8月末まで、派遣は引き続き予定。</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(厚生労働省を通じた福島県からの協力要請)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(できる限りの支援は行っていく予定)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:東京都(介護職)【高齢】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 福祉避難所(春圃苑※、落合保育所)
 ※特別養護老人ホーム

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1(6月22日時点) 実績 18チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | 10 | ①③ |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 10 | |

派遣実績 185人

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月末まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input type="radio"/> ① 国からの依頼 <input type="radio"/> ② 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> ③ その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国の方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> ④ その他(なるべく支援が長期化しないよう、被災自治体が現地での人材確保に計画的に取り組むべき) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input type="radio"/> 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(児童)【少子】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県宮古児童相談所
 宮城県東部児童相談所

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所等

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(国を通じた派遣先自治体からの依頼)

⑤ 派遣チーム数
 2名×3班
 (岩手県1班、宮城県2班)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | 4 | 都職員 |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | 2 | 都職員 |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 6 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 不明 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(国を通じた派遣先自治体からの依頼) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(事務職)【医政】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼市健康管理センターすこやか、鹿折中学校、小原木中学校、鶴ヶ浦高台

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(県からの依頼)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 3 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月30日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 <input checked="" type="radio"/> ③ その他(県からの依頼)) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> ④ その他(県からの依頼に基づく)) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(医療救護班)【病経】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県気仙沼市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 避難所、診療所等 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| ③ その他(自治体からの要請) | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 2 | ① | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(臨床医師) | 1 | ① |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月末で終了予定 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:東京都(薬剤師)【健安】

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県 気仙沼市
 岩手県 陸前高田市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼市 : 気仙沼市民健康管理センター「すこやか」を拠点に市内各地で活動
 陸前高田市 : 米崎コミュニティーセンターを拠点に市内各地で活動

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(派遣先自治体からの要請)

⑤ 派遣チーム数
 気仙沼市 : 1チーム
 陸前高田市 : 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 4 | ③ | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 4 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 気仙沼市、陸前高田市ともに、平成23年6月24日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(被災地から要望があれば検討する) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ⑤ その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 ①イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| <p>団体名 : 社団法人東京都薬剤師会 活動内容 : 被災地における調剤業務等(ボランティア) 活動期間 : 震災発生～平成23年6月30日まで 委託・補助の有無 : 同団体がボランティア派遣を行うことについて、東京都からの委託・補助金は行っていないが、日本薬剤師会等が交通費相当は補填していると聞いている。</p> |

回答自治体名:神奈川県(心のケアチーム・保健師チーム/精神科医、公衆衛生医師、保健師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県釜石市、岩手県大槌町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 釜石市内避難所、大槌町内避難所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 2 (延べ数)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 3 | ①2、②1 | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(福祉職) | 1 | ① |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 4 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| H23.8.31 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input checked="" type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="radio"/> 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:神奈川県(介護職員)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼市内避難所各所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1 (延べ数)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | 10 | ③ |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(福祉職) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 11 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| H23.7.31 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input checked="" type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="radio"/> 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:神奈川県(生活支援員)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|--------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) 2 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 千葉県鴨川市 ※被災地から千葉県内へ避難している知的障害者施設利用者の生活支援のため | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 千葉県立鴨川青年の家 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | 15 | ①4、③11 |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(相談支援専門) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 15 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| H23.7.31 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input checked="" type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="radio"/> 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input checked="" type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

公衆衛生医師、保健師派遣（神奈川県） 内訳

| | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | 13 | | 14 | | 15 | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|
| | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | 心のケア チーム | | |
| 保健師 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| 公衆衛生医師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精神科医師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保健師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬剤師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 看護師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 歯科衛生士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 診療放射線技師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精神科医 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 臨床心理技術者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 心身障害者に対する職員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保健士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童指導員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童心理司 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童福祉司 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 介護職員(高齢) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生活支援・学習職員(児童) | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務職 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 運転員 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| 食品衛生監視員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会福祉士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設員(保護) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他(福祉) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総人数 | 10 | 0 | 3 | 5 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 3 |

回答自治体名:横浜市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼総合体育館(ケー・ウェーブ)他

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(派遣先自治体や東京都との調整の結果)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 1 | ②、③ | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 2 | ②、③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(臨床医師) | | ②、③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 団体名:横浜市医師会 活動内容:死体検案、診療支援 活動期間:3月13日～15日、3月26日～29日 委託金・補助金の有無:無 |

回答自治体名:横浜市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

福島県相馬市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

相馬市保健センター、県立相馬総合病院、相馬高校

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- ③ その他(福島県からの要請による)

⑤ 派遣チーム数

1チームを第7次隊まで派遣

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|-----|-------|----------------|-----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1~2 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ②③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 2 | ②③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | ③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 5~6 | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>5月16日～6月30日</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>横浜市医師会:3月13日～16日:仙台市医師会からの要請 検視医支援:委託補助金なし 横浜市医師会:3月27日～29日:仙台市医師会からの要請 避難所への診療:委託補助金なし</p> |

回答自治体名:横浜市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| 回答自治体名:横浜市 | | | | | |
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| ア 岩手県陸前高田市 | | | | | |
| イ 福島県福島市、郡山市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ア 岩手県陸前高田市広田地区(震災直後は、小友地区も) | | | | | |
| イ 福島市 あずま総合体育館 他 | | | | | |
| 郡山市 ビックパレット 他 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 2チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 4 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>ア 岩手県陸前高田市・・・8月末(予定)</p> <p>イ 福島県福島市、郡山市・・・6月末終了</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼</p> <p>2 派遣先自治体との調整</p> <p>③ その他(現地自治体へのヒアリング及び協議により判断)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定</p> <p>2 長期的支援は考えていない</p> <p>③ 長期的支援は、国が方針を示すべき</p> <p>4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:川崎市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 福島県会津若松市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 2次避難所(宿泊施設)

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 1 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | 1 | ② |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | 1 | ② |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月31日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ○ イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ○ イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 川崎市医師会 死体検案 川崎市薬剤師会 医薬品の提供 |

回答自治体名：相模原市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:新潟県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県気仙沼市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 気仙沼高等学校 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1班2人 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 9月3日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(現時点において国等から要請がないため具体的な検討を行っていない) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| ・新潟県医師会 救護所における医療活動 3月19日～5月30日 委託金等なし ・新潟県歯科医師会 避難所における歯科診療業務 3月下旬 委託金等なし ・新潟県社会福祉協議会 災害ボランティアセンター運営業務 3月18日～未定 委託金等なし ・新潟県DMAT指定医療機関 被災地における病院支援、域内搬送 3月11日～3月19日 委託金等なし ・新潟県災害拠点病院等 救護所における医療活動 3月25日～5月30日 委託金等なし ※DMAT指定医療機関及び新潟県災害拠点病院には、新潟大学医歯学総合病院を含む。 ※「委託金等なし」の中には、旅費等の一部経費を負担している場合がある。 |

回答自治体名：新潟市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- ① 実施していない（調査は以上で終了です） ※ 3月14日～4月28日まで派遣
 2 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 富山県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼中学校

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | 1 | ①② |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| | | | |
|--|----------------------|---------------|--------------|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | | | |
| 未定 | | | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | | | |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() | | | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | | | |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="radio"/> 4 その他() | | | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | | | |
| <input type="radio"/> 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| <input type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | | | |
| <団体名> | <活動内容> | <活動期間> | <委託金・補助金の有無> |
| 富山県医師会JMAT | 医療救護活動 | H23.3.19～5.3 | 無 |
| 富山県看護協会 | 医師会JMATとして 医療救護活動 | H23.3.23～4.17 | 無 |
| 富山県 看護師派遣 | 避難所避難者のケア | H23.4.14～5.9 | 無 |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 石巻市蛇田地区、大街道、釜地区

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | ③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 4 | |

※裏面へ

| | |
|---|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | 7月末まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 ③ その他(精神科医師会との調整結果) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <div style="margin-left: 400px; margin-top: 100px;"> <p>こころのケアチームは 官民一体で実施している</p> </div> |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市・南三陸町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 宮城県気仙沼市・南三陸町内

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(相談支援専門員) | 3 | ③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月25日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 万石浦中学救護所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(被災地からの要請)

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 1 | ③ | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 医療救護班の派遣に当たっては、病院ごとに、医師、看護師、(薬剤師)、事務員の4~5名を基本として班を構成しているため、人数は班によって異なる。 | | | 施設関係職員 | | |
| | | | その他(医師) | 1 | ③ |
| | | | 総人数 | 4 | |

※裏面へ

| | | | |
|---|--|---|--------------------------------------|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | 7月30日まで | | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() | | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() | | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | <table border="0"> <tr> <td data-bbox="288 804 916 1337"> 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) </td> <td data-bbox="995 1086 1345 1193" style="vertical-align: middle;"> } 県内のこれらの団体からは、医療救護班を派遣していないと承知している。 </td> </tr> </table> | 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | } 県内のこれらの団体からは、医療救護班を派遣していないと承知している。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | } 県内のこれらの団体からは、医療救護班を派遣していないと承知している。 | | |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | 【県医師会】 ・活動内容: 医療救護 ・活動期間: 3月18日～6月10日 ・派遣に関する委託金・補助金の有無: 未定 | | |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県 石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 宮城県石巻市内

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他())

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県 女川町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 宮城県 女川町内

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他())

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input checked="" type="radio"/> 3 長期的支援は、国の方針を示すべき <input type="radio"/> 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input type="radio"/> 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:福井県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県亘理郡山元町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 山元町内避難所、仮設住宅

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 保健師2名×1チーム、(保健師2名+薬剤師1名)×1チーム 計2チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 4 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 1 | ① | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 9月2日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(心のケアチーム)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所、戸別訪問、役場内

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1 チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | ③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(作業療法士) | 1 | ③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

5

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 9月 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(被災地の状況により当該自治体と協議して支援を行う) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 山梨県知的障害者支援協会 知的障害者施設支援 4月5日～5月21日 委託金等なし |

回答自治体名:長野県(保健師チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(2以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県陸前高田市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(被災自治体からの派遣要請)

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 1 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>6月23日 (継続して他のチームと入れ替わり)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣先自治体と調整しながら継続して入れ替わり派遣中)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき ④ その他(派遣先自治体と調整しながら行う)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:長野県(心のケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(2以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(被災自治体からの派遣要請)

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 2 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月23日 (継続して他のチームと入れ替わり) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣先自治体と調整しながら継続して入れ替わり派遣中) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき ④ その他(派遣先自治体と調整しながら行う) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:長野県(介護職員チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(2以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(被災自治体からの派遣要請)

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | 4 | ③ |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月26日 (継続して他のチームと入れ替わり) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣先自治体と調整しながら継続して入れ替わり派遣中) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき ④ その他(派遣先自治体と調整しながら行う) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：岐阜県(保健師の派遣)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県陸前高田市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所(陸前高田市立第一中学校体育館 ひかみの園 高寿園 希望ヶ丘病院)
 仮設住宅(高田一中 高田高校グラウンド)

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 3 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| | | | |
|--|-----------------|-----------------|--------|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | | | |
| 平成23年8月31日まで | | | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | | | |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() | | | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | | | |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="radio"/> 4 その他() | | | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | | | |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | | | |
| 岐阜県医師会 | 医師派遣(検視) | 3/17, 3/20~3/21 | 委託金等なし |
| 岐阜県医師会 | 医師派遣(医療救護) | 3/25~3/27 | 委託金等なし |
| 岐阜県歯科医師会 | 歯科診療車派遣(歯科医療) | 4/15~4/28 | 委託金等なし |
| 岐阜県歯科医師会 | 歯科医師派遣(歯科医療) | 4/24~5/1 | 委託金等なし |
| 岐阜県看護協会 | 看護師派遣(看護) | 3/26~4/28 | 委託金等なし |
| 日赤岐阜県支部 | 医療救護班・心のケアチーム派遣 | 3/11~7/1 | 委託金等なし |

回答自治体名:静岡県 (医療救護チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 団体名: 静岡県医師会 活動内容: 岩手県内における避難住民の健康管理、慢性疾患の管理 活動期間: 3月19日～21日 派遣に関する経費負担: 有 ※県と県医師会との「災害時の医療救護活動に関する協定」に基づく 団体名: 静岡看護協会 活動内容: 避難所における健康支援 活動期間: 3月24日～ 派遣に関する経費負担: 無 |

回答自治体名: 静岡県 (公衆衛生チーム、保健師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

岩手県山田町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

避難所: 岩手県山田町 町立山田北小学校・大浦漁村センター
 家庭訪問・仮設住宅訪問: 岩手県山田町

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 4 | ①2 ②2 | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>現在の支援(公衆衛生チーム)は6月末まで ※町役場への保健師長期派遣を実施(7月～3月末まで)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(町役場への保健師長期派遣を実施(7月～3月末まで))</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名: 静岡県 (精神医療チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県宮古市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 岩手県宮古保健所(岩手県宮古合同庁舎)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(全国知事会の調整、岩手県の要請、本県関係のDMATが最初に入った地域)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|-----|-------|
| 保健師 | 7 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 2 | ③ | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 23 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 20 | ①、②、③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 29 | ①、②、③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 14 | ②、③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 6 | ①、②、③ | その他(作業療法士) | 4 | ③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 105 | |

※裏面へ

| |
|--|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p style="text-align: center;">平成23年12月中旬</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 <input checked="" type="radio"/> 3 その他(本県派遣精神医療チームの中心的役割を担う県立こころの医療センターとの調整)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="radio"/> 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p style="text-align: center;">該当なし</p> |

回答自治体名:静岡県 (児童福祉関連職員)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:静岡県 (手話通訳者)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| <p>※静岡県が手話通訳者を被災地に派遣(活動終了済みのため、本欄に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県設置手話通訳者:6月2日～7日 ・県聴覚障害者情報センター:6月7日～12日 ・静岡市社会福祉協議会:6月12日～17日 <p>いずれも、行政職員が同行 交通費、宿泊費、活動費(レンタカー代)等は県負担</p> |

回答自治体名:静岡県 (薬剤師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 ○社団法人静岡県薬剤師会 ・薬剤師の派遣 福島県薬剤師会から日本薬剤師会経由で要請があり、薬剤師ボランティアを派遣し救護所等での医薬品の調剤業務や効能別の仕分けを行った。 第1次(3月23日～25日)～第13次(6月12日～19日)合計47人を派遣 派遣に関する委託金・補助金はなし。 |

回答自治体名：静岡市(こころのケアチーム・静岡県の編成チームに参加)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

○ 1 実施していない(調査は以上で終了です)
2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示
2 派遣先自治体との相互援助協定
3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 静岡市(保健師チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県 気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼市総合体育館

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 21チーム(延べ90人)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 57 | ② | 保育士 | 18 | ② |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 15 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 90 | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>平成23年6月29日</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>○ 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ○ 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名： 浜松市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 岩手県陸前高田市

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 陸前高田市気仙町を担当（避難所及び個人宅）

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 3月16日～5月1日まで2チーム
 4月29日～6月29日まで1チーム 計23チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 62 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | 1 | ② | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 60 | ② |
| 管理栄養士 | 1 | ② | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月29日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(今後は長期的な支援が必要と認識しているが、実際の対応は困難である。) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 薬剤師会 |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 浜松医師会 医療活動 4/5～6/29 浜松市薬剤師会 医療活動 4/5～6/29 *ともに委託金等なし |

回答自治体名:愛知県(心のケア)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

気仙沼保健福祉事務所、気仙沼市内の避難所等

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

H23.3.19~6.22 延べ21チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|---------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 21 | ①21 | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 23 | ①20②3 |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 22 | ①15②2③5 | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)

平成23年7月末(ただし、8月以降の派遣も調整中)

⑧ 派遣期間を決定した理由

- 1 国からの依頼
- 2 派遣先自治体との調整
- 3 その他(派遣先と調整中)

⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか

- 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定
- 2 長期的支援は考えていない
- 3 長期的支援は、国が方針を示すべき
- 4 その他()

回答自治体名:愛知県(保健師チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

岩手県 (釜石保健所)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

岩手県立大槌高校、大槌町立安渡小学校等

④ 派遣先を決定した理由

- ① 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

21チーム (H23. 3. 15~H23. 6. 22現在)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 6 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| | | | |
|--|---------------|---------|----------|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) 平成23年8月28日 | | | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 ① 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 ③ その他() | | | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国の方針を示すべき ④ その他() | | | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 ① 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ② 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ③ ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ④ 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) ⑤ その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | | | |
| ○医師会、病院協会関係 | | | |
| 団体名 | 活動内容 | 活動期間 | 派遣に関する費用 |
| 愛知県医師会 | 宮城県南三陸町等への医療救 | 3月16日から | 災害救助法による |
| 愛知県病院協会 | 護班の派遣(延べ258人) | 5月15日まで | 求償 |

回答自治体名： 名古屋市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

1 実施していない（調査は以上で終了です）
 2 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）

岩手県陸前高田市

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）

陸前高田市役所（仮設庁舎）

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定

③ その他（岩手県及び陸前高田市からの要請を受け、被災地の中でも特に被害の大きかった陸前高田市への職員派遣を決定。ただし、派遣については、国（総務省）が全国市長会を通じて各市へ支援を依頼した枠組みの中で実施）

⑤ 派遣チーム数

1チーム（生活保護事務、保健指導業務、高齢福祉事務、児童福祉事務に従事する職員を派遣）

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 4 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 6 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 現在の予定では、23年度末まで(長期滞在と短期交代の職員を派遣) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣先自治体(陸前高田市)及び岩手県との調整) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(派遣先自治体(陸前高田市)の復興状況や、岩手県からの要請、国の動向などを総合的に勘案し、必要であれば長期の派遣も検討) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：三重県(医療救護班)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等

岩手県陸前高田市

③ 活動場所

米崎コミュニティーセンター

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- ③ その他(既に派遣が決まっていた保健師班との連携を考慮した結果)

⑤ 派遣チーム数

40チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|-----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 28 | ①、②、③ | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 56 | ①、②、③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 40 | ①、②、③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | 1 | ③ |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(臨床医師他) | 60 | ①、②、③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 185 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月15日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 <input checked="" type="radio"/> ③ その他(岩手県からの要請) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 三重県医師会、三重県病院協会、三重大学等の団体と派遣前から派遣方法について協議を行い、一部全国組織等から派遣されるチームを除き、県の医療救護チームとして、派遣。 全国組織等から派遣されるチーム ・日赤三重県支部(医療救護班等) 3月12日～7月末予定 ・国立病院機構(医療救護班) 3月18日～4月12日 ・県看護協会(災害支援ナース) 3月24日～4月末 ・東海北陸ブロックの大学病院(医療救護班) 5月13日～継続中 ※いずれも委託金・補助金等は無し |

回答自治体名：三重県（保健師班）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

1 実施していない（調査は以上で終了です）
 2 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 岩手県陸前高田市

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 陸前高田市矢作町内の避難所、仮設住宅、および地域活動

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 34チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|-----|-------|
| 保健師 | 79 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | 2 | ① | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 35 | ① |
| 管理栄養士 | 14 | ① | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 130 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月末まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国の方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(現地の動向や国の方針を注視しながら検討する) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input type="radio"/> 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="radio"/> 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：滋賀県(医務業務課)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

福島県会津若松市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

- ・ 2次避難所(宿泊施設)：ペンションズワ、レクザイド 村みなとや、ウイラ・イワシ
- ・ 会津保健所(会津地域災害医療調整本部)

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- ③ その他(福島県からの要請：関西広域連合カウンターパートによる支援)

⑤ 派遣チーム数

医療救護班1チーム(5人)
 滋賀県現地調整員(1人)
 【累計】医療救護班:30チーム(154人)、調整員:延べ26人

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 1 | ① | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(医師等) | 5 | ② |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>平成23年6月30日(木)派遣終了予定(滋賀・京都連携により、滋賀県は6/24(金)で終了)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>(社)滋賀県病院協会(医療救護班の派遣)3/17～6/30 ※協定に基づく負担金あり (社)滋賀県薬剤師会(薬剤師ボランティアの派遣)3/19～6/25 (社)滋賀県看護協会(災害支援ナースの派遣)3/24～4/28 (社)滋賀県鍼灸師会(鍼灸師の派遣)4/29～5/7 滋賀県歯科衛生士会(歯科衛生士の派遣)5/8～5/15 滋賀県作業療法士会(作業療法士の派遣)5/15～5/21</p> |

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月22日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 医師会・歯科医師会の派遣に要した費用の補助金有(医師会・歯科医師会の派遣は現時点では実施していない) |

回答自治体名：滋賀県(障害者自立支援課)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

1 実施していない(調査は以上で終了です)

2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示

2 派遣先自治体との相互援助協定

3 その他(国、被災県からの要請)

⑤ 派遣チーム数

心のケアチーム チーム

手話通訳士 チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 京都府(医療救護班)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|--------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ※6/22現在では派遣調整の関係上、派遣チームはないが、 6/27から派遣があるため回答 | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県会津若松市 等 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 会津保健所管内の避難所 | | | | | |
| ・一次避難所: 学校体育館、公民館等(約30カ所) | | | | | |
| ・二次避難所: 宿泊施設(ホテル、旅館、ペンション等約200カ所) | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| ③ その他(福島県からの災害救助法に基づく派遣要請) | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 6/22現在は0 | | | | | |
| ※6/27から7/1まで1チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 ※6/27~7/1の派遣チーム構成 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | 1 | ① | | | |
| 歯科医師 | | | | | |
| 獣医師 | | | | | |
| 薬剤師 | | | | | |
| 看護師 | 1 | ① | | | |
| 歯科衛生士 | | | | | |
| 管理栄養士 | | | | | |
| 診療放射線技師 | 2 | ① | | | |
| 精神科医 | | | | | |
| 精神保健福祉士 | | | | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年3月18日～7月1日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| ○京都府医師会 ・福島県会津地域に京都府医療救護班に7チーム派遣 (府との災害防止協定に基づく) ※7チームの内、5チームは京都府看護協会及び京都府薬剤師会との合同チーム 活動内容：避難所での医療支援 活動機関：平成23年3月19日～4月11日 経費：府が負担金を支出 ・福島県いわき市に医療救護班6チーム派遣(日本医師会の要請に基づく) 活動内容：避難所での医療支援 活動機関：平成23年3月22日～4月11日 経費：府の負担なし ・その他、震災発生初期(3月)に検死業務のため、医師を派遣 ○京都私立病院協会 ・医師等の派遣はないが、避難者への医療相談窓口を設置 ○京都府歯科医師会 ・国及び被災県からの要請により、検死、健康指導のために、 歯科医師(会員)等を派遣 |

回答自治体名:京都府(保健師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 ・ 福島県会津若松市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 ・ ふれあい総合体育館、河東体育館
 ・ 会津保健所の計画に沿って二次避難所の健康相談実施(宿泊所等は変動)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(関西広域連合として分担された地域を担当、福島県との協議)

⑤ 派遣チーム数
 ・ 25チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|------|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 100人 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 8 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ・7月2日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 : 5月以降の延長について ② 派遣先自治体との調整 : 7月2日以降については福島県等と調整 ③ その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(現時点では対応未定) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ※医療救護班で回答 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| ※医療救護班で回答 |

回答自治体名:京都府 (心のケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 福島県会津保健所管内

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 リステル猪苗代、セツ森ペンション、農村環境改善センター 等

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ①(医大) | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ①(医大) | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 1 | ① | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input type="checkbox"/> 1 国からの依頼 <input checked="" type="checkbox"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="checkbox"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="checkbox"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="checkbox"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="checkbox"/> 3 長期的支援は、国の方針を示すべき <input type="checkbox"/> 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input type="checkbox"/> 1 医師会の支援 <input type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> 2 病院団体の支援 <input type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> 4 大学の支援 <input type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> 5 その他団体の支援 <input checked="" type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| <p>京都大学が本府派遣チームに参画、宿泊所等を本府が準備</p> <p>その他把握している範囲での派遣はない</p> |

回答自治体名: 京都府(放射線技師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 福島県内(支援実施場所については県との調整により決定)
 [参考]
 現在9市町9箇所で実施(福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 ・20km圏外に設置されるチェックポイント
 ・30km圏外にある既存の常設スクリーニング会場

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | 2 | ① | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年7月8日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input type="radio"/> 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国の方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input type="radio"/> 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:京都府(子どもの心のケア・児童福祉司関係)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:京都府 (手話通訳チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

1 実施していない(調査は以上で終了です)

2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示

2 派遣先自治体との相互援助協定

3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |

回答自治体名:京都市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県仙台市若林区

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 若林区内避難所(若林体育館, サンピア仙台)
 若林区内津波被災地家庭訪問

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 ② 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) 平成23年7月30日(予定) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(要請があれば、検討していく。) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ③ 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ④ 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 【京都府医師会】 医師会による災害協定に基づき、被災地に2班に分けて会員を派遣。 第1班は宮城県名取市、第2班は福島県いわき市及び会津若松市に派遣。 派遣は5月の連休明けに終了した。 【京都府歯科医師会】 4月は、宮城県各被災地に会員を派遣し、身元確認業務に従事。 5月からは、歯科検診車「歯のひろば号」を宮城県に派遣中。 |

回答自治体名：大阪府(心のケア)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県山田町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所
 豊間根地区(豊間根中学校、生活改善センター、豊間根保育園、新田集会所等)
 山田地区(さくら幼稚園、山田南小学校、武徳殿)
 織笠地区(織笠コミュニティセンター、織笠小学校、織笠保育園、山田高校)
 船越地区(船越保育園、青少年の家、船越防災センター等)
 大浦地区(大浦小学校、大浦保育園、大浦漁村センター)
 田の浜地区(旧タブの木荘、瑞然寺)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 30チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|--------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 58 | ①(*1)③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | 19 | ① |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 30 | ①②③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士(*2) | 27 | ①② | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 2 | ① | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

(*1)①県職員に地方独立行政法人の職員を含む
 (*2)精神保健福祉士資格のないケースワーカーを含む

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月5日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(国及び派遣先自治体からの依頼と、大阪府との調整) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(派遣先自治体からの依頼と、大阪府との調整) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| ○医師会 ・JMATの中で精神科チーム(こころのケアチーム)として大阪府内の精神科医療機関がエントリーし、待機中であったが、実際には派遣されていないと聞いている。 ・派遣に関する委託金・補助金はなし。 ○病院団体・大学 ・大阪精神科病院協会及び大学病院については、大阪府のこころのケアチームの派遣に協力。 ・派遣に関する経費は、大阪府で負担。 |

回答自治体名：大阪府（保健師）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

1 実施していない（調査は以上で終了です）
 2 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 岩手県山田町

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 山田町内の仮設住宅、避難所、住宅（家庭訪問）

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 1

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他(国及び派遣先自治体からの依頼と、大阪府との調整) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他(国及び派遣先自治体からの依頼と、大阪府との調整) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| ※6月22日現在では、府職員のみ派遣しているが、5月末までは、市職員も含めて派遣調整を行っていた。 |

回答自治体名:大阪市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 ・岩手県釜石市・大槌町(5月5日～7月2日(予定))

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 ・岩手県釜石市 釜石保健所・寺野体育館等

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(震災支援対策室を設置した本市としての支援方針に則り決定)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年7月2日までの予定 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 堺市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

岩手県 釜石市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

被災者の避難所(釜石市立甲子小学校・甲子中学校の体育館)

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| | |
|--|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | |
| 6月28日 | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 <input checked="" type="radio"/> 3 その他(本市の派遣可能な人数と被災地の状況や近隣自治体の派遣状況から判断した) | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(大阪府市長会の依頼で3か月限定で1名保健師を派遣予定) | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | |
| 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | 精神保健福祉士による「こころのケア」チーム及び診療放射線技師による「大阪府合同チーム」の支援については6月22日現在派遣は中止している。 なお、両チームとも、⑩の状況把握については、1～5についてすべて把握していません。 |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | |
| ・堺市医師会 | 死体検案・3月・委託金補助金無し |
| ・堺市社会福祉協議会 | ボランティア活動※1・6月7日～11日・委託金補助金無し ※1 被災した家屋の片付け、津波被害にあった家屋の泥だし等 |

回答自治体名：兵庫県（保健活動チーム）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 宮城県石巻市、気仙沼市、南三陸町（県保健師、市町保健師、看護協会）
 宮城県塩竈市、仙台市、岩手県陸前高田市、石巻市、南三陸町（政令市保健師）

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 上記市町の避難所、仮設住宅等

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他（ 関西広域連合においてカウンターパートを決定 ）

⑤ 派遣チーム数
 11班22名

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 18 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | 3 | ③ | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | 1 | ① | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>8月末(歯科衛生士は6月末まで、看護協会は7月29日まで)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>兵庫県看護協会:看護師3名を派遣(上記②のとおり)</p> |

回答自治体名: 兵庫県(医療救護班)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

宮城県石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

石巻鹿妻小学校

④ 派遣先を決定した理由

- ① 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- ③ その他(関西広域連合によりカウンターパートを決定)

⑤ 派遣チーム数

1班5名

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 1 | ② | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 2 | ② | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(医師) | 1 | ② |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月29日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 兵庫県医師会(薬剤師会・看護協会との連携による)の医療救護班 3月21日～6月19日まで派遣。(旅費等の経費を県が負担。後日、宮城県に求償) |

回答自治体名:神戸市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない(調査は以上で終了です)
- ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

岩手県陸前高田市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

高田第一中学校を拠点に、担当する米崎町の在宅避難者訪問及び避難所、仮設住宅等で活動中。

④ 派遣先を決定した理由

- ① 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----------|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | どちらか1名で② | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月末まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(厚生労働省の派遣依頼があったことと、現地の状況を勘案し決定した。) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ② ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ② ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ② ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ② ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ② イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 「神戸市社会福祉協議会」によるボランティアバスの運行及び被災地のボランティアセンター運営支援。詳細は危機管理室が全市的に把握、調整している。 |

回答自治体名:奈良県(こころのケア)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼保健福祉事務所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(派遣先自治体(県)との調整)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 2 | ①、③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 4 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6/13~6/17 7/4~10月、毎週(月~金)派遣予定 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ○ 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| ○ 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:奈良県(保健師等)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県 気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 気仙沼市立面瀬中学校
 気仙沼市立総合体育館

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 2チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|------------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 4 | ①(1), ②(3) | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 4 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月29日(予定) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ○1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| ○1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ○ ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:和歌山県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県下閉伊郡山田町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 岩手県立山田高等学校

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(関西広域連合におけるカウンターパート方式に基づく)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------|--|--|--|--------------------------------|--|--|--|--------------------------|--|--|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年7月31日 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | | | | | | | | | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ① 国からの依頼 <input type="checkbox"/> ② 派遣先自治体との調整 <input type="checkbox"/> ③ その他() | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="checkbox"/> ② 長期的支援は考えていない <input type="checkbox"/> ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき <input type="checkbox"/> ④ その他() | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> ① 医師会の支援 <input type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> ② 病院団体の支援 <input type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> ③ ボランティア団体の支援 <input checked="" type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> ④ 大学の支援 <input type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) <input type="checkbox"/> ⑤ その他団体の支援 <input checked="" type="checkbox"/> ア 把握していない。 <input type="checkbox"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | | | | | | | | | | | |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | | | | | | | | | | | | | |
| 団体名:和歌山県医師会 活動内容:救護所での診療や巡回診療など 活動期間:4/28~5/1、5/4~5/9、5/31~6/5 委託金・補助金の有無:有 | <table border="1"> <tr> <td>団体名:和歌山県看護協会</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動期間:5/31~6/5(県医師会からの要請に基づく派遣)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託金・補助金の有無:医師会への分担金に含まれる</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 団体名:和歌山県看護協会 | | | | 活動期間:5/31~6/5(県医師会からの要請に基づく派遣) | | | | 委託金・補助金の有無:医師会への分担金に含まれる | | | |
| 団体名:和歌山県看護協会 | | | | | | | | | | | | | |
| 活動期間:5/31~6/5(県医師会からの要請に基づく派遣) | | | | | | | | | | | | | |
| 委託金・補助金の有無:医師会への分担金に含まれる | | | | | | | | | | | | | |
| 団体名:和歌山県歯科医師会 活動内容:口内ケア、身元確認 活動期間:4/29~5/3 口内ケア、6/22~6/26 身元確認 委託金・補助金の有無:無 | | | | | | | | | | | | | |
| 団体名:公立大学法人和歌山県立医科大学附属病院 医療救護班 活動内容:救護所での診療や巡回診療など(岩手県山田町豊間根中学校) 活動期間:3/20~3/25、3/29~4/6、4/13~4/21、5/22~5/30、6/24~6/29 福島県立医科大学への医師派遣 活動内容:福島県立医科大学での診療 活動期間:3/20~5/28 小児科医師の派遣 活動内容:岩手県立大船渡病院での診療 活動期間:6/19~6/26 委託金・補助金の有無:有 | | | | | | | | | | | | | |

回答自治体名：鳥取県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 宮城県石巻市

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 石巻市役所から指示を受けた地域で家庭訪問活動等を実施

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | 1 | ① |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※保健師は、必ずしも県1人、市町村1人で構成するということではなく、柔軟に構成しています。

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>8月末までは決まっているがその後は未定</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(国の依頼終了後、被災自治体から依頼があれば派遣形態に応じて柔軟に検討する方向)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(国からの依頼に応じた派遣を実施しているが、今後、被災地自治体から派遣継続の要請があれば派遣形態に応じて柔軟に検討する)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>⑩で「把握している」と回答したものは必ずしも一律に把握しているものではない。</p> <p>【鳥取DMAT、県が構成する医療救護班の派遣】 [DMAT]鳥取大学医学部付属病院、日赤鳥取県支部、県立病院 [救護班]鳥取大学医学部付属病院・県立中央病院・県立厚生病院(※5/21活動終了) ⇒派遣協定に基づき、県が費用を負担</p> <p>【医療救護班の派遣】 日赤鳥取県支部(※6/23活動再開) 鳥取生協病院医療救護班(※4/30活動終了) 西伯病院(※3/23活動終了) 山陰労災病院(※3/31活動終了) 鳥取県医師会災害医療チーム(JMAT)※(5/7活動終了) ⇒委託金等無し</p> |

回答自治体名：島根県(ボランティア)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| ○団体名 島根県社会福祉協議会 ○活動内容 「島根県災害ボランティア隊」を編成し、被災地(宮城県石巻市)での被災家屋の片づけ、清掃、泥だし等のボランティア活動を実施 ○活動実績 第1クール 平成23年5月9日(月)～13日(金) 21名 第2クール 平成23年5月16日(月)～20日(金) 29名 第3クール 平成23年5月23日(月)～27日(金) 28名 第4クール 平成23年6月6日(月)～10日(金) 20名 第5クール 平成23年6月13日(月)～17日(金) 21名 第6クール 平成23年6月20日(月)～24日(金) 25名 計144名 ○補助金 有 |

回答自治体名：島根県(医師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

① 実施していない(調査は以上で終了です)
② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由

1 国からの指示
2 派遣先自治体との相互援助協定
3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| 3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 島根県(児童心理士)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| ① 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：島根県(心のケア)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県(登米市ほか)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 登米警察署ほか5か所の警察署を巡回

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1(1名)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ① | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 1 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6/22~24 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 心のケアにかかる派遣については、現在のところ県職員により対応。 |

回答自治体名: 島根県(保健師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県石巻市等

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 石巻市内の仮設住宅等個別訪問先

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 ② 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月までの派遣計画策定済み |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(全国レベル(例えば全国知事会)で支援計画等を的確に把握・立案すべき) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <input type="radio"/> 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| <input type="radio"/> 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:岡山県(こころのケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県南三陸町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 志津川小・中・高校
 ベイサイドアリーナ他

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 こころのケアチーム 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 ※①=岡山県精神科医療センター職員

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|----------|----------------|----|---------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 14 | ① 10 ③ 4 | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 7 | ① 6 ② 1 |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 18 | ① 14 ③ 4 | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 9 | ① 6 ③ 3 | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 2 | ① 2 | その他(OT) | 2 | ① 2 |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 52 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成24年3月 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

東北支援動員数

| | | 医師 | 看護師 | コメディカル | 事務 | |
|------|------|----|-----|--------|----|------|
| 第1陣 | センター | 2 | 2 | 1 | 2 | |
| 第2陣 | センター | 2 | 2 | 1 | | |
| 第3陣 | センター | 2 | 2 | 1 | | |
| 第4陣 | センター | 2 | 2 | 1 | 4 | |
| 第5陣 | センター | 1 | 1 | 1 | | 希望ヶ丘 |
| | 民間 | 1 | 1 | 1 | | |
| 第6陣 | センター | 1 | 1 | 1 | | 積善 |
| | 民間 | 1 | 1 | | 1 | |
| 第7陣 | センター | 1 | | 1 | | 高梁 |
| | 民間 | 1 | 1 | 1 | | |
| 第8陣 | センター | 1 | | 1 | | 慈圭 |
| | 民間 | 1 | 1 | 1 | | |
| 第9陣 | センター | 1 | | 1 | | |
| 第10陣 | センター | 1 | | 1 | | |
| 合計 | センター | 14 | 10 | 10 | 6 | |
| | 民間 | 4 | 4 | 3 | 1 | |
| | 合計 | 18 | 14 | 13 | 7 | |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）
 【②以降、参考として、H23.3.24～4.30に派遣した医療救護班について記述。】

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 ・医療活動地域：岩手県大船渡市大船渡地区
 ・活動拠点（宿泊地）：岩手県遠野市

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 ・大船渡地区公民館
 ・大船渡中学校体育館

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他（岩手県からの派遣要請）

⑤ 派遣チーム数
 ・18班（5～6名体制）

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|-----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | 39 | ③ | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 35 | ③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(医師) | 28 | ③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 102 | |

※事務職には、薬剤師、臨床検査技師等を含む。
 ※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>・平成23年4月30日(派遣終了済み)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(派遣先自治体の要望による)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名： 岡山県(保健師)

東日本大震災にかかる**保健師**、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 ・ H23. 3. 18～ 岩手県大船渡市 ※継続中
 ・ H23. 4. 7～ 4. 13 福島県会津坂下町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 ・ 岩手県大船渡中学校体育館(避難所)
 ・ 岩手県大船渡地区公民館(避難所)
 ・ 岩手県永沢応急仮設住宅(大船渡中学校運動場に設置) 等

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数 ※6/22現在、述べ25チーム(1チームの派遣期間は6泊7日)
 ・ H23. 3. 18～3. 28 1チーム(県保健師2人+県その他職員)
 ・ H23. 3. 26～5. 3 2チーム(原則、県保健師2人+市町村保健師2人+県その他職員1人)
 ・ H23. 5. 1～5. 31 2チーム(県保健師1人+市町村保健師3人+県その他職員1人)
 ・ H23. 5. 29～6. 28 1チーム(県保健師1人+市町村保健師2人+県その他職員1人)
 ・ H23. 6. 26～8. 31(予定) 1チーム(県保健師1人+市町村保健師1人+県その他職員1人)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。
 ※6/22現在で派遣中のチームの場合)

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 3 | ①+② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 4 | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>・現在のところ、H23.8.31まで(その後は未定)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>⑩については、JMAT(医師会)、AMDA、岡山大学等の団体について、日頃の連携の中である程度の活動状況については把握している。</p> |

回答自治体名:岡山市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県多賀城市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 多賀城市総合体育館、山王公民館等

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月29日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> ① 国からの依頼 <input type="radio"/> ② 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> ③ その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> ① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> ② 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> ③ 長期的支援は、国の方針を示すべき <input type="radio"/> ④ その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：広島県(医療救護班)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
|--|----|---------|----------------|----|---------|
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県郡山市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ビッグパレットふくしま | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| ③ その他(災害救助法による派遣先自治体からの応援要請) | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 計24チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | 1 | ① | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | 23 | ①, ②, ③ | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 54 | ①, ②, ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 24 | ①, ②, ③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | 9 | ①, ②, ③ | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 3 | ①, | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 4 | ②, ③ | その他(内科医師/理学) | 36 | ①, ②, ③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)

平成23年7月1日

⑧ 派遣期間を決定した理由

- 1 国からの依頼
- ② 派遣先自治体との調整
- 3 その他()

⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか

- 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定
- 2 長期的支援は考えていない
- 3 長期的支援は、国が方針を示すべき
- ④ その他(派遣先自治体の要請に応じる。)

⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。

- 1 医師会の支援
 - ア 把握していない。
 - ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 2 病院団体の支援
 - ア 把握していない。
 - ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 3 ボランティア団体の支援
 - ア 把握していない。
 - イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 4 大学の支援
 - ア 把握していない。
 - ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)
- 5 その他団体の支援
 - ア 把握していない。
 - ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)

⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。

| 団体名 | 活動内容 | 期間 | 補助金 |
|-------------|--------|-----------|-----|
| 日本赤十字社広島県支部 | 医療救護活動 | 3/11～6月末 | なし |
| 広島県医師会 | 医療救護活動 | 3/25～4/17 | なし |
| 国立病院機構 | 医療救護活動 | 3/16～5/1 | なし |
| 労働者健康福祉機構 | 医療救護活動 | 3/24～3/28 | なし |
| 広島県薬剤師会 | 医療救護活動 | 4月～6月末 | なし |

回答自治体名: 広島県(広島県歯科医師会など)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| 2 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 【歯科医療・口腔ケア班】 ①団体名: 広島県歯科医師会 ②活動内容: 歯科医療・口腔ケア ③活動期間: 4/23～4/28 ④派遣に関する委託金・補助金の有無: 無 【災害支援ナース】 ①団体名: 広島県看護協会 ②活動内容: 福祉避難所や病院等での支援 ③活動期間: 3/25～4/28 ④派遣に関する委託金・補助金の有無: 無 【相談支援専門員派遣】 ①団体名 ※厚生労働省の依頼に基づき、社会福祉施設職員等の派遣可能人数を回答した者の中から、宮城県の要請により派遣したもの。 ②活動内容 障害児・障害者に対する相談支援(相談支援専門員を1名派遣) ③活動期間 6/12～6/18,7/3～7/9(予定) ④委託金・補助金等 なし(派遣費用は宮城県負担) |

【ボランティア】

①団体名：広島県社会福祉協議会

②活動内容：ア 被災地でのボランティアによる支援

イ 県内市町社協と協力し被災地の市・町災害ボランティアセンターへの職員派遣

ウ 被災地の県社協への職員派遣

被災社宅等での土砂撤去・家財道具移動，被災病院の土砂撤去，応急仮設住宅でのニーズ調査
被災地の県・市災害ボランティアセンターの運営支援 など

③活動期間：ア ボランティア派遣 5月16日から当面継続的に派遣

(第1陣5/16, 第2陣6/20, 第3陣7/4)

イ 市・町災害ボランティアセンターへの職員派遣 3/18から1名を当面継続的に派遣

ウ 県社協への職員派遣 6/12から1名を当面継続的に派遣

④県が，被災地へのボランティア派遣等に要する経費の一部を補助

回答自治体名: 広島県(避難所運営支援)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|-----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県気仙沼市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 鹿折中学, 新月中学 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| ③ その他(宮城県からの要請) | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 18 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 167 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>平成23年3月29日～平成23年6月28日</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼</p> <p>② 派遣先自治体との調整</p> <p>3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定</p> <p>2 長期的支援は考えていない</p> <p>3 長期的支援は、国が方針を示すべき</p> <p>4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援</p> <p>ア 把握していない。</p> <p>イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名：広島県（保健師派遣）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 宮城県気仙沼市
 福島県郡山市

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 気仙沼市民会館
 郡山市青少年会館

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 計35チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 70 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 11 | ①② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>宮城県～8/29(予定) 福島県～7/28(予定)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき ④ その他(国の方針及びその際の当県の状況により判断する。)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名: 広島市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票【広島市】

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| ① 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 山口県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県東松島市等

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 市域全域等 (市保健相談センター等を拠点)

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 3 | ①②② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>8月3日まで決定 業務の関係等により一時中断(8~10月)とする。11月以降、派遣要請あれば再開を検討する。</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(現地での支援内容、派遣可能人員の調整状況等を勘案して判断)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(基本的には国等の支援要請に基づき検討判断する。)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |

⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。

| | | | |
|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------------------|
| 山口県医師会 | 診療 | 3月24日～3月27日 | 委託金・補助金なし |
| | | 3月28日～4月1日 | 委託金・補助金なし |
| | | 4月14日～4月17日 | 委託金・補助金なし |
| | | 4月20日～4月24日 | 委託金・補助金なし |
| 山口県歯科医師会 | 身元確認 診療 | 5月23日～5月29日 | 委託金・補助金なし |
| | | 5月15日～5月22日 | 委託金・補助金なし |
| 山口県薬剤師会 | 臨時診療所における 調剤、医薬品の在庫 管理等 | 3月23日～6月24日 | 委託金・補助金なし |
| 山口赤十字病院 | 避難所巡回等 | 3月12日～5月19日 6月4日～6月9日 | 委託金・補助金なし 委託金・補助金なし |
| 山口赤十字病院 | 病院看護業務 | 3月15日～4月8日 | 委託金・補助金なし |
| | | 4月19日～4月24日 | 委託金・補助金なし |
| | | 6月13日～6月22日 | 委託金・補助金なし |
| 山口赤十字病院 | 心のケア | 4月14日～4月19日 | 委託金・補助金なし |
| | | 4月29日～5月4日 | 委託金・補助金なし |
| | | 5月29日～6月3日 | 委託金・補助金なし |
| | | 6月30日～ | 委託金・補助金なし |
| 県社会福祉協議会 | ボランティアセンター 運営支援等 | 3月22日～9月27日 | 補助金あり |
| 県社会福祉協議会 | ボランティア隊派遣 | 6月16日～7月3日 | 補助金あり |
| 山口大学医学部附属病院 | 傷病者の搬送等 | 3月12日～15日 | 委託金・補助金なし |
| 山口大学医学部附属病院 | 心のケア | 4月29日～5月6日 | 委託金・補助金なし |
| | | 5月10日～5月16日 | 委託金・補助金なし |
| | | 5月20日～5月26日 | 委託金・補助金なし |
| | | 5月30日～6月5日 | 委託金・補助金なし |
| | | 6月6日～6月12日 | 委託金・補助金なし |
| | | 6月20日～6月26日 | 委託金・補助金なし |
| | | 6月27日～ | 委託金・補助金なし |
| 県立病院機構 (県立こころの医療センター) | 心のケア | 5月5日～5月11日 | 補助金あり |
| | | 5月15日～5月21日 | 補助金あり |
| | | 5月25日～5月31日 | 補助金あり |
| | | 6月14日～6月19日 | 補助金あり |
| | | ～24年3月末 | 補助金あり |

回答自治体名：徳島県(医療救護チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ○1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：徳島県(こころのケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ○1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：徳島県(介護支援チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ○1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：徳島県(保健師チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 松岩公民館等

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(関西広域連合カウンターパート方式で宮城県支援を決定、
 気仙沼市支援は国において調整)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号を
 ご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月中旬, それ以後は検討中 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他(検討中) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名：香川県（保健師派遣）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 2 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）

宮城県南三陸町

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）

南三陸町 歌津地区（避難所、仮設住宅、要支援者住宅）

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（国からの要請前に派遣決定済み。国の要請を受けて派遣を開始）

⑤ 派遣チーム数

2チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①1、②1 | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ① |
| 管理栄養士 | 1 | ①または② | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 5 | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>当面7月末まで。8月以降は検討中</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他(派遣先自治体の保健業務の状況を勘案し、他縣市応援チームとの協議)</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等の支援(派遣)の有無を</p> <p>状況について、団体名、活 ご回答ください。</p> <p>医務国保課で記載</p> |

回答自治体名:香川県(心のケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県仙台市、石巻市、気仙沼市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所、被災者宅、宮城県庁等

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(宮城県、仙台市からの依頼)

⑤ 派遣チーム数
 5チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 3 | ① | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 5 | ① | 社会福祉士 | 2 | ① |
| 精神保健福祉士 | 1 | ① | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 4 | ① | その他(社会福祉) | 1 | ① |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 <input type="radio"/> (社)香川県看護協会 <input type="radio"/> 日本看護協会の要請に基づき、災害支援ナースを、宮城県及び岩手県に派遣し、被災地の医療施設での看護業務 <input type="radio"/> 平成23年3月28日～4月30日 15名 <input type="radio"/> 派遣に関する委託金・補助金 無し |

回答自治体名:愛媛県(医師会チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 橋浦診療所及び避難所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(派遣先自治体との調整)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 2 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | 1 | ③ |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(臨床医師) | 1 | ③ |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| | | | |
|---|-------------|-------------|--------|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) | | | |
| 6月29日 | | | |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() | | | |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(当該自治体の要請があれば長期的支援も検討) | | | |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) | | | |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 | | | |
| 愛媛県医師会 | 医療救護 | 3月18日～6月29日 | 補助金あり |
| ※県からの要請に基づくもの | | | |
| 愛媛大学 | 医療救護 | 4月4日～5月8日 | 委託金等なし |
| 愛媛県歯科医師会 | 避難所での義歯調整等 | 5月8日～5月15日 | 委託金等なし |
| 愛媛県看護協会 | 避難所での健康相談 | 3月24日～5月1日 | 委託金等なし |
| 愛媛県薬剤師会 | 避難所での医薬品管理等 | 4月1日～6月末 | 委託金等なし |

回答自治体名:愛媛県(保健師チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県釜石保健所 (釜石市)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 釜石市内避難所 7箇所
 甲子地区 1 嬉石地区 2
 松原地区 2 大平地区 2

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 2チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 4 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ①② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | 1 | ① |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:高知県(医療)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |

⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。

| | |
|---------------|--|
| 1 医師会の支援 | <ul style="list-style-type: none">・災害医療チーム(JMAT)を派遣・3月23日から4月3日まで・計4チーム(20名) 活動内容は石巻赤十字病院での病院支援や周辺の巡回診療等。また、南三陸町の避難所において健康維持活動を実施。 |
| 2 高知大学医学部の支援 | <ul style="list-style-type: none">・医療支援チーム、精神科チーム、法医学者を派遣・3月19日から4月29日まで・計14チーム(45名) 活動内容は、石巻赤十字病院での病院支援や周辺の巡回診療。また、精神科チームにおいては心のケア等を行った。法医学者は、宮城県、福島県内の遺体安置所における検案作業。 |
| 3 日本赤十字社高知県支部 | <ul style="list-style-type: none">・医療救護班を派遣・3月12日から5月6日まで・計11チーム(82名) 活動内容は石巻赤十字病院での病院支援や周辺の巡回診療等。 |
| 4 高知県看護協会 | <ul style="list-style-type: none">・災害支援ナースを派遣・4月4日から4月24日まで・計5名 活動内容は、宮城県と福島県内の避難所での診療支援や避難者の健康維持活動に従事。 |
| 5 高知県薬剤師会 | <ul style="list-style-type: none">・薬剤師を派遣・4月1日から6月30日まで・19チーム 活動内容は、宮城県石巻市の石巻赤十字病院での病院支援活動や市内の避難所等での調剤や医薬品の管理、巡回指導等。 |

回答自治体名:高知県(心のケア)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県下閉伊郡山田町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 豊間根・大沢地区の各避難所、山田北小学校、龍昌寺、関口児童館、関口農業担い手センター

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 ② 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 1 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 有国立大学法人職員 | | |
| 精神科医 | 1 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年4月17日～平成23年8月12日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:高知県(保健)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県南三陸町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 志津川中学校、志津川高校、入谷小学校の各避難所

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 2チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 4 | ① ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>8月31日まで(6月30日からは1チーム(保健師2名、事務職1名)を派遣)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ② 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:福岡県(健康相談)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所等

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(被災県からの要請)

⑤ 派遣チーム数
 2チーム(1チーム2名)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 4 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月末まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <input checked="" type="radio"/> 1 国からの依頼 <input type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 <input type="radio"/> 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <input type="radio"/> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない <input type="radio"/> 3 長期的支援は、国の方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(被災地の復興状況等を踏まえ、被災県からの派遣要請にはできるだけ応えていきたい。) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |

⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。

- 災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣
 - ・10チーム50名(うち1チームはドクターヘリ活用)
 - ・期間:3月12日~15日

- 福岡県医師会
 - ・JMAT(医療救護班)の派遣
 - (人員等)茨城県、宮城県、福島県に35チーム192名(5月27日現在)
 - (期間) 3月20日~継続中
 - ・検視医の派遣
 - (人員等)宮城県へ1名
 - (期間) 3月18日~21日

- 福岡県看護協会
 - ・災害支援ナースの派遣
 - (人員等)宮城県へ3グループ16名
 - (期間) ①3月24日~3月29日②3月30日~4月4日③4月11日~4月18日

- 福岡県歯科医師会
 - (人員等)宮城県へ歯科医師2名
 - (期間) 5月15日~5月22日

- 県歯科衛生士会
 - (人員等)宮城県へ歯科衛生士1名
 - (期間) 5月15日~5月22日

- 聖マリア病院
 - (人員等)岩手県に医療救護班7チーム51名を派遣
 - (期間) 3月20日~4月15日

- 福岡県介護福祉士会
 - 災害ボランティア(介護福祉士)の登録及び派遣
 - (人員等)登録者数30名 派遣数13名(5月27日現在)
 - (期間) 4月3日以降順次派遣

- 福岡県介護支援専門員協会
 - ボランティア派遣
 - (人員等)宮城県に1名
 - (期間) 4月15日~18日

- 福岡県高齢者グループホーム協議会
 - ボランティア派遣
 - (人員等)宮城県及び福島県に3名派遣
 - (期間) 4月7日~13日

回答自治体名:福岡県(健康相談)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県郡山市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| ビッグパレットふくしま | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| 1 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 ③ その他(被災県からの要請) | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム(2名) | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月末まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(被災地の復興状況等を踏まえ、被災県からの派遣要請にはできるだけ応えていきたい。) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:福岡県(スクリーニング)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 福島県郡山市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 郡山市総合体育館

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他(被災県からの要請)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム(2名)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | 2 | ① | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月6日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(被災地の復興状況等を踏まえ、被災県からの派遣要請にはできるだけ応えていきたい。) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:福岡県(児童福祉司)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 2 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 宮城県東部児童相談所

④ 派遣先を決定した理由
 1 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他(被災県からの要請)

⑤ 派遣チーム数
 1チーム(2名)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | 2 | ① |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 6月25日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他(被災地の復興状況等を踏まえ、被災県からの派遣要請にはできるだけ応えていきたい。) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名： 北九州市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 ① 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 ① 岩手県釜石市（保健師等）
 ② 宮城県仙台市（ケースワーカー）

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 ① 岩手県釜石保健所（管轄内の避難所5ヶ所と仮設への住宅訪問）
 ② 宮城県仙台市太白区役所保護課（生活保護に係る面接業務等）

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示 ①
 ② 派遣先自治体との相互援助協定
 ③ その他（指定都市市長会からの依頼 ②）

⑤ 派遣チーム数
 ① 1チーム（保健師1、事務職1）
 ② 1チーム（ケースワーカー1）

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 1 | ② | 保育士 | 0 | |
| 公衆衛生医師 | 0 | | 児童指導員 | 0 | |
| 歯科医師 | 0 | | 児童福祉司 | 0 | |
| 獣医師 | 0 | | 児童心理司 | 0 | |
| 薬剤師 | 0 | | 介護職員（高齢） | 0 | |
| 看護師 | 0 | | 生活支援員・介護職員（障害） | 0 | |
| 歯科衛生士 | 0 | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | 0 | | 運転員 | 0 | |
| 診療放射線技師 | 0 | | 食品衛生監視員 | 0 | |
| 精神科医 | 0 | | 社会福祉士 | 0 | |
| 精神保健福祉士 | 0 | | 施設関係職員 | 0 | |
| 臨床心理技術者 | 0 | | その他（ケースワーカー） | 1 | ② |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | 0 | | 総人数 | 0 | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>①平成23年6月17日(金)～6月24日(金) ※全28班のうちの第21班(全期間:平成23年3月14日(月)～8月28日(日))</p> <p>②平成23年6月20日(月)～6月24日(金) ※全2班のうちの第1班(全期間:平成23年6月20日(月)～7月1日(金))</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 ① ② 派遣先自治体との調整 ② 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(国等からの要請に基づき個別に検討する)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> <p>団体名:北九州市社会福祉協議会 活動内容:がれきの撤去や避難所の支援など (釜石市社協が運営するボランティアセンターの調整に委ねた) 活動期間:23年6月19日(日)～23日(木) 派遣に関する委託金・補助金:なし ※ 様々な団体が、被災地に入って活動していると思われるが、本市において把握できているものは、市社協が行う支援のみ。</p> |

回答自治体名:福岡市

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県石巻市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 石巻市保健センター、避難所、仮設住宅、石巻市内の家庭訪問

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム(保健師2名、事務職員1名)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p style="text-align: center;">平成23年8月末(予定)</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 ③ その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>① 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他()</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ① ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名:佐賀県(健康危機管理支援チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県塩釜保健所管内 (宮城県塩釜市・多賀城市)

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所訪問、仮設住宅戸別訪問

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年6月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(当該自治体の計画・要請に基づき、適宜検討を行う) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 佐賀県医師会 (JMAT:診療支援) 4月26日～29日 委託金等なし 佐賀県医師会 (訪問診療活動) 4月25日～ 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月12日～17日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月21日～25日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月31日～4月4日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 4月15日～19日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (石巻赤十字病院支援) 4月3日～20日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (被ばく医療スタッフ派遣) 3月18日～23日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティアコーディネーター派遣) 3月27日～継続中 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 3月24日～28日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 5月17日～21日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 5月24日～28日 委託金等なし |

回答自治体名:佐賀県(健康危機管理支援チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 福島県相馬郡新地町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 仮設住宅の戸別訪問

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年6月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき <input checked="" type="radio"/> 4 その他(当該自治体の計画・要請に基づき、適宜検討を行う) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 佐賀県医師会 (JMAT:診療支援) 4月26日～29日 委託金等なし 佐賀県医師会 (訪問診療活動) 4月25日～ 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月12日～17日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月21日～25日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月31日～4月4日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 4月15日～19日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (石巻赤十字病院支援) 4月3日～20日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (被ばく医療スタッフ派遣) 3月18日～23日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティアコーディネーター派遣) 3月27日～継続中 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 3月24日～28日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 5月17日～21日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 5月24日～28日 委託金等なし |

回答自治体名:佐賀県(心のケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県宮古市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 避難所訪問(山口小学校、藤原小学校、宮古小学校、金浜老人福祉センター)
 戸別訪問

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | ③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 平成23年6月末 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(当該自治体の計画・要請に基づき、適宜検討を行う) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 佐賀県医師会 (JMAT:診療支援) 4月26日～29日 委託金等なし 佐賀県医師会 (訪問診療活動) 4月25日～ 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月12日～17日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月21日～25日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 3月31日～4月4日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (医療救護活動) 4月15日～19日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (石巻赤十字病院支援) 4月3日～20日 委託金等なし 唐津赤十字病院 (被ばく医療スタッフ派遣) 3月18日～23日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティアコーディネーター派遣) 3月27日～継続中 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 3月24日～28日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 5月17日～21日 委託金等なし 佐賀県社会福祉協議会 (ボランティア派遣) 5月24日～28日 委託金等なし |

回答自治体名： 長崎県(診療放射線技師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県福島市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 県北保健福祉事務所 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | 1 | ① | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| |
|---|
| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>1週間交代を基本に、7月末まで継続派遣予定</p> |
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(検討中)</p> |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> |

回答自治体名： 長崎県(保健師)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 福島県福島市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 福島市内二次避難所等 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム(ただし、県下の市町との交代制) | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他(一般事務) | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 2 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 県と県内各市町と合同で、1週間交代を基本に、8月末まで継続派遣予定 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(検討中) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:熊本県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県本吉郡南三陸町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 二次避難所(宿泊施設)ホテル観洋等

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示 ※斡旋
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 2チーム 合計 7名

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 4 | ①3 ②1 | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ①2 |
| 管理栄養士 | 1 | ①1 | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 7 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月19日(予定) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣先の要望・ニーズと派遣元のマンパワーを考慮して) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(全国レベルでの調整に基づく、各県への要請が望ましい) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| なし |

回答自治体名： 大分県 (NO. 1)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 福島県いわき市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 福島県いわき市内の仮設住宅等を訪問。

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ① | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)
9月4日

⑧ 派遣期間を決定した理由
① 国からの依頼
2 派遣先自治体との調整
3 その他()

⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか
1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定
2 長期的支援は考えていない
3 長期的支援は、国が方針を示すべき
④ その他(被災地の状況に応じて判断)

⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。
1 医師会の支援
ア 把握していない。
① 把握している。(⑩についてご回答ください。)
2 病院団体の支援
ア 把握していない。
① 把握している。(⑩についてご回答ください。)
3 ボランティア団体の支援
① 把握していない。(ボランティア13名を登録しているが、派遣していないことを確認)
イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)
4 大学の支援
① 把握していない。(大学としては派遣していないことを確認)
イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)
5 その他団体の支援
① 把握していない。
イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)

⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。

1 医師会の支援

| 団体名 | 活動期間 | 活動内容 | 派遣人員 | 派遣先 | | 派遣に関する委託金・補助金の有無 |
|---------------|---------------|-----------|------|--------------------------|------|------------------|
| | | | | 県名 | 市町村名 | |
| 医師会 (JMAT) | 5月16日 ~ 5月19日 | 救護所での医療救護 | 4人 | 宮城県 | 仙台市 | 無 |
| | 5月18日 ~ 5月22日 | | 5人 | 福岡県 | 福岡市 | |
| | 5月21日 ~ 5月25日 | | 4人 | 宮城県 | 仙台市 | |
| | 5月24日 ~ 5月28日 | | 5人 | 宮城県 | 仙台市 | |
| | 5月26日 ~ 5月31日 | | 4人 | 福岡県 | 福岡市 | |
| | | 小計 | 22人 | 医師6人、看護師・准看護師11人、業務調整員5人 | | |

2 病院団体の支援(病院協会等ではないが、県からの要請に基づき現地派遣した病院を記載)

| 団体名 | 活動期間 | 活動内容 | 派遣人員 | 派遣先 | | 派遣に関する委託金・補助金の有無 |
|--------------------------|---------------|-----------|------|----------------------|------|---------------------|
| | | | | 県名 | 市町村名 | |
| 大分DMAT 指定病院 (8チーム) | 3月12日 ~ 3月14日 | 駐屯地での医療提供 | 33人 | 宮城県 | 仙台市 | 無 (旅費、借上料等は県が負担) |
| | 3月12日 ~ 3月13日 | SCUでの医療提供 | 3人 | 福岡県 | 福岡市 | |
| | | 小計 | 36人 | 医師13人、看護師14人、業務調整員9人 | | |

| 団体名 | 活動期間 | 活動内容 | 派遣人員 | 派遣先 | | 派遣に関する委託金・補助金の有無 |
|-------------------|---------------|-----------|------|-----|--------------------------|--------------------|
| | | | | 県名 | 市町村名 | |
| 大分県立病院 (医療救護班) | 3月18日 ~ 3月24日 | 救護所での医療救護 | 1人 | 宮城県 | 岩沼市 | 無 (医薬品等一部は県が負担) |
| | 3月20日 ~ 3月24日 | | 6人 | 宮城県 | 岩沼市 | |
| | 3月24日 ~ 3月27日 | | 5人 | 宮城県 | 松島町 | |
| | | | 小計 | 12人 | 医師3人、看護師4人、薬剤師2人、業務調整員3人 | |

回答自治体名： 大分県 (NO. 2)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県宮古市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 岩手県宮古市内を全戸訪問。

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム
 (1チーム複数市町で対応)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月31日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣元自治体内の協議結果) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名： 大分県 (NO. 3)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|---|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 宮城県石巻市 | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 宮城県石巻市内を全戸訪問、赤ちゃん訪問。 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 2 派遣先自治体との相互援助協定 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1チーム (1チーム複数市町で対応) | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ② |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 3 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 8月28日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 ③ その他(派遣元自治体内の協議結果) |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき ④ その他(被災地の状況に応じて判断) |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名:宮崎県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

| | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|-------|
| ① 現在、被災地に派遣を実施していますか | | | | | |
| 1 実施していない(調査は以上で終了です) | | | | | |
| ② 実施している(②以降についてお答えください) | | | | | |
| ② 派遣先等(〇〇県〇〇市等) | | | | | |
| 1. 岩手県宮古市(保健師チーム) | | | | | |
| 2. 岩手県釜石市(こころのケアチーム) | | | | | |
| ③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等) | | | | | |
| 1. 宮古市:宮古市立山口小学校、戸別訪問 | | | | | |
| 2. 釜石市:市内避難所、戸別訪問、震災ストレス相談室 | | | | | |
| ④ 派遣先を決定した理由 | | | | | |
| ① 国からの指示 | | | | | |
| 2 派遣先自治体との相互援助協定 | | | | | |
| 3 その他() | | | | | |
| ⑤ 派遣チーム数 | | | | | |
| 1. 宮古市(保健師チーム)7日間交替で1チーム派遣(6/22現在 延べ18班) | | | | | |
| 2. 釜石市(こころのケアチーム)6日間交替で1チーム派遣(6/22現在 延べ9班) | | | | | |
| ⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数 | | | | | |
| 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。 | | | | | |
| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
| 保健師 | 3 | ①、② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ①、③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 2 | ①、③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | ①、③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |
| ※1 人数は、1チームあたりの代表的な編成における人数。 | | | | | |
| ※2 こころのケアチームには、派遣チームによって、臨床心理士が加わる場合がある。 | | | | | |

※裏面へ

| <p>⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか)</p> <p>1. 宮古市(保健師チーム) 7月30日(土)まで 2. 釜石市(こころのケアチーム) 10月26日(水)まで</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------|--------|------------|------------|-------------|------|--------|---|---------------|------|-------|---|------------|-------------------------------|-----|---|--------------|----|-------|---|----------|----|-------|---|
| <p>⑧ 派遣期間を決定した理由</p> <p>① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他()</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか</p> <p>1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない ③ 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他()</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。</p> <p>1 医師会の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> <p>5 その他団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">派遣元</th> <th style="width: 20%;">活動内容</th> <th style="width: 20%;">活動期間</th> <th style="width: 30%;">委託金・補助金の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○日本赤十字宮崎県支部</td> <td>医療救護</td> <td>6/10まで</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>○宮崎県医師会(JMAT)</td> <td>医療救護</td> <td>6/2まで</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>○県社協・市町村社協</td> <td><small>ボランティアセンター運営支援</small></td> <td>活動中</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>○宮崎県医療生活協働組合</td> <td>医療</td> <td>5/6まで</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>○宮崎県看護協会</td> <td>医療</td> <td>4月末まで</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> | 派遣元 | 活動内容 | 活動期間 | 委託金・補助金の有無 | ○日本赤十字宮崎県支部 | 医療救護 | 6/10まで | 無 | ○宮崎県医師会(JMAT) | 医療救護 | 6/2まで | 〃 | ○県社協・市町村社協 | <small>ボランティアセンター運営支援</small> | 活動中 | 〃 | ○宮崎県医療生活協働組合 | 医療 | 5/6まで | 〃 | ○宮崎県看護協会 | 医療 | 4月末まで | 〃 |
| 派遣元 | 活動内容 | 活動期間 | 委託金・補助金の有無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○日本赤十字宮崎県支部 | 医療救護 | 6/10まで | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○宮崎県医師会(JMAT) | 医療救護 | 6/2まで | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○県社協・市町村社協 | <small>ボランティアセンター運営支援</small> | 活動中 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○宮崎県医療生活協働組合 | 医療 | 5/6まで | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○宮崎県看護協会 | 医療 | 4月末まで | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

回答自治体名:鹿児島県

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 宮城県牡鹿郡女川町

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 女川町総合体育館 等

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム(心のケアチーム1チーム及び保健師チーム1チームが合同で活動)

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 3 | ①, ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ① | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | 1 | ① |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ① | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 9月30日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| 1 国からの依頼 <input checked="" type="radio"/> 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 <input checked="" type="radio"/> 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 <input checked="" type="radio"/> イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <input checked="" type="radio"/> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑪についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 1 医師会等の支援 (1) 鹿児島県医師会 ・日本医師会災害医療チーム(JMAT)の派遣 ※茨城県(3/17~4/1), 宮城県気仙沼市(5/18~5/31) (2) 鹿児島県歯科医師会 ・歯科医師4名の派遣(6/30~7/5:宮城県, 身元確認活動) 2 病院団体の支援 日本赤十字社鹿児島県支部 ・救護班の派遣(3/17~6/14:宮城県石巻市に5班を派遣) ・こころのケア要員の派遣(4/24~30:石巻赤十字病院, 6/22~26:石巻市) ・介護職員の派遣(5/5~13:岩手県陸前高田市, 6/5~19:岩手県大槌町) ・臨床工学士の派遣(5/9~14:石巻赤十字病院) ・連絡調整員(事務員)の派遣(5/27~6/3, 石巻市内救護所) ・事務職員の派遣(3/19~26:石巻赤十字病院) 3 大学の支援 鹿児島大学病院 ・医療支援チームの派遣(3/25~5/1:石巻赤十字病院を中心に計12チームを派遣) ・小児外科医師の派遣(4/15~19:岩手県陸前高田市) ・臨床放射線技師の派遣(5/4~10:福島県相馬市, 遺体検案前の放射線サーベイ要員) |

回答自治体名： 沖縄県(こころのケアチーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県大船渡市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 相談所開設・避難所訪問・戸別訪問の活動を行っている。

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | 1 | ③ | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 1 | ③ |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | 1 | ③ | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | 1 | ③ | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | 1 | ③ | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | 5 | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月4日まで |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| ① 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 ① 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| 独立行政法人琉球病院が岩手県宮古市でこころのケアチームを派遣している。 定期巡回・訪問・支援体制の確立 3月23日から7月15日まで支援、8月から3月までは月1週間の支援活動。 派遣費用については国と協議中 |

回答自治体名： 沖縄県（医療救護班）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか

- ① 実施していない（調査は以上で終了です）
- ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）

④ 派遣先を決定した理由

- 1 国からの指示
- 2 派遣先自治体との相互援助協定
- 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数

自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | | | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | | |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|--|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 1 国からの依頼 2 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国が方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 1 医師会の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 沖縄県医師会 医療支援活動 3月15日～4月30日 委託金等なし (5月1日～5月30日の期間は、県との協定により負担金有り) |

回答自治体名：沖縄県（保健師チーム27）

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員（事務職のみの派遣を含む）の各チームごとの派遣状況についてお答えください。（チームごとに調査票を御記入ください。）

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない（調査は以上で終了です）
 ② 実施している（②以降についてお答えください）

② 派遣先等（〇〇県〇〇市等）
 岩手県大船渡市

③ 活動場所（〇〇体育館、〇〇宿泊所等）
 大船渡北小学校、赤崎町蛸ノ浦地区、大立地区、綾里地区の仮設住宅

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他（ ）

⑤ 派遣チーム数
 保健師チーム：1チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員（高齢） | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員（障害） | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他（ ） | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月31日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 ② 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき 4 その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

回答自治体名: 沖縄県(保健師チーム)

東日本大震災にかかる保健師、医師、管理栄養士等の派遣状況調査票

※平成23年6月22日現在の被災地への保健・医療・福祉にかかる職員(事務職のみの派遣を含む)の各チームごとの派遣状況についてお答えください。(チームごとに調査票を御記入ください。)

① 現在、被災地に派遣を実施していますか
 1 実施していない(調査は以上で終了です)
 ② 実施している(②以降についてお答えください)

② 派遣先等(〇〇県〇〇市等)
 岩手県大船渡市

③ 活動場所(〇〇体育館、〇〇宿泊所等)
 大船渡中学校、大船渡北小学校、赤崎町蛸の浦地区、大立地区の仮設住宅

④ 派遣先を決定した理由
 ① 国からの指示
 2 派遣先自治体との相互援助協定
 3 その他()

⑤ 派遣チーム数
 保健師チーム: 2チーム

⑥ 派遣チームの職種別・自治体種別人数
 自治体種別については、①県職員、②市町村職員、③民間職員の該当する番号をご記入ください。

| 職種 | 人数 | 自治体種別 | 職種 | 人数 | 自治体種別 |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 保健師 | 2 | ①② | 保育士 | | |
| 公衆衛生医師 | | | 児童指導員 | | |
| 歯科医師 | | | 児童福祉司 | | |
| 獣医師 | | | 児童心理司 | | |
| 薬剤師 | | | 介護職員(高齢) | | |
| 看護師 | | | 生活支援員・介護職員(障害) | | |
| 歯科衛生士 | | | 事務職 | 2 | ① |
| 管理栄養士 | | | 運転員 | | |
| 診療放射線技師 | | | 食品衛生監視員 | | |
| 精神科医 | | | 社会福祉士 | | |
| 精神保健福祉士 | | | 施設関係職員 | | |
| 臨床心理技術者 | | | その他() | | |
| ペット捕獲作業にあたる職員 | | | 総人数 | | |

※裏面へ

| |
|---|
| ⑦ 派遣期間の予定(いつまで派遣が決まっていますか) |
| 7月31日 |
| ⑧ 派遣期間を決定した理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 国からの依頼 ② 派遣先自治体との調整 3 その他() |
| ⑨ 長期的支援について、どのように考えていますか |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 当該自治体の計画に基づき、長期的支援を行う予定 2 長期的支援は考えていない 3 長期的支援は、国の方針を示すべき ④ その他() |
| ⑩ 医師会、病院団体、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況を把握していますか。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1 医師会の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 2 病院団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 3 ボランティア団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 4 大学の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) 5 その他団体の支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 把握していない。 イ 把握している。(⑩についてご回答ください。) |
| ⑪ 医師会、病院協会、ボランティア団体等、貴自治体の保健医療福祉団体の支援(派遣)状況について、団体名、活動内容、活動期間、派遣に関する委託金・補助金の有無をご回答ください。 |
| |

Ⅱ．東日本大震災被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査

回答自治体名：北海道（健康相談班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：北海道（健康相談班）

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市

3 支援した期間：宮城県：平成 23 年 3 月 16 日～平成 23 年 6 月 1 日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

・災害発生初期の派遣においては、避難所運営が困難な中、被災者の健康状態のチェックや病状等の悪化予防、感染症等を予防するための環境改善の取り組みができた。また、避難所全体の運営をサポートするなど被災先自治体の職員とともに被災者への支援ができた。

（活動環境に関すること）

・公用車を配置し、継続的に複数のチームで支援することにより、被災地住民の健康状態を把握するための活動がスムーズであった。

・継続した支援を行うため、引き継ぎを充分に行うことで、現地での情報伝達がよりの確となった。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：早期

（課題）

・医療救護の体制、支援物資の配給状況等を早期に把握することが必要であるため、早期に正確な情報提供を受けるための通信手段等の整備が必要。

・また、被災者が安心して相談ができるよう、チームベストの着用など、支援者の所属等を被災者が視覚的に理解できるための工夫が必要。

6 被災地の中長期的な課題

・中長期的には、被災地の復興の目標を明確にし、支援者も同じ目標を共有化した中での支援が必要となるため、継続的に支援できる派遣体制の見直しが必要となる。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

・被災自治体の復興に向けた方針や地域住民の特性を十分踏まえた中での支援を行うことが可能であり、復興に向けた活動がより充実すると考える。

回答自治体名：北海道（「心のケア」チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：北海道（「心のケア」チーム）

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市

3 支援した期間：3月22日～9月2日まで 21班（予定）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ 早期及び慢性期に地元の医療機関などに繋ぐことができた。
- ・ 他県から支援に入っている保健師との連携も速やかにできた。

（活動環境に関すること）

- ・ 被災地から離れた安全な環境に活動拠点を置いたため、支援者の気持ちの切り替えができ、負担の軽減につながった。
- ・ 現地での活動をより活性化するために、支援チームの調整コーディネーターの派遣を検討する必要がある。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）

（課題） —

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 被災者が仮設住宅に移動後のニーズをくみ上げる体制に工夫が必要と考える。
- ・ 支援チームの配置については、中長期的な期間で、調整する必要があると考える。

7 パートナー制による支援についての意見

- ・ 支援する自治体が可能な限り一貫した援助を継続するパートナー制による支援が望ましいと考える。

回答自治体名：札幌市（管理栄養士）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：札幌市（管理栄養士）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県 大槌町（釜石保健所）
- 3 支援した期間：平成 23 年 5 月 23 日～5 月 30 日（第 1 班）
平成 23 年 6 月 6 日～6 月 12 日（第 2 班）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

・炊き出しの衛生管理や食事バランス等の支援は、管理栄養士のチームにより改善が見られた。保健所への苦情が減ったとも聞く。

（活動環境に関すること）

・管理栄養士が 3～4 人のチームで避難所に入ることにより、炊き出しの衛生面や献立への支援ができたと思われる。管理栄養士単独派遣では、炊き出し担当者への影響は小さいと思われた。

・当初、釜石保健所では管理栄養士チームが全体ミーティングに参加することができなかった。第 1 班の申し入れにより、第 2 班から管理栄養士も参加できる体制がとられた。これにより、他県が多職種との情報交換ができ、活動の幅が広がった。

・釜石保健所では、札幌市からの派遣が終了する前に栄養士の派遣を要請し、管理栄養士の支援の必要な避難所に、継続して支援できる体制が取れたことは良かった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：5 月 23 日～5 月 30 日

（課題）避難所の炊き出しは震災直後から行われ、この時から衛生的な食品の取扱いが必要となっていた。避難期間が長期化してくる中では、栄養バランス、適切な発注・納品、食品管理等の知識が必要となってくる。

支援当時は、震災から 2 か月が経過していたが、これらが避難所の一般人により行われていた。避難所の炊き出しには、食中毒の発生予防や限られた施設と食材、器具等で献立を作成することが必要であるため、専門的な知識と経験を有した人材が必要である。

震災直後の早い段階で管理栄養士の派遣要請があると良いと思われた。

また、栄養士がチームを組み、炊き出しの支援を行うことは、効率的であり、避難所への大きな支援になると思われた。

国から都道府県（政令指定都市）に対して、「栄養士チーム」の要請があると各自治体は動きやすいと思われた。

- 6 被災地の中長期的な課題

・野菜や果物の不足により、ビタミン類の不足が長期化してきていると思われる。マルチビタミンの配布も為されていたが、避難者全般に対する情報としては少ないと思われた。

・避難所から仮設住宅への移行は、「共食」から「孤食」に移行する可能性が高い。仮設住宅で孤立感を生まない工夫が必要と思う。また、自炊生活が始まることにより個々の栄養管理も必要と思われる。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

・コメント なし

回答自治体名：札幌市（医師、保健師、相談員）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：札幌市（医師、保健師、相談員）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：仙台市、福島県会津保健所管内
- 3 支援した期間：3/16～4/12、4/2～6/28（8/28まで延長予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・対策本部が、被災地の状況の変化に応じた調整機能を発揮すると、現地での活動がしやすく、被災者のニーズを支援に結びつけられた。（仙台市）
- ・巡回診療チーム、心のケアチーム、リハビリチーム等と連携し活動することができた。効率的な活用のためには、事前の巡回情報とそれに合わせた周知や対象者のピックアップなどの準備が必要。

（活動環境に関すること）

- ・対策本部が全体ミーティングや毎日の活動報告会を開くことで、個別の避難所だけでなく、地域全体をみる活動へ繋がっていた。
- ・現地活動用の車を確保することが必須である。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：震災後1週間前後

（課題）

- ・指定避難所以外に避難している方々に対する情報の周知
- ・避難所の物資管理の困難さと需要と供給の不均衡

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・仮設住宅や賃貸住宅など、新しい生活環境に応じた保健ニーズへの対応
- ・健康基盤としての、就労、経済面への支援
- ・被災者のメンタルヘルスへの対応
- ・保健、医療、福祉制度の安定的な活用

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・被害の全容を把握できることにより、避難所対応だけでなく、地域全体をみるためには、パートナー制は有益と考える。
- ・受け入れ側、派遣側とも、情報伝達がスムーズに行われ、効率的な活動が可能になると考える。

回答自治体名：青森県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：青森県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県会津保健所（会津若松市内に避難している大熊町への支援）
- 3 支援した期間：H23. 4. 6～5. 24、6. 5～現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動環境に関すること）

本県では、厚生労働省からの依頼内容及び本県のマンパワーの現状を踏まえ、1週間単位の短期的な職員派遣による支援を継続的に実施してきたところであるが、その場合、受入側の県職員が本県からの派遣職員の業務調整に多くの時間を要していることから、国又は被災県以外の職員による一定期間継続した被災地外からの派遣職員の業務調整が行われる仕組みが必要である。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：6/5～

（課題）①4～5月の悉皆調査後、要支援者への対応まで時間を要している（再度、現状把握が必要になる。）。

要支援者の把握をしたものの、マンパワー不足からその後の対応にすぐ結びつかず、再度状況確認が必要な状況となったり、時間の経過とともに新たな問題が発生したりしている。

- ②要支援及び継続のための統一された尺度がない。

支援頻度や支援方法が不明確であるため、要支援者支援にあたっては、結果として被災地の職員の負担となっている部分がある。

- ③被災自治体職員の疲弊感が著明

被災自治体の職員は自らも被災者でありながら住民の支援にあたっており、全く休みが取れない中で過重労働状態となっている。

6 被災地の中長期的な課題

(1) 管轄保健所の調整機能

① 支援の程度、不均衡が生じた場合の調整

被災自治体によって支援に入る自治体数や団体数が違うため、必要な支援と提供される支援の乖離や自治体間の不均衡が生じる。

② 被災者が自治体ごとに避難していない場合の支援人員の調整

被災者が複数の市町村に分散避難している場合、支援のための人員確保が大きな課題となる。

③ 支援者に対する支援計画の公表

(2) 支援要請窓口の一本化（厚労省、総務省、市長会、町村会など）

支援要請窓口が複数あるため、被災地支援に入っている自治体や各種団体（専門職等）の調整が上手くいかず、支援の過不足が生じている。必要なニーズに応じた適切な支援が行きわたるためには、窓口の一本化が必要。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

厚生労働省の派遣要請を待たずに、被災地の状況を速やかに把握することによって、ニーズに応じた迅速な支援活動を実施できる。また、被災地のニーズに応じた多職種の派遣調整等も可能となる。

しかし、パートナー制によらなくても、例えば、国が現地に対策本部を設置することにより、被災地情報の集約、総合的な支援要請窓口設置、関係省庁間の調整などを行う仕組みを機能させることができれば、被災地外都道府県からの効果的な支援を行うことも可能である。

回答自治体名：秋田県（医師）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：秋田県（医師）

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石市

3 支援した期間：3月18日～5月31日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・医療ニーズが刻々と変わる中、内科・外科の基本医療チームに眼科などの専門医や薬剤師を帯同するとともに、事務を含めたチーム編成が効果を発揮すると思われる。

（活動環境に関すること）

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：DMAT活動終了後

（課題）

- ・避難所を含む現地の状況把握が遅れたことから、インターネットを含む被災地間の通信体制の確保やDMAT活動の目安である48時間経過以後の亜急性期への移行体制。

6 被災地の中長期的な課題

- ・医療支援の基本は、いかに早く現地の医療を復興させ通常の保険診療に移行するかである。このため、避難所生活が長期化する中で、慢性期の医療ニーズに対応するためには、現地の災害対策本部との調整が重要である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・一つの場所ということで、刻々と変化する被災地の状況等の把握や次のチームへの引継も容易であろうと思われる。

回答自治体名：秋田県（心のケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 秋田県（心のケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県宮古保健所管内（宮古市、山田町）
- 3 支援した期間： 3月23日～6月15日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・精神科医師、看護師、臨床心理士等がチームで支援にあたったことで、避難所・仮設住宅等での相談対応、医療対応（診察、投薬）等の幅広い支援が可能であった。
 - （活動環境に関すること）
 - ・一避難所にそれぞれの目的で複数のチームが支援にあたることは、場合によっては避難している方々にとってはかなりの負担になると思われる。
各種チームの役割を分担し、効率的な配置を行いながら支援できるような調整が必要と思われる。調整役を全て被災県が負うことは困難と思われるので、調整役として中長期の支援を行う所が必要でないか。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：急性期～中期
 - （課題）調整機能の強化・支援
 - ・現地の状況の変化と共にニーズも変化したが、支援体制は急性期と同様の体制であったため、非効率な点や対応不足も見受けられた。
変化する現地のニーズに応じ、支援内容・方法を変化させていくことについて、個々の派遣チームが判断し対応することは混乱を来し限界があるため、被災地の自治体等による調整が必要と思われる。
 - ・被災地の自治体で、中長期的な見通しで調整し、体制を再構築していくのが望ましいが、人的にも、時間的にも対応が難しい状況と思われ、調整役としての支援、スーパーバイズ的な支援が必要と思われる。
- 6 被災地の中長期的な課題（心のケアの観点から）
 - ・仮設住宅入居後の心のケア（孤立化、生活費等の不安など）への対応
 - ・PTSDへの対応
 - ・こどもの心のケアへの対応
 - ・支援者支援（被災地の市町村、病院、施設等の職員への支援）
 - ・医療機関への支援（地元の力だけでは対応困難）
 - ・心のケアの中長期的な体制の構築（医療機関、地域のボランティア、支援）
 - ・就労の確保、経済的支援、地域の再生
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・被災自治体と支援自治体との意思の疎通・連携が円滑に行なわれるのでないか。
 - ・支援自治体としては、調整、連携（既存の連携関係が発揮できる）、効率（各種チームの役割分担・効率的配置、現地までの輸送等）の面で利点が大きいのではないか。
 - ・支援自治体の負担が大きくなることも考えられるため、被災自治体と支援自治体の規模のバランスを考慮する必要があるのではないか。

回答自治体名：秋田県（保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：秋田県（保健師チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石保健所管内（釜石市、大槌町）
- 3 支援した期間：平成23年3月16日から6月30日まで
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ 保健師派遣では、派遣当初から終了まで、ほぼ同様の避難所支援活動だった。被災地県側で現地の避難者数の変化に応じて、常駐から巡回に切り替え、他の健康課題対応にシフトするなどの判断をしていくことで、より効果的支援が可能だったのではと思われた。
- ・ 派遣保健師が1週間毎に変わるため、引継体制に課題が残った。

（活動環境に関すること）

- ・ 派遣者の送迎は当県公用車で実施。派遣者の宿泊先確保に苦勞。現地活動用公用車3台を準備したので活動はスムーズだった。更に、中盤以降パソコン、プリンターも持参。記録等の効率性が向上した。
- ・ 被災地の被災状況により、派遣者のメンタルヘルスへの配慮も今後要検討。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年3月16日から6月30日まで

（課題）

- ・ 当初は様々な自治体が一斉に支援に入るため、各種調整が求められる。
- ・ 避難所にも種々のチームが入るため、全体調整が必要。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・ 被災者の生活再建（仮設に移ってもその先が見えない人が多い）
- ・ 状況変化に応じた支援体制の切り替えや新たな活動への移行等の判断（例えば、避難所避難者数の変化に応じ、常駐から巡回に移行し、仮設への対応にシフトしていくなど）が被災地には求められるため、スーパーバイズ役となる人材の支援も必要。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

被災地支援を中長期的に継続することを考えると、ハード面（被災地へのアクセス、派遣職員の宿泊先、派遣活動上必要な物品等の準備・保管）、ソフト面（現地状況の継続的な把握、状況変化に応じた被災者への支援活動など）ともに同一自治体への継続的な支援が効果的、効率的と考える。

回答自治体名：山形県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：山形県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：(派遣職員数としては) 岩手県山田町

以下の設問3～6は、宮城県気仙沼市と岩手県宮古市における医療救護班の活動記録を基に記載

- 3 支援した期間：(宮城県気仙沼市) 3月24日～5月31日
(岩手県宮古市) 3月28日～4月23日

- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

- ・ 薬剤師が巡回診療と定点診療所両方にいることで、医師・看護師が診療業務に専念することができた(4月13日)
- ・ 出発前にオリエンテーションを行ったことで、メンバーの顔合わせや現場のイメージをつかむことができ、スムーズに活動に入ることができた(4月13日)

(活動環境に関すること)

- ・ 市職員が診療記録を管理しているため診療がスムーズである(4月1日ほか)
- ・ 粉塵がひどく、スタッフも目と鼻のアレルギー症状がひどい(4月2日ほか)
- ・ 資機材準備の連絡先がはっきりしていれば資機材の準備がスムーズにいったと考えられる(4月13日)
- ・ 本部に提出した情報がきちんと伝達されず、次のチームが診察に訪れた際に意思疎通の齟齬・時間のロスが生じた(5月29日)

5 被災地の支援当時の課題

(課題)

- ・ 医療救護班が活動する日中の時間帯は避難所に残っている方が少ない(記録多数)
- ・ 血圧の薬が流され全く内服していない患者が1名。ほかにもいる可能性があり、そのような方のスクリーニングをどうするか(4月9日)
- ・ 医療救護班が連日訪問するため、通常なら受診しない方もある程度受診するので、データを集積すれば今後の参考になる(4月13日)
- ・ 診療を再開した開業医への引継が必要(4月22日)
- ・ 避難所から自宅や支援住宅に移り住むようになり、医療者の目が行き届かなくなる可能性がある(4月23日)
- ・ 医療救護班の訪問によりコンビニ受診を助長した印象(4月24日)
- ・ 開業医は診療を再開しているが、交通手段がないために受診できない患者がいる(5月14日ほか)
- ・ 避難所で白癬がはやりつつある印象(5月18日)
- ・ 震災後の不眠を訴える方が多い(5月21日)
- ・ 通常診療に移行する時期となり、治療が中断しないよう、患者の紹介により円滑な移行を進める必要がある(5月22日)
- ・ もともと精神疾患を有する患者が震災をきっかけに憎悪している印象がある(5月31日)

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 多数の医療チームの派遣に住民が慣れ始めており、やがて救護班が引き揚げ再び医療資源不足になったときに、住民の理解を得てスムーズに移行していけるのか(4月23日)

7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

- ・ 同一団体のほうが派遣職員の引継ぎがスムーズで、地元自治体の手間がかからない。
- ・ 一地区を丸ごと受け持つことにより、地元自治体は派遣職員への指示等を行う人員を少なくすることができる。

回答自治体名：茨城県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：茨城県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県
- 3 支援した期間：6月13日～6月22日（7月24日予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

主な支援内容は、県民の放射線体外汚染検査

（活動環境に関すること）

特に問題なし

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：6月22日

（課題）

- ・復旧状況に応じた支援業務の縮小あるいは終了の時期の判断
- ・支援業務に係る効率的な指揮・命令・連絡体制
→支援活動が広範囲に渡る福島県において、福島市内での毎日の打ち合わせは非効率と感じた。

- 6 被災地の中長期的な課題

福島県の場合、内部被ばくを含めた今後の県民の健康管理をどのように実施していくのが課題である。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

被災の程度にもよるが、今回のような広範に及ぶ災害の場合は、特定の自治体の支援だけでは、負担が大きいと思われる。

回答自治体名：栃木県（医師）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：栃木県（医師）

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県大船渡市

3 支援した期間：平成 23 年 4 月 18 日から 26 日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

1. 救命救急センターの夜間・日中当番をしたことで、現地の Dr. の疲労を軽減させることができた。
2. 8 日間という比較的長い期間連続してサポートできた。
3. 薬剤を照合できるソフトを持参したが非常に役立った。
4. 病院のスタッフも皆、被災者であり、彼らを長期休ませてあげられるだけの大量の人的サポートが必要と思われた

（活動環境に関すること）

1. 衛星電話が設置されていたため、救急隊からの報告を受けてから患者を引き受けることができた。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：4/18～4/26

（課題）

1. 近隣市町村すべての医療機関が機能停止したため、これらの患者がすべて大船渡病院に流れ込み、外来機能がパンクしていた。
2. 薬がなくなったものの、お薬手帳もないため薬剤名がわからない患者が多数いた。
3. 津波発生から 5 週間薬を服用できなかったため、心不全や脳梗塞などの重篤な状態で運ばれてくる患者が多かった。
4. 支援チーム内に小児科医が少なくて困った。
5. 街には街灯も信号もないため、交通外傷で搬送されてくる患者も数名いた。
6. 本来なら長期療養型病院や老健施設への入院・入所が適切と思われる患者もすべて救急センターで受け入れなければならなかった。
7. 退院可能でも帰り先のない患者が多く、ベッドが埋まってしまうような状態であった。
8. 炊き出しの食べ物を摂取したあとの急性胃腸炎が多く、炊き出し現場の衛生状態をチェックする体制も早々から機能すべきと思われた。

6 被災地の中長期的な課題

1. 大船渡病院退院後の受け入れ先病院・施設がない。
2. 近隣から流入し増加した患者に対応できるだけの医療スタッフがいらない。もともと医療過疎の町でもあるため、今後も永遠に続く問題である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：栃木県（心のケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：栃木県（心のケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県（相馬市、新地町）
- 3 支援した期間：H23. 5. 9～H23. 6. 17
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

【うまくいった点】

避難所住民への対応、精神科臨時外来や保健センターでの診察、家庭訪問による診察等を実施した。

避難所においてアルコール関係の講話、仮設住宅において心の健康に関する講話を実施した。

【今後工夫が必要な点】

他の心のケアチームや医療チームの派遣状況が、現地では即座に把握できず、活動時に連携が取れるようになるまで時間を要した。

県が調整役となって民間病院を含めたチームを編成したが、JMATによる派遣や純粹にボランティアによる支援が行われている中、費用負担や二次被害の求償についての調整に時間を要しており、派遣についての全国的なルールが必要

（活動環境に関すること）

【今後工夫が必要な点】

宿泊場所が活動地域から遠隔地にしか確保できなかった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：H23. 5. 9～H23. 6. 17

（課題）

心のケアチームの活動において、「精神科」とか「心のケア」という内容でのアプローチが難しい場合（地域）があり、「医療相談」としてアプローチするなどの工夫が必要だった。

自立支援医療受給者の現状（現在の病状、医療機関への受診状況）の確認が進んでいない地域があり、仮設住宅訪問等による現状調査を計画的に実施した。

- 6 被災地の中長期的な課題

被災者が避難所から仮設住宅に移り、心のケアにどのように取り組んでいくかが課題と考える

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：栃木県（保健チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 栃木県（保健チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県亶理郡亶理町
- 3 支援した期間： 4/30 ～6/29
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

今回の震災は、被災した地域も広範囲であり、地域によっても復興状況が異なっているが、国からの各都道府県の派遣職員の活動状況や現地の健康面での課題等についての情報提供は、被災地での活動内容をイメージするのに、有効に活用できた。

（活動環境に関すること）

活動拠点と宿泊施設を分けて設定したことは、派遣職員の健康保持の面から有効だった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：震災発生後1カ月半経過時～3カ月半経過時

（課題）

①当初、避難所での活動を想定した支援体制で支援を開始したが、約2カ月の間に、避難所での活動から在宅者への健康調査、さらに仮設住宅内の要支援者への訪問活動へと活動形態がどんどん変化した。活動形態の変化に応じて、派遣体制（派遣職種、人数、派遣期間等）の見直しを行うことも必要。

②被災地の自治体職員は、自身も被災しているにもかかわらず、被災者支援に追われており、彼らへの健康支援の必要性を痛感しながらも、被災住民中心の支援になっている。被災地の自治体職員の負担軽減のための派遣体制の検討が必要。

- 6 被災地の中長期的な課題

震災発生から3カ月半が経過し、被災者の仮設住宅移行も進む中で、今後は継続的にフォローアップが必要な個々の被災者への支援とともに、新たなコミュニティーづくりが必要と思われる。

また、各自治体の通常業務も再開されつつあるが、自治体職員が被災による死亡や負傷等により稼働できず、人的資源不足が懸念される。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

支援する側としても、支援を受ける側としても、長期間に渡って支援が継続できるパートナー制は有効であると思う。

ただ、パートナーを決定するプロセスにおいて、被災自治体や支援を行う自治体の状況を十分に把握した上でのマッチングが必要となるので、そのマッチング機能をどこがどのように担うかがパートナー制の有効性を高める重要なカギとなると思われる。

回答自治体名：栃木県（放射線技師）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：栃木県（放射線技師）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県福島市
- 3 支援した期間：平成 23 年 6 月 10 日から 7 月 2 日及び 16 日～18 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）
派遣依頼業務への対応は可能であった。

（活動環境に関すること）
特になし。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：
（課題）
特になし。

- 6 被災地の中長期的な課題

特になし。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

なし。

回答自治体名：群馬県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：群馬県（医療救護班）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県南三陸町
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 17 日～5 月 13 日（医療救護班）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

同一地域への継続的な派遣だったことから、活動中の救護班からの現地情報（復興状況、活動概要等）を整理し派遣が予定されている医療機関等関係者に随時提供することで情報の共有化を図ることができた。

なお、DMATによる急性期災害医療終了後の医療支援（医療救護班）に係るチームの編成や育成等については、派遣元である自治体や医師会等に委ねられているが、より効果的・効率的な活動を行うためには、DMATと同様に、国において、派遣ルールの策定やチームの計画的な育成等を行う体制を整備することが必要である。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：支援開始から 10 日間程

（課題）被災者支援に要する燃料等の確保

※災害発生後、ガソリンや生活物資の入手が困難な状況が続いたが、被災者及び被災者支援に必要な燃料等が確実に確保できる仕組みが必要。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・医療機関の早期の復旧。
- ・被災地の医療を担う医師の確保。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

パートナー制による支援については、指揮命令系統がシンプルになることなど、被災地支援の有効な手段の 1 つと考えられるが、パートナーの組み合わせや、支える側の自治体へのフォロー等、課題もある。

回答自治体名：群馬県（保健師班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：群馬県（保健師班）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県塩釜市
- 3 支援した期間：4/6～5/28（保健師派遣）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
障害者や高齢者などに関し、関係部署の連携ができ、住民に対する必要な支援ができたこと
 - （活動環境に関すること）
ホテルに宿泊でき、活動地までが近かったので活動しやすかった
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：被災後 2 週間
 - （課題）
市、保健所、支援自治体が一堂に会し協議する場がなかったこと
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 障害者や高齢者など社会的に弱い立場の人について、自立した生活ができるような支援をどのように行っていくか
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 長期支援（数ヶ月）が可能であれば望ましいと思う
 - 複数の自治体支援や自治体の交代があっても、引継ぎがしっかりできればよい

回答自治体名：埼玉県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：埼玉県

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石市

3 支援した期間：平成 23 年 3 月 16 日から平成 23 年 5 月 1 日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

○避難所内における健康相談活動の実施

被災自治体からの要請により、避難所内における避難者の健康管理を担うことになった。支援初期には感染症防止策、支援後期には自宅避難者への訪問活動を開始した。避難者の状況変化に応じた支援について、被災自治体と連携しながら円滑に進めていくことができた。

(活動環境に関すること)

○活動の効率性を重視して職員を避難所内に宿泊させた。避難者からは、「保健師が避難所内にいてくれるのでとても安心できる」という声もあったが、職員の負担を考えると支援時期に応じた対応の必要性を感じた。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：平成 23 年 3 月 16 日から平成 23 年 5 月 1 日

(課題) 心のケアの必要性の認識をどのように高めるか

○心のケアへの理解を得ることが難しかった。働きかけや導入のタイミングなど、今回の事例を通じて研究していく必要性を感じた。

6 被災地の中長期的な課題

○被災地職員の支援

○移動手段がない高齢者（慢性疾患を抱えている）が多いため、被災した医療機関に代わる新たな医療機関へのアクセス方法等が課題。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

同一自治体で支援をした方が、対応内容に継続性や一貫性を保つことが可能となり、円滑に支援が行える。

回答自治体名：さいたま市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：さいたま市

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県宮古保健所管内山田地区

3 支援した期間：3月14日～4月28日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

被災直後、早い時点から支援に入り、被災地保健所から最も優先度の高い地区を担当し保健活動のシステムの構築に努めたこと。住民のコミュニティづくり、自治活動の支援に努めたこと。

(活動環境に関すること)

雪深い地域で活動できる車両を持ち込み、悪路の運転や感染症予防等の環境整備、自治体職員との調整等を担う事務職が保健師に同行したこと。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：震災3日後～50日後

(課題)

被災地自治体の職員の支援、自治体と保健所との調整。健康課題が日々変化していくことに伴うタイムリーな予防的活動。

6 被災地の中長期的な課題

自治体の通常業務を回復させることが住民のセルフケア能力の維持、ひいては地域の復興にもつながるため、自治体機能をどのように支援していくかが課題である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

相互の自治体が顔の見える関係で協力支援に当たることができると思う。しかし、優先度等踏まえた公平性のある支援体制をどのように担保するかが課題となる。

回答自治体名：さいたま市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：さいたま市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：仙台市 若林区
- 3 支援した期間：平成 23 年 6 月 6 日～平成 23 年 6 月 12 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

被災地の被保護者の家庭訪問を実施した。被保護者の現状や担当 CW への要望を正確に伝えることができた。

罹災状況確認について、あらかじめ質問内容をいくつか決めておくことで調査がしやすくなり、より多くの世帯を回ることができた。

半壊状態の家も見られたため、早急な転居指導が必要だと思った。

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：平成 23 年 6 月 6 日～平成 23 年 6 月 12 日

(課題) 半壊状態の家に住む被保護者の転居指導

半壊状態の家に継続して住む被保護者は、生活環境の悪化により、健康状態の悪化も懸念されるため早急な転居指導が必要だと考える。

安否確認ができていない世帯が多く、とにかく多くの世帯の訪問に行く必要があった。

- 6 被災地の中長期的な課題

被災により、失業した被保護者も多くいた。被災地の方々に職が見つかるように支援し、早急に社会復帰に繋がるように今後も支援していく必要があると考える。

また義援金が入ることで早急に保護の停廃止を検討せず、被保護者の状況を把握していくことが必要である。

避難所生活を続けている市民が多く、今後は多くの生活保護相談が増えるのではないかと思う。

- 7 パートナー制による支援 (一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法) についてのご意見

同じ業務でも他の自治体独自のやり方があり、その良い点は自分の業務に生かすという点でパートナー制はよいものだと考える。

一方で、被災自治体の業務に過度に係わりすぎることにより、自分の自治体のやり方で業務を遂行し、被災自治体の業務に支障をきたすことも考えられるため、あくまでも補助として支援するべきであると考えます。

多くの自治体の一つの被災自治体を支援するよりも、一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援するほうが状況を把握しやすいのではないかと思う。

回答自治体名：さいたま市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：さいたま市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：仙台市若林区
- 3 支援した期間：平成23年6月13日～6月19日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

若林区役所保護課にて生活保護世帯の家庭訪問業務を行いました。業務について特に必要とされている印象は受けませんでした。しかし、少しでも負担軽減につながればと思い、業務に励みました。

若林区役所保護課にて生活保護世帯の家庭訪問業務を行いました。土日の業務を特に必要とされていないと感じました。無理に仕事を作っていたようで、逆にご迷惑だったのではと感じました。

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：平成23年6月13日～6月19日

(課題) 私が支援していた期間において、保護課については支援の必要性を感じる機会はありませんでした。

被災による生活保護申請者の増加を見込まれたようですが、急激な増加はないとのことでした。

- 6 被災地の中長期的な課題

家庭訪問業務のみを行っていたので、中長期的な課題については発見することができませんでした。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

1週間交代でのスポット的な支援であると、できることが限られてくるので、仕事を振る側も依頼業務を選定するのが難しかったようです。

回答自治体名：さいたま市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：さいたま市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県山田町
- 3 支援した期間：4月下旬（6日間）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

避難所内に自治会が組織されていたため、様々な事項の伝達が行われた。

（活動環境に関すること）

特に避難施設の場合、「土足」の取り扱いについてある程度のマニュアルがないと、衛生面等基本的な部分で多く問題が生じると感じた。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：4月下旬（6日間）

（課題）

通信手段の復旧が完全でない状態で、「救援物資」のニーズ把握と的確なマッチングが行われないと、現場は余計な業務が増えると思われる。

- 6 被災地の中長期的な課題

衛生面も含めた速やかな都市基盤の再整備に向けたプランづくりと住民との情報共有。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

「困った時はお互い様」の相方をあらかじめ定めておくことは感覚的には賛同するが、その根拠は住民の意見として担保しておくことが必要。

回答自治体名：さいたま市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：さいたま市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：6月23～24日（2日間）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

ボランティアセンターにより多くの活動依頼、人員、機材が集まるよう、具体的な依頼内容を周知し、またボランティアセンターの活動をアピールすることで多くの市民がボランティア活動に興味を持ち、参加を促すべきと思います。

（活動環境に関すること）

私はボランティアバスの同行という形で派遣されましたが、その中で感じたことはより多くの市民の方にこのような取組みをお知らせし、ボランティアに参加しやすくすることで、離れた地域からのボランティアを増やせるようにすべきと感じました。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：6月23～24日（2日間）

（課題）

被害が大きい地域の方々が、今後に希望を見出せないこと。

- 6 被災地の中長期的な課題

産業をいかに立て直すか。（被災地でのボランティア活動を体験できる観光ツアーなど）

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

1つの方策として取り入れるべきだが、多くの自治体、また国の支援も同時に引き出す必要があると思います。

回答自治体名：千葉県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：千葉県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：3月18日～現在継続中
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)
別紙のとおり

(活動環境に関すること)
別紙のとおり

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：
(課題)
別紙のとおり

- 6 被災地の中長期的な課題

別紙のとおり

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

別紙のとおり

回答自治体名：千葉市（こども未来局）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：千葉市（こども未来局）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県（亶理町・山元町）
- 3 支援した期間：H23年4月25日～H23年4月29日
H23年5月2日～H23年5月6日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
依頼の期間が月～金曜日であったため、連続で派遣するにあたり、車両の確保、現地要員の引き続き等がスムーズに行えなかった。
 - （活動環境に関すること）
派遣依頼⇒決定⇒出発までの期間が短く、要員の決定、宿泊先の確保等、準備に要する時間が短く苦慮した。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：H23年4月25日～H23年4月29日
 - （課題）県と各市町村の連携
各避難所や保育所、幼稚園へ県児相の活動が伝わっておらず、受け入れる側もどうしてよいのか分からず、支援活動に支障を生じた。
現場が真に必要とする支援を把握する必要がある。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 支援の受け入れを担っている県と、被災地の各市町村の連絡体制をさらに強化する必要がある。
今後の復興に向けた的確な支援を実施するため、被災地が求める支援内容を十分に把握し、各自治体が情報を共有し、必要な支援策を講じることができるような仕組みを構築する必要がある。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 各市町村の状況もあり、継続困難となった場合のことを考慮すると、複数の自治体で一つの被災自治体を支援する方策が必要と思われる。

回答自治体名：千葉市（病院局）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：千葉市（病院局）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県陸前高田市
- 3 支援した期間：3月20日～23日、3月27日～30日、5月5日～9日、5月11日～15日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
派遣した当時、現地では糖尿病や高脂血症等の内科の需要があったが、派遣した医師が内科の医師であったため、被災者の支援につながった。
 - （活動環境に関すること）
千葉県が災害派遣のとりまとめを行っており、必要なパソコンや宿泊場所を確保でき、円滑に支援を行うことができた。
今後工夫が必要な点については、「5 被災地の支援当時の課題」に記載した。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：5月上旬
 - （課題）
 - ア 活動内容に関すること
 - ・ 被災者の中には内科の治療が落ち着くと、今後は精神的なケアが必要である患者もおり、現地入りしている医療救護チームと精神ケアチームとの間の情報交換等、他の災害派遣チームとの間の情報交換が現地が必要であると感じた。
 - イ 活動環境に関すること
 - ・ 本市においての一番最近の支援の時期は、5月上旬であったが、宿泊場所である公民館には、食糧が山積みとなっていた。これは、災害派遣チームの交代による引き継ぎが十分ではなかったため、現地では食糧が足りているにも関わらず、後続のチームが食糧を持参してきてしまったことが原因である。そこで、前任のチームと後任のチームの間の引き継ぎを十分に行う必要と思う。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 支援を行っていた地域では地元診療所の再開の目途がつき、医師の派遣を5月末で終了したが、医師等の派遣による直接的な支援を終えても、まだまだ被災地には復興に向けた支援が必要である。被災地から必要な支援の情報を発信し続ける仕組み、またそれに適切に応えられる仕組みが必要と思われる。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 確かに、パートナー制による支援を行うことにより効率的かつ継続的に被災自治体を支援することができるため、望ましい支援の形であると思うが、支援を行う自治体から医師等を継続的に派遣することは、当該自治体の負担となることから、パートナー制による支援を行う場合は支援を行う自治体と十分な協議を行う必要があるだろう。

回答自治体名：千葉市（保健福祉局）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：千葉県千葉市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県上閉伊郡大槌町
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 23 日から現在まで
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - (活動内容に関すること)
 - ・吉里吉里地区内の全避難所の衛生管理、健康管理を依頼され、避難所だけでなく在宅避難者も含めた保健活動を展開することができた。
 - ・被災自治体で活動する支援自治体と、被災自治体との情報交換の場が必要である。
 - ・被災地の地区活動については、支援自治体だけで計画が立てられないため被災自治体との連携が必要である。
 - (活動環境に関すること)
 - ・宿泊場所が活動場所の近くに確保できず、移動時間を要した。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - (支援時期)：平成 23 年 3 月 23 日から
 - (課題)
 - ・被災の全体像を把握することができなかった。
 - ・感染症予防
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・仮設住宅などの整備が進み、新たなコミュニティへの地区活動、引きこもり予防の対応。
 - ・被災自治体への円滑な事務の引き継ぎ
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・被災自治体の活動方針や思い、要望を受けとめることができ、連携が図りやすい。

回答自治体名：東京都（保健政策部）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：東京都（保健政策部）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：4月24日～継続中
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

○被災地が要望する保健師活動支援（例えば、被災地域全戸調査・避難所の健康管理・通常業務への支援等）について、相手の意に沿う支援を実施することで、現地職員との人間関係を構築し、保健衛生行政の復興に寄与している。

○復興するための現地の力をより強くするための方法として、他の行政への支援要請は必要であると思われるが、被災後、時間が経過する中においては、地域にある力（潜在看護力・潜在福祉力、民生委員・行政委員の力、民間関係機関等）の有効活用を再考する必要があると思われる。

（活動環境に関すること）

○被災地支援に派遣される職員には相当な負担がかかる。被災地において保健師活動を展開する中で、時として避難所等に派遣職員を常駐させる場合があるが、東京都は支援地域に近い所に寝食を確保して、派遣された職員が十分に被災地支援をできるような環境づくりを心がけている。支援に赴く職員自身が、心理的にも身体的にも被災しないような体制づくりをすることは重要なことである。

○今回の被災地は、広範囲で過去に経験のないダメージを受けている。被災地支援のために職員を派遣する場合、活動中の安全を配慮した事前の十分な説明が必要と思われる。そのためには、派遣元が現地情報をタイムリーに把握しておくことが重要である。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：①4月下旬から6月初旬の間
②6月中旬から現在

(課題)

①東北3県において宮城県は被害が甚大で、その中でも石巻市は特に深刻な被災地となった。行政組織も混迷を極め他自治体からの多くの支援チームを掌握しきれていなかった。また、活動内容の報告があったとしても纏められない状況が見受けられた。被災前の元々の市の状況が被災後も大きく影を落とし、他県からの支援チームをどのように活用するのかを石巻市自体で明らかにできていない現状があった。

②被災後3ヶ月を過ぎた現在でも、生活の目処が立たない住民は多く存在している。避難所の統合・整理や仮設住宅への入居なども、住民側の事情や地域のコミュニティーの関係等で思うように進んでいない様子である。石巻だけではないのだろうが、津波のための瓦礫の撤去などが進まないことと天候の関係で環境衛生的に非常に大きな課題が出てきており、石巻市が一枚岩になって復興に向かっていくことが課題と思われる。

6 被災地の中長期的な課題

○支援する側から見ると、過去にまったく経験したことのない大きな被害への支援活動である。復興までは長期戦になることは間違いなく、継続した支援が求められ続けられるだろうと容易に予測できる。しかし、現地の課題として、保健衛生行政・事業についての「線引き」「限界の見極め」「そぎ落とし」を明確にする必要があると思われる。そこを明らかにし、被災した現地の保健衛生がどうあれば「良し」とするのかを決めておくことが必要だと思われる。限界設定をしない限り、いつまでも支援を求め続けることになってしまうことになるだろうし、支援を求められた側が応えきれなくなる可能性が大きくなる。その見極めを行うことが大きな課題であると思われる。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

○今般の被害はあまりにも大きく、過去に経験のないことでもあり、冷静な支援を提供することができたのだろうかという疑問に思う点がある。今回の様な場合には、国がイニシアチブをとり、いち早くパートナー制を決定するくらいの対応を取って欲しかった。俯瞰する機関が見当たらなかった。パートナー制は事前に決めておかないとうまく回らないものなのかもしれないが、今回の様な場合は、ある程度の被害が明らかになった時点で、国または、それに准ずる組織が、パートナー制を調整する必要があると思われる。

回答自治体名：東京都（医療政策部）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：東京都（医療政策部）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間：平成23年3月11日から6月30日まで（112日間）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）※現時点での整理
 - 現地（被災地）の行政や医師会を含めた医療ニーズの把握とそれに適切に対応するための人員（医療救護班におけるリーダー）の確保
 - 医療救護班の意思統一（情報共有化・課題と解決策の検討）のためのミーティングの実施
 - （活動環境に関すること）※現時点での整理
 - 寒冷や酷暑など被災地での過酷な環境においても、自己完結型の活動が可能な装備（移動手段、食料、燃料、資器材）

※「今後工夫が必要な点」については、本年11月に策定予定である「防火対応指針」等で検討する
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：
 - （課題）
 - 震災の被害が広範囲でその実態を地元（行政、医師会等）が把握しきれず、どこに支援を行えばよいのか詳細が不明であった。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 被災地の抱える本来的な課題（高齢化、地域の診療機能が脆弱）と医療救護との住み分けが困難 → 人員（マンパワー：医師・看護師）の長期的な派遣（支援）
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 被災地の自立を促すためには、被災規模に応じた支援を行うことが重要
 - 特定の被災自治体を丸抱えで支援することは、包括的な支援ができるなどのメリットもあるが、撤退・撤収時期が長期化し、結果的に被災地の医療面での復興を遅らせることに繋がる可能性がある。

回答自治体名：東京都（高齢社会対策部）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：東京都（高齢社会対策部）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間：平成 23 年 4 月 10 日から継続中
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

派遣初回に、管理職（事務職）を派遣し、現地の情報収集及び支援調整を行った。
派遣職員から現地の最新情報を入手し、円滑な引継ぎにつなげた。

（活動環境に関すること）

夏に向かい、蠅の大量発生など衛生面が課題

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：4 月

（課題）

福祉避難所間の環境、支援物資等の格差

- 6 被災地の中長期的な課題

福祉避難所から仮設住宅への円滑な移行

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：東京都（健康安全部環境衛生課）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：東京都（健康安全部環境衛生課）

2 最も多くの支援を行った地域名：福島県

3 支援した期間：4日間（7月中に11日間予定）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）＜福島原発警戒区域内での動物保護活動＞

- ・ 支援活動内容をあらかじめ限定せずに、被災自治体のニーズにあわせて対応することが必要。
- ・ 活動のスキームについて、現状にあわせた検討が必要。
- ・ 効率的な支援活動のために、他自治体との協働や次陣の派遣隊への引継ぎも含め、国（環境省）が長期計画を提示することが必要。

（活動環境に関すること）

- ・ 原発から半径 20km 圏内に設定された警戒区域内での活動については、職員の労務管理等、十分な検討が必要。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年5月21日から24日まで
（7月8日から18日まで予定）

（課題）

- ・ 警戒区域への住民の立入状況にあわせた、効率的な作業計画の検討。
- ・ 放浪動物の捕獲対策。

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 長期計画に基づく他自治体からの応援体制の整備。
- ・ 危害防止の観点からの放浪動物対策。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 福島県警戒区域における動物保護活動に係る支援については、放射線管理等、職員の労務管理の課題もあり、長期的派遣について一自治体のみでの対応は困難と考える。⇒国（環境省）による長期計画に基づく他自治体からの応援体制の整備が重要。

回答自治体名：東京都（健康安全部薬務課）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：東京都（健康安全部薬務課）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県陸前高田市
- 3 支援した期間：平成23年3月29日～平成23年6月30日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- 派遣チームが現地の状況に応じて活動内容を決定することにより、ニーズに即した支援ができた。
- 支援先での医療支援活動の全体像について情報が欲しかったが、全くわからなかった。被災地自治体の負担にはなるが、ある程度落ち着いていた団体では、県レベルで、支援都道府県等への情報提供を望む。

（活動環境に関すること）

- 宿泊地から活動場所まで距離があり、日々の移動に時間を要したが、食事・入浴に不自由しなかったため、疲弊せずに支援ができた。
- 自己完結型の支援が望ましいが、物流が回復している状態では、支援に必要な医療物資は被災地で入手できた方が効率的。要請元自治体等で手配調整できるように、事前準備が必要。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年3月29日～平成23年6月30日

（課題）：○ 支援活動用医療物資の現地調達（～4月10日頃）

物流自体は回復していたが、支援救護班の入手経路がなかった。

○被災地内地域情報の不足

避難場所の運営状況、仮設住宅の建設状況、道路状況について情報が入手できず、巡回診療（お薬相談）に苦勞した。

- 6 被災地の中長期的な課題

- 被災による医療専門職の不足
今後の地域医療を維持するため、被災地に長期間（年単位）定着する医療専門職が必要。
- 医療機関・薬局などの再建
金銭的な支援が必要と考えられる。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：東京都（病院経営本部）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：東京都（病院経営本部）

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市

3 支援した期間：3月14日～

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ 震災前に受講した災害研修が非常に役に立った。

（活動環境に関すること）

- ・ トイレや手洗いなど、衛生状態が悪化していた。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月20日～23日

（課題）

- ・ 派遣期間が短く、結果実働時間が短い。
- ・ 薬剤等の申し送りシステムの構築が必要。
- ・ 胃腸炎や不眠などの症状が多い。

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 中長期的に被災者へのメンタルケアが必要。
- ・ 被災地の県・市町村職員へのメンタルケアも重要。
- ・ 災害医療ロジステックスの構築。
- ・ 現地薬剤師の不足。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 同一の自治体が支援することで、被災地の状況や課題等を継続的に認識できるため、有効的な支援ができる。

回答自治体名：神奈川県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 神奈川県
- 2 最も多くの支援を行った地域名： 岩手県大槌町
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 23 日～6 月 22 日（支援継続中）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - （うまくいった点）
 - 各避難所への計画的・定期的な巡回（心のケアチーム、保健師チーム）
 - 社会福祉施設職員等に対するメンタルヘルスケア巡回相談（心のケアチーム）
 - （今後工夫が必要な点）
 - 支援縮小への対応、仮設住宅等の在宅の要援護者の孤立防止、健康管理策
 - （活動環境に関すること）
 - （今後工夫が必要な点）
 - 気温の上昇に伴う食中毒や感染症等衛生面への配慮、避難住民及び支援者の熱中症対策
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：平成 23 年 3 月下旬
 - （課題）○避難者の滞在者、要支援者の把握（名簿の整備）
 - 避難所間での支援体制（医療等）の不均衡
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 支援チーム派遣数の減少により担当する避難所が多くなり、また仮設住宅への入居等により活動が拡大されるため、従来の避難所での健康相談中心から在宅要支援者への家庭訪問中心への転換など、業務体制の見直しが必要。
 - 炊き出しや食物配給について、室内保存が中心のため、食中毒について注意喚起が必要。また、気温が上昇しているため、避難所での熱中症予防対策が必要。
 - 高齢者は、避難所生活の長期化に伴い、転倒や履物の着脱の際に機能低下を感じる等の訴えが出ている。仮設住宅等への入居後、こうした要支援者の仮設住宅移動後の対応の要否、支援内容等のリスト作成が必要
 - 今後さらに支援の縮小が予想されるため、避難住民が自身の健康管理等「生活の自立」ができるような支援の展開が必要。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 継続的効果的な被災地支援を展開するために、情報の共有化や 1～2 週間程度で入れ替わる支援チームの引継ぎの面では有効な方法であると思われる。
 - 一方で、パートナーとなる自治体とのマッチングや、支援する側の自治体に過度な負担がかからないような体制づくりなどについて、政府や関係機関による調整機能が必要不可欠である。

回答自治体名：横浜市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：横浜市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県相馬市
- 3 支援した期間：平成 23 年 5 月 23 日～6 月 30 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - (活動内容に関すること)
 - ・支援全体的なコントロールは、現地の福島県立医科大と相双保健福祉事務所が行う事で、外部からの支援の方向性や内容に対して、明確に指示が出すことができていた。
 - (活動環境に関すること)
 - 避難所の巡回、病院の外来支援を行ったが、状況が随時変化をしている中では、柔軟な対応が求められる。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - (支援時期)：発災後 73 日目
 - (課題)被災直後より状況が変化、ニーズも変化している。仮設住宅に移行する時期であり、家庭訪問などから健康状況を把握し、医療につなげるルートを確立できてない。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 引き上げの時期も含めて、支援の到達点を明確にできてない。
 - プライマリーケアを行う医療職（医師、看護職など）が不足している。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 市町村そのものが機能しない場合、長期的に支援することが必要になる。時として、現地市町村の職員としての役割を担うことも求められることもある。また、これまで医療チーム、保健師チームを異なった被災地に派遣してきたが、一ヶ所に集中させれば、より効率的、効果的支援をすることが可能であると考えます。

回答自治体名：横浜市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：横浜市

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市

3 支援した期間：3月17日～6月30日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

行政主導で医療チームの編成を行い、16もの市内医療機関の協力を得た上でメンバーの派遣を行ったこと。

(活動環境に関すること)

多数の医療チームが参加していたが、行政が関与しているチームが少なかったために、中・長期的な計画に基づいた医療支援活動を行うことに困難を生じたこと。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：3月17日

(課題)

医療チームが複数入っていたが、統率する人間がいないために医療支援が偏在していた。

6 被災地の中長期的な課題

短期的には医療チームがたくさん入り、元々の医療水準以上の医療資源が充足されることになったが、撤収後医療水準が元に戻り、そのことに対する住民の不満等が顕在化する恐れがある。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

責任を持って支援を行うことができることはメリットであると考えているが、どうしても支援する自治体側の人員や予算等の差により、支援の程度に差が生じることが予想される。そこをいかに平準化できるかが、パートナー制支援の成功の可否を握ると考える。

回答自治体名：横浜市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：横浜市

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県陸前高田市

3 支援した期間：平成 23 年 3 月 14 日～継続中

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

・保健師の他、事務職のサポートを得ながら機動力及び事務処理を含めた対応が可能なチームとして活動が展開をしている。

(活動環境に関すること)

・現地自治体の機能低下を配慮し、派遣前のオリエンテーション、現地での派遣職員の交代及び引継ぎを行い、現地自治体による対応の軽減を心がけている。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：発生から 5 月末

(課題)：今回のような自治体機能が停滞するような大災害の時には、中枢の情報収集、調整・判断・指示を行う自治体機能支援にも専門職も含めた応援を早期に行う仕組みにすべきである。

6 被災地の中長期的な課題

・現地自治体に引き継ぐ要支援者の選定

震災初期は支援側のマンパワーが豊富なため、必要以上の掘り起こしを行っている。今後は、現地自治体に対応可能な範囲の要支援者の絞込みが必要である。

・地域住民や地元の人材を登用した支援体制づくり

派遣職員による地域へのアプローチを展開しているが、現地の社会資源をつなぐ役割をとる人が不足しているため、派遣職員による支援の限界がある。

・県レベルでの派遣調整の重要性

被災地の支援格差、地域による支援の偏りなどの情報を直接現地に赴き把握し、調整・支援の再配分、平準化する役割機能がないと、各支援自治体では、支援先の被災自治体の状況しかわからず、支援の過不足などが判断できない。特に広域にわたる震災への対応では、県レベルで全体を俯瞰し、調整する機能が重要である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

復興に向けた支援には、事業別（医療、消防、水道、保健など）の派遣がバラバラに行われるのではなく、特定の自治体がトータルに支援を行う方が効果的である。

また、発災後、早期に国、県が中心に調整を行い、政令指定都市等規模の大きい自治体を生かし、総合的な復旧支援を担当する被災自治体に提供できるようにすべきではないか。

そのためには、保健分野も含めた国、県の総合調整にも応援職員派遣が必要である。

回答自治体名：川崎市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：川崎市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：会津若松保健福祉事務所管内
- 3 支援した期間：4月18日～現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
被災地自治体職員の健康相談を実施できたことが効果的であった。
 - （活動環境に関すること）
インターネット接続パソコンを現地に持ち込み、報告を迅速に行えた事
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：発災から一週間以内の急性期
 - （課題）被災地の現状把握ができず、また流通事情もあり必要物品の準備・買出しに苦慮した。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 被災地において町と県の情報共有が不十分であり、調整が困難。
 - 短期間ローテーションでの派遣は効率的でない。長期的な支援の方向性が明確でなく、派遣の継続、体制について判断が難しい。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 被災自治体の状況について把握できる、関係職員、住民との関係が構築できる、町の復旧・復興計画に参画できるなど、利点が多くある。しかし一方で通常自治体は、災害等の応援業務は業務量・人員の算定に入れていないため、自治体の規模によっては難しいと考えます。派遣職員の業務をカバーする非常勤職員等の雇用や関係課、部局の平時からの連携のしくみをつくることがまず必要と考えます。

回答自治体名：相模原市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 相模原市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：大船渡市
- 3 支援した期間： 平成 23 年 3 月 14 日～4 月 28 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

- ① 避難所の夜勤を担当。身体の疲労が大きく、体調を崩す職員も多かった。勤務時間や夜勤明けの勤務体制の調整が必要であった。
 - ② 地域ローラー作戦（全戸訪問）は、住基情報に基づいた名簿があればさらに効果的・効率的にできたと思われた。また、訪問後の記録のデータ管理についても事前に検討できるとよかった。
- (活動環境に関すること)

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：被災後、3 日目に現地入り。

(課題)

1 次隊は、被災者や被災地の情報を収集し、派遣内容の計画を立て、後次隊に引き継いでいく役割があるため、保健師以外の職種（情報収集をする担当職員・医師・歯科医師等）を加えた混合チームでの派遣が必要であった。

- 6 被災地の中長期的な課題

①長期的に派遣できる体制・・・長期的な支援が必要な場合には、複数での自治体間での支援チームのローテーション等の仕組みづくり

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

一つの自治体での長期的な支援は困難で、上記の方法が望ましいと思われる。

回答自治体名：新潟県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：新潟県

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市

3 支援した期間：5月30日～9月3日（予定）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

- ・避難所内での活動について裁量権が与えられているが、受入自治体との情報共有の機会が週1回と少ないため、避難所の状況の伝達や受入自治体の方針確認が不十分であった。
- ・現地での活動について、あらかじめ策定していたガイドラインに基づき必要な物品（移動用の公用車、パソコン、プリンター等）を用意していったことから、活動を円滑に進めることができた。

5 被災地の支援当時の課題

避難所の縮小等、避難所運営の方向性について市の考えが示されなかったため、支援活動方針の決定にあたり戸惑いを感じた。

避難所に保健師が24時間常駐している環境が長く続いていたため、避難者が依存的となり、自立に向けた支援を軌道に乗せるまで時間がかかった。

6 被災地の中長期的な課題

避難所の避難者支援活動は派遣自治体の判断に任せているため、その活動は派遣自治体により差がある。

今後の長期的な支援を考えるうえで、市の避難者支援活動と保健活動をコーディネートする人員の配置が必要と思われる。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

急性期における保健師等の派遣については、厚生労働省を中心に支援先の調整が行われるため、調整のルートを統一しないと混乱するおそれがある。

しかし、急性期以降においては、個々の被災自治体の状況に応じて責任を持った避難者支援活動を行う観点からも、ある程度派遣期間を長期化することが望ましく、その手法としてパートナー制による支援は検討の余地がある。

回答自治体名：新潟市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：新潟市

2 最も多くの支援を行った地域名：仙台市，宮城県名取市

3 支援した期間：仙台市 3月14日～3月29日
名取市 3月29日～4月28日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

・避難所における保健活動に際し、被災地保健師と担当避難所についての情報共有や検討はその都度実施し活動できましたが、市全体の状況や課題・支援の方向性についての共有の場としての全体会議等が開催されませんでした。共通認識のもとで、各避難所の状況に応じた支援ができるとより効果的であると考えます。

(派遣調整に関すること)

・厚労省の調整により迅速に派遣対応することができましたが、派遣後の被災地の状況変化に応じた体制等の調整が、被災地と派遣元で柔軟に対応できると効率よく動くことができると思います。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：3月14日～4月28日

(課題) 健康課題：避難所生活の長期化による疲労の蓄積や精神的負担などより、高血圧や心臓病など慢性疾患の悪化，コントロール不良
インフルエンザ，胃腸炎など感染症の発生
食事の偏りなど栄養面の問題，残食の処理から衛生管理面の問題あり

6 被災地の中長期的な課題

避難者の長期化による健康課題への対応と自立に向けた支援，また通常業務の実施により，多大な業務量となることが予測されます。

保健師派遣は，被災当初とは違い，経験と知識を持つ力量のある保健師が長期的に支援できる体制が必要になると考えます。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

長期的に継続して支援できる体制は必要と考えます。併せて，それぞれの被災市町村の力量に応じた支援期間の見極めも必要と思います。

回答自治体名：富山県（保健師派遣）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：富山県（保健師派遣）

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市

3 支援した期間：3月16日～現在継続中

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

<うまくいった点>

医療・介護・リハビリ等との、医療スタッフミーティングの設定、住民代表との連絡等を通じて、避難所における課題等について情報を共有し、連携・調整して対応することができた。

<今後工夫が必要な点>

派遣職員の効果的な活用と調整

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月

（課題）

・全国の各団体から様々なチームが派遣され、当初からの派遣者が現地（避難所）での調整役としての役割を求められ、それに時間を要することが長期間続いた。その後も、課題の集約がされず、また方針が不明確（情報の共有、方向性など）な状況が2ヶ月以上続いた。

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 行政機能のバックアップ
- ・ 派遣職員の調整、効果的な活用
- ・ 避難者のケア（感染症の予防、心のケアなど、在宅避難者も含めたケア）体制、劣悪な避難所の環境
- ・ 生活機能低下予防や健康づくり、コミュニティの再構築への支援

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 支援は効果的であると考えているが、現実的には、調整、スタッフの確保等困難な点がある。

回答自治体名：富山県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：富山県（医療救護班）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石市（平田地区）
- 3 支援した期間：3月17日～5月9日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・本県内の多くの病院の協力により、安定的・継続的な医療支援を行うことができた。
 - （活動環境に関すること）
 - ・被災自治体に負担をかけない救護班派遣体制作りが必要である。（広域被災の場合、国による調整等が必要。）
 - ・医療救護班の現地宿泊場所等の環境整備（ないし良好な環境の宿泊場所の確保）が課題。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：発災後1週間程度の医療救護班派遣当初
 - （課題）
 - ・現地医療ニーズの把握が困難だった。（先行派遣DMA T情報の整理とフィードバックがあればよかった。）
 - ・多くの県から多くの医療救護班が派遣されたが、必ずしも現地対策本部の指揮命令下になく、効率的な資源配分（どのチームがどの避難所で診療を行うかの調整）ができていなかった。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・医療施設の復旧（再築等）及び医師をはじめとする医療従事者の確保
 - ・被災状況を踏まえた医療提供体制のグランドデザイン（従前よりも広域で地域医療を支える仕組みづくり）が必要
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・安定的な支援のために有効と考えられる。
 - ・ただし、実現には、資源有効配分のため、俯瞰的な立場からの調整役が必要と考えられる。（平時に枠組みを固定する方法は、機動性の面から課題が多いものとする。）

回答自治体名：石川県（児童福祉等の派遣）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：石川県（児童福祉等の派遣）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：平成 23 年 4 月 5 日～4 月 8 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ 現地職員は、支援する側も被災者であることが多く、他県からの支援者の必要性を強く感じた。ただし、押し売りのような支援は、現地職員の更なる混乱を生むだけであるため、現地の実態を正確に把握した上で、何が必要かを検討して動く指揮系統が必要。

（活動環境に関すること）

- ・ 被災直後は、被災地の活動環境は劣悪のため、本県から持ちこんだ物品で生活が可能だけの準備をしていったことは良かった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成 23 年 4 月 5 日～4 月 8 日

（課題）

- ・ 被災後間もないこともあり、各避難所の正確な実態把握を取りまとめる機関が一元化されておらず、避難所が重複した「調査」の対応に追われていたとの話を聞いた。調査が重複しないよう、調査結果を取りまとめる機関の統一が必要。また、必要な支援量を適確に把握する体制が必要。（支援物資の偏りなども聞かれた。）

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・ 児童の相談援助活動は長いスパンで見えていく必要があるが、相談を受けた場合、信頼関係がついたところで相談を受ける側が次々と変わらざるを得ない。（長期的に支援する体制が可能かどうかも含め）効率的に引き継げる体制の検討が必要。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 震災の場合、時間経過とともに、支援内容が刻々と変化するため、被災地の地理、環境、課題などを引き継いで、一つの被災自治体を継続的に支援するパートナー制は良い。ただし、一つの自治体が長期的に支援する場合、支援する自治体の体制によっては、支援する側の負担が大きいことも考えられるため、一つの自治体を複数の自治体（小ユニット制）で支援する体制が良いのではないかと。その場合、現地被災県に負担とならないよう、早期に小ユニット間での引き継ぎ体制の確立が必要。

回答自治体名：石川県（健康管理チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：石川県（健康管理チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻地域
- 3 支援した期間：3月14日～8月末（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
過去の被災地支援の経験、資料、リーフレット等が役立った。
 - （活動環境に関すること）
派遣当初から、市町と協力した体制としたことにより、多くの支援者が派遣できた。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：3月15日
 - （課題）寒冷の中、物資、食料なく、避難所の状況も把握されていなかった。簡易トイレなく、避難所に土足で入るなど、衛生面も課題。透析患者の受け入れ、介護者がいないなど。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・派遣地域は、冠水が続いており、夏期にむけて環境衛生に注意が必要
 - ・高齢者も多く、生活習慣病等の管理
 - ・応急仮設住宅への入居はくじ引きとなっており、仮設住宅でのコミュニティーや、見守り体制の構築。
 - ・長期化する避難所生活に対するストレス対策、精神的ケア体制の構築
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 派遣者を通じて現地の状況や課題等が直接把握でき、現地のニーズに応じた適時適切な支援が可能となりやすい。しかし、被害の規模が自治体により大きく異なるため、1対1の支援では難しい場合もあり得る。1対複数または1対1のパートナーをバックアップする体制も必要

回答自治体名：石川県（避難所衛生管理支援チーム）：5チーム

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：石川県（避難所衛生管理支援チーム）：5チーム
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市及び女川町
- 3 支援した期間：平成23年3月25日～4月20日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

ノロウイルス感染症の患者がいる避難所に塩素水を作成させ、二次感染防止にあたらせた。また、トイレを下痢患者と健常者に使用をわけ、二次感染防止に努めた。
賞味期限切れの菓子パンが多数あったが、緊急事態なので食するときは気をつけるよう伝えたが、明確に食しないよう伝えられなかった。

（活動環境に関すること）

自由に動ける公用車（レンタカー）を本県から持ち込んだので、二十数か所ある避難所を比較的迅速に巡回できた。ガソリンの確保が難しいのでガソリントankでガソリンを補給した。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年3月25日～3月31日

（課題）患者数が多い時期に、医薬品の供給に限られたなかで、どのようにして効率よく薬剤管理を行うか。民間の医療機関が再開されるようになってきたとき、無料救護所の役割はどうか。患者の民間への移行をどう進めていくか。

- 6 被災地の中長期的な課題

夏場に向けて、衛生害虫の発生や食中毒・感染症の発生などが危惧される。
入浴施設の確保。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

複数の自治体に関与するよりも支援者間の連携が図りやすく、受入れ側の負担も軽いように思うが、支援する側の自治体の負担が大きくなる。それぞれの自治体の通常システムが大きく異なるなど、ミスマッチがあると双方とも負担になることも考えられる。

回答自治体名：石川県（スクリーニングチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：石川県（スクリーニングチーム）
- 2 最も多くの支援を行った会場：郡山市ビッグパレット
- 3 支援した期間：3月18日～24日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

常設と臨時のスクリーニング会場があったが、臨時のスクリーニング会場はその日の内に複数カ所回るとか、会場も変更されたり慌ただしい状況であった。そのような中でも、スクリーニング医療本部の指示に基づき、また適切な情報のやりとりをうまく行い、混乱なく新たな会場に出向き検査を遂行できた。

一方で、スクリーニングの具体的対応は現場に任されたことで混乱は少なかったように思う。

（活動環境に関すること）

当初宿泊場所の確保が困難であった。

全体の事故状況が分からず、移動時のマスク等防護の必要性がよく分からなかった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月18日～24日

（課題）派遣時点の福島県内各地の細かな放射能値が分からなかった（SPEEDIも）。住民からの質問にもう少し答えられるようにした方がよかったが、それにはもう少し全体状況が分かるとよかった。

- 6 被災地の中長期的な課題

必要性に応じて今後も放射能スクリーニング支援が必要。

住民健康調査の計画的支援が必要。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

パートナー制はよいと思うが、支援自治体の支援者が次からつぎと変わるようではあまり実効ある支援とならない。難しい面もあるが、支援自治体の一部の人は担当として長期に（例えば1～2ヶ月単位でつなぐ）被災自治体の担当に寄添う形で支援できるとさらによい。

回答自治体名：石川県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：石川県（医療救護班）

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市

3 支援した期間：3月19日～7月29日（予定）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・うまくいった点：地元の受入体制が構築（地域を14エリアに分け、長期派遣可能なチームをラインとしてエリアの医療救護活動に責任を持たせていた。また、地元の保健師が巡回診療先を具体的に調整していた。）されており、石川県チームとして長期にわたり派遣できたこと。
- ・今後工夫が必要な点：派遣調整する本県の事務職員の現地滞在、医療救護派遣マニュアル等の作成

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月～7月

（課題）

- ・被災者の医療ニーズに応じたきめ細やかな支援（病状に応じた専門医のコーディネート等）
- ・医療救護班間及び医療救護班と健康管理チーム等他の支援チームとの間の連携

6 被災地の中長期的な課題

もともと医師が少ない地域であり、特に今回の地震で地域の医師が不在となった地域（石巻師雄勝地区、北上地区等）における医療の確保が大きな課題

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

1対1の支援で医療救護班の引き継ぎが容易といったメリットがある一方、医療ニーズの変化に応じた臨機応変な対応が難しいといったデメリットもあると考える。

回答自治体名：石川県（こころのケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：石川県（こころのケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：3月15日～7月末（予定）
- 4 被災地への支援の中で①うまくいった点及び②今後工夫が必要な点
(活動内容に関すること)
①石巻赤十字病院が中心となって、こころのケアチーム全体会議を開催し、他県や大学病院、国立病院チームの担当エリアを決めたこと。
(6/22時点では、本県を含め5チーム※が石巻市で活動)
※ 石川県、東北大学、岐阜大学、国府台病院、日本赤十字病院
(活動環境に関すること)
①こころのケアチームの活動車両として県有車を現地に常駐させたこと（チーム専用の移動手段の確保が重要）
- 5 被災地の支援当時の課題
(支援時期) 支援開始時（3月15日から電気・水道が復旧するまでの間）
(課題) 電話やメールなどの連絡手段の確保（電源を含む）
(課題) 活動拠点の確保（ホテル旅館が営業を中止しており、宿泊場所や食事の確保が初期の課題。4月中旬まで市の保健相談センターを利用することができた。）
- 6 被災地の中長期的な課題
・こころのケアチームとしての継続支援が必要な者（フォローケース）の台帳整理と相談記録の管理（現在、活動拠点がなく、すべての相談記録を携帯しながら、巡回・訪問相談を行っている。）
・現地の人材による支援の実施体制の確立とケース引継（チームが経過観察してきたケースを現地の市役所保健師に報告しているが、乳幼児健診や予防接種など通常業務が再開し多忙。腰痛や血圧などの身体の相談をしながら、悩み（こころの相談）を打ち明ける場合が多い。しかし継続支援を担う現地の人材が確保できない。精神科医療が必要な場合は医療機関が機能しているため問題はない。）
→ 体とこころの相談（来所・訪問）ができる活動拠点の確保。（支援チームが減少し、一つのチームが受け持つエリアが拡大するが、他県や他の病院チームの継続情報が得られない。情報共有やケース引継をスムーズにできるための工夫が必要。共有できる場所が必要。）
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
(メリット)
刻々と変化していく被災地の状況を、応援自治体が把握しやすく、現地の状況に応じた派遣計画や調整ができる。
(デメリット)
人材確保が困難

回答自治体名：福井県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：福井県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県亘理町、気仙沼市
- 3 支援した期間：3月18日～5月13日、4月30日～5月17日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

(うまくいった点)

- ・地元の保健師から得られる情報（患者情報や地域情報）が有益だった。

(工夫が必要な点)

- ・DMAT撤収後に医療支援チームが不足したため、DMATから救護班への引き継ぎがうまくできる派遣体制の検討が必要
- ・各病院の救護班同士の情報共有、カルテや薬剤の統一が必要
- ・介護職員派遣の際には、職員の男女バランスを考慮する必要がある。（女性の要介護者は、女性職員による介護を希望する場合が多い。一方で、要介護者の移動等は力仕事になるため男性職員が必要。）

(活動環境に関すること)

なし

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：上記同様

(課題)

- ・医療ニーズの把握が困難であった。
- ・当県以外から派遣されている救護班や地元の医療についての情報が不足していた。
- ・各団体から派遣された医療支援チームが1つの避難所に混在するなど、機能的に連携できなかった。
- ・派遣者が赴任するための移動コストが高額となったこと。

- 6 被災地の中長期的な課題

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：山梨県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：山梨県（医療救護班）
- 2 最も多くの支援を行った地域名
：福島県（いわき市、郡山市）、宮城県（南三陸町）
- 3 支援した期間：H23. 3. 18～5. 13
※山梨県による医療救護班の派遣期間（地域により期間は異なる）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

本県では3病院を各地域へ派遣（県立中央病院（H23. 3. 18～4. 17）：いわき市、山梨大学医学部附属病院（H23. 3. 18～5. 13）：南三陸町、市立甲府病院（H23. 4. 4～4. 28：郡山市）したが、いわき市は複数の避難所を巡回、その他の2病院は大規模な避難所（コンベンションホールへ数千人規模が避難）に常駐して医療活動を実施した。

いわき市では地元の医師会の主導の下、他県のチームと分担しながら避難所回りを行ったことから、効率的に支援を行うことができ、また、他の2病院に比べて小規模の体制での派遣が可能となった。

しかし、他の2病院は当該避難所の中核チームを任されたことから、長期に渡る大規模での体制による派遣にならざるをえなかったため、派遣元の病院には大きな負担となったところである。

今後の課題として、今回のような大規模かつ広域な被災地に対する救護活動は国が司令塔として地元のニーズを反映した調整を行う必要があり、岩手県、宮城県には支援が広がりながらも、原発事故の影響により福島県には医療関係者が入らない（入りたがらない）、といったアンバランスな状況は二度とあってはならないものとする。

単独の都道府県における災害ならば被災県が支援の受入れを調整しても可能であろうが、今回のような広域に渡る支援を行う場合には、ミスマッチを防ぐためにも、国による調整を行い、派遣する都道府県の希望を挟まない、ほぼ強制的に派遣できる制度づくりが求められる。

（活動環境に関すること）

被災地支援である以上、環境活動の劣悪さはある程度覚悟しているものの、持ち込み物品で解消できるものもあるため、現地の状況については、できるだけ具体的な情報が欲しい。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期) : H23. 3. 18~5. 13

(課題)

本県が派遣した2県(3市町)ともに医療従事者、医療施設の状況には違いはあるものの、支援当時、どこから手をつけていいのか全く分からない状況であった。地元の病院、医師会、保健所が被災し、それら医療救護の司令塔になるべき機関は自前の復旧で手一杯の状況であり、救護システムの構築から始めることとなったものの、支援できる地元機関も互いに牽制し合ったことから、そのシステム(避難所巡回の手順、避難所内の受診システム等)の構築に数日から数週間を要してしまった。

災害時の医療システムは平時に想定してはいても、災害時に活用できる機関、マンパワーに限りがあるため、想定どおりにいかない場合が想定され、地元の疲弊した医療関係者が仕切るには負担が大きすぎる。

よって、被災地の医療機関が中心となって医療救護体制を立ち上げ、他県からの支援部隊はあくまで応援という位置付けではなく、国が被災県以外から大規模な病院、医師会等現地で中核となり得る機関等を選定し、迅速に送り込み、その者に全ての権限を与えて、現場の医療救護を仕切らせる仕組みづくりが必要と考える。

6 被災地の中長期的な課題

医療体制の再構築(医療従事者、施設、病院・診療所の連携システム等全て)

7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

(メリット)

現場における意思決定のスピードが格段に速くなること、同一自治体職員であるため支援の中身にバラツキがなくなること、結果が支援自治体にダイレクトに帰ってくるため、責任をもって支援にあたる(あたらせる)ことができること など

(デメリット)

支援自治体の独断専行となる可能性があること、同一自治体であるため支援の中身をチェックすることがなくなり、最低限の支援に止まる可能性があること、被災地と支援自治体との最適なマッチング(規模、考え方等)の方法の確立など

(結論)

被災県庁、被災市町村が中心となり復旧・復興に向けた青写真を描き、その方向性に沿った支援ができる自治体があればパートナーシップは効果的な方法であることは間違いないが、被災地全てをこの方法で対応できるかは懐疑的と考える。

回答自治体名：山梨県（健康相談班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：山梨県（健康相談班）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県名取市、福島県福島市
- 3 支援した期間：H23, 3, 25～6, 14
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

○うまくいった点

（活動内容に関すること）

- ・避難所で感染症対策を行い、拡大防止に成果があった。
- ・医療中断者を医療機関受診につなげた。
- ・高血圧や糖尿病の患者の食事の工夫を行った。
- ・外部から訪れる様々な巡回医療チームについて、被災者への周知や受診の調整を行い、効果的な活用ができた。
- ・避難所の住民自治組織と協力したことで、手荒いやマスクの着用などの感染症予防や、運動不足解消の体操やウォーキングなどが効果的に行えた。

（活動環境に関すること）

- ・市町会、町村会の協力で、県と市町村の混成チームが編成し、派遣人員が確保できた。

○今後工夫が必要な点

- ・避難所の食事の改善。
- ・巡回医療チームが重なることもあり、計画的な配置が必要。
- ・被災当初、ペットが避難所に同居しておりトラブルになった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：H23, 3, 25～6, 14

（課題）・災害発生から派遣までに2週間かかった。できるだけ、早期に派遣できるようなシステムが必要。

- 6 被災地の中長期的な課題

・災害当初は、避難所を中心に支援していたが、復旧状況の差もあり、被災市町村に必要な支援内容を把握することが困難になっている。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・複数の支援チームを派遣する場合、支援自治体が同じであれば、現地までの車の手配や人員配置等に無駄がない。
- ・被災地の状況を把握し、支援が偏らないようパートナー自治体を調整する機関が必要。

回答自治体名：山梨県（心のケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：山梨県（心のケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間：3月25日～
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・患者の状況等を記載した「つなぎ票」により、後のチームに必要事項を円滑に引き継ぐことができた。
 - ・面接技術など、支援者の力量をある程度一定に保つ工夫が必要。
 - （活動環境に関すること）
 - ・活動地周辺に宿泊場所が確保できず、宿舎との往復に時間を要したことから、活動場所の近くに宿舎を確保する必要がある。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：4月2日～5月28日
 - （課題）
 - ・被災地の保健所や市町村担当者の疲弊
 - ・被災地の行政や医療機関のスタッフのメンタルヘルス対策
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・自殺予防対策
 - ・通常医療体制へのスムーズな移行
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・支援の継続性や被災地自治体の負担軽減に役立つが、長期的に支援できる自治体が限られる可能性がある。

回答自治体名：長野県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：長野県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：3/16～7/31（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

・県がバスを借り上げて医療救護チームを石巻市へ派遣したことにより、疲労による交通事故のリスクを低減できた。また、派遣当初は宿泊場所もなかったことから乗用車より比較的広いバス内で寝泊りできた。

・県の公用車を現地に置きっぱなしにして医療救護チームが使用したことから、現地で交通手段に困ることはなかった。派遣当初はガソリンの現地調達ができないと考え、当県から持っていった。

・石巻赤十字病院が石巻市内の担当エリアを割り振っていたが、臨機応変かつ的確に指示を出していたので、医療救護活動に大きな混乱はなく、支障となるものはなかった。

（活動環境に関すること）

・被災している施設を避難所に使用しているところがあり、トイレ等の環境が劣悪な部分があった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：5月20日

（課題）

・回復期においては、行政に対するニーズ（水道水、網戸等）が医療救護チームに多く寄せられ、避難所にいる市の職員に伝えてもなかなか改善が図られず、対応に苦慮しているチームがあった。

- 6 被災地の中長期的な課題

・心のケア

・長引く避難生活の衛生状態への対応

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

・支援する内容にもよるが、支援する側は通常業務を行いながら支援活動をすることになるので、一つの被災自治体を複数の自治体が長期的に支援する方が現実的なのではないか。

回答自治体名：岐阜県（保健師派遣チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：岐阜県（保健師派遣チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県陸前高田市
- 3 支援した期間：平成23年3月15日～現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

○うまくいった点

- ・ 支援者が所属や職種がわかる目立つ色のベストを着用したことで、大勢の避難者の中でも保健師の所在がわかり、避難者や他の支援スタッフから相談されやすかった。
- ・ 被災後初期は、避難所内での集団感染予防が必要であるが、換気、手指消毒等の健康教育により住民の意識付けを行うことができた。
- ・ 派遣元担当課から派遣者に対し、随時、被災地の活動状況等を情報提供することにより、派遣者の不安の軽減や活動のイメージ付けができ、現地での活動のしやすさにつながった。また、事前情報により、その時の課題に応じた健康教育資料を準備していくことができ、全戸訪問や治療中断者への訪問に有効活用することができた。
- ・ 1日の活動内容をチームで計画を立て、訪問対象者に関する情報や道順等を事前に準備して活動を行ったため、本部が閉鎖となる日曜日も含め、効率よく活動が行えた。

（活動環境に関すること）

○うまくいった点

- ・ 県保健師、市町村保健師、事務職員がチームを組み、県保健師をリーダーとして位置づけ支援活動を行ったことから、それぞれが専門性を活かし役割分担をして活動ができた。

○今後工夫が必要な点

- ・ 活動の引継ぎ方法の工夫が必要である。
→次班への引継ぎは紙面上だけでなく、チームの1人が残り現場で1日活動をともにして行えると、スムーズに活動を引き継ぐことができる。また、活動内容や記録も、次班等に支援をつなげるという意識をもち、まとめていく必要がある。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：被災5日目～2週間

(課題)・薬が流され服薬中断者の増加

- ・断水による節水から感染症予防が不徹底
- ・乳幼児の問題行動の出現とそのトラブル
- ・便秘、不眠
- ・小規模避難所への介入の遅れ
- ・支援チーム間の情報共有ができていない

(支援時期)：被災後3週目頃～2ヶ月

(課題)・治療中断、薬入手困難による慢性疾患の悪化

- ・心のケアの必要性（不眠、不安、喪失感、無気力感等の訴え増加）
- ・職員の心のケア
- ・高齢者のADLの低下
- ・栄養の偏り

(支援時期)：被災後2ヶ月目以降

(課題)・熱中症、脱水予防

- ・食中毒予防
- ・衛生状態の悪化（ハエ、蚊、悪臭など）
- ・仮設住宅入居後のコミュニティづくり

6 被災地の中長期的な課題

- ・仮設住宅入居者に対し、人間関係の希薄さによる不安、孤独、閉じこもりなどを予防するため、コミュニティづくりが必要である。
- ・生活再建への不安やPTSDへの対応のため、職員も含めて心のケアが必要である。
- ・震災孤児など、子どもへのサポート体制の整備も必要になってくる。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・同じ自治体を長期に支援することで、地域の特性や住民性がわかり、また被災地住民との信頼関係も築きやすく、責任を持った自己完結型支援がやりやすくなるため、パートナー制による支援は有効な支援方法だと思われる。

回答自治体名：静岡県（公衆衛生チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡県（公衆衛生チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県山田町
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 15 日から 4 月 15 日（宮城県仙台市）
平成 23 年 4 月 14 日から 7 月 1 日（岩手県山田町）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・ 仙台市ではミーティング会場にすべての情報・物品が集約されており、支援者が自ら判断し、必要な情報・物品を調達し避難所支援にあたることができた。
 - （活動環境に関すること）
 - ・ 自治体の負担軽減のため車両や生活用品を派遣元で準備することで活動がスムーズとなる。
 - ・ 1 チームあたりの活動期間は派遣元と派遣先の双方の負担と効果的な活動のため検討が必要である。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：平成 23 年 4 月 14 日から 7 月 1 日（岩手県山田町）
 - （課題） 県保健所、町役場のそれぞれでミーティングを実施し活動報告を提出するということがあり、連携と調整の必要性を感じた。（その後改善された）
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・ 被災自治体の保健活動の機能が被災により縮小している場合には、単に避難所や家庭訪問の支援だけでなく、町保健行政自体への中長期的支援が必要となってくる。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・ 中長期的に町行政への支援を行う場合には、信頼関係が築きやすく町役場の住民の受入れがスムーズだと思われる。

回答自治体名：静岡県（一般医療）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：静岡県（一般医療）

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県宮古市

3 支援した期間：平成 23 年 3 月 21 日から 5 月 29 日（現地活動終了日）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ 岩手県との調整により、本県の病院が先行して医療救護活動を行っていた地域を受け持ち、県医療救護チームを継続的に派遣したことで、地元関係機関との調整、連携などがスムーズに行えた。
- ・ 宮古市内には複数の都道府県の支援が入っていたが、地元保健所がコーディネートしており、派遣チームはその指揮下で活動できた。

（活動環境に関すること）

- ・ 避難所（小学校）を診療及び生活の拠点として、効率的な活動ができた。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成 23 年 3 月 21 日から

（課題）

- ・ 災害対策本部（県、市町村）への被災地域の情報伝達

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 従前から決して十分な医療提供体制とは言えない地域に行われた、長期間かつ十分な医療支援の撤収後の地元医療体制の確保。（地元医療へのスムーズな引継ぎ）

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 多種の支援活動が連携して実施可能となるため、有効と考える。

回答自治体名：静岡県（児童福祉関係職員派遣）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡県（児童福祉関係職員派遣）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県(東部児童相談所気仙沼支所)へ1回
- 3 支援した期間：平成23年5月1日～7日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - (活動内容に関すること)
 - ・避難所を巡回して、親族里親のチラシをタイムリーに配布したことは良かった。
 - ・様々なボランティア団体が子どもにお菓子を配るので、子どもが当然のように受け取り、間食が増えると保護者が不満を漏らしていた。
 - (活動環境に関すること)
 - ・現場が要望したのではなく、国の打診に県庁が応えた形での派遣だったので、応援のニーズが薄く、却って受け入れ準備の仕事を増やしてしまっているようで心苦しかった。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - (支援時期)：5月の連休中で、地域によっては学校再開した直後。
 - (課題)
 - ・震災孤児・要保護児童の把握
 - ・避難所にいる子どもの様子の把握
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・被災の精神的ダメージが残遺した子の心身の不調のケア
 - ・1年後等に現れる”記念日反応”のケア
 - ・将来の防災に結びつく、被災体験の語り継ぎ
 - ・仮設住宅退去時期到来までに雇用を確保
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・派遣される人が交代しても、“〇〇県のチーム”として現地に認識され、支援に継続性を持たせやすかった。
 - ・同県人の気安さから、他の職種のチームとの連携が組みやすかった。

回答自治体名：静岡県（児童福祉関係職員派遣）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡県（児童福祉関係職員派遣）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県(中央児童相談所)へ1回
- 3 支援した期間：平成23年4月10日～16日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

- ・ 事前に本庁からレクチャーを受けたことで具体的なイメージを持って職務に当たることができた。また、事後研修が自身のストレスケアに役立った。
- ・ ストレス反応に関するリーフレットはもちろんのこと、ハンドタオル、折り紙等の配布物を持参したことが、避難所、学校等を訪問した際の子どもや保護者とのコミュニケーションに役立った。

(活動環境に関すること)

- ・ 派遣先の指揮系統に入り、派遣先の職員とともに活動したことにより、スムーズに活動できた。

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：平成23年4月10日～16日

(課題)

(1) 避難所について

- ア 福島県内は、地震と原発事故の複合的な被害があり、浜通り地域の住民が地震被害の少なかった中通り地域、会津地域に避難している状況である。
- イ 大きな津波被害があった浜通り地域では、体育館等での集団避難が続いており、中通り地域、会津地域では原発事故からの避難者が体育館等での集団避難を経て、温泉旅館等で家族単位で生活する二次避難に移行しつつある。
- ウ 重症心身障害児が体育館で避難生活を継続していたが、他の避難者から好意的な援助を受けていた。一方で、軽度発達障害児に対する理解は低く、保護者が苦慮している実態があった。
- エ 避難者の状況により、必要な支援に大きな差があり、画一的な支援ではニーズを満たすことはできない。

(2) 小中学校について

- ア 地震被害の少なかった地域では、新学期が始まっており、避難児童も避難所のある学区の小中学校に通学を開始している。
- イ 学校により対応はまちまちであり、事前準備ができていない学校では大きな混乱はなく、事前準備ができていなかった学校では特別支援が必要な児童が普通学級で混乱をきたしている等、市町村教育委員会のリーダーシップの差が子どもたちの利益、不利益に大きな影響を与えていた。

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 福島県においては、原子力発電所事故の収束なくしては、復興のスタートラインにはつけない。
- ・ 児童相談所業務に関しては、震災孤児への対応、県外へ避難している児童福祉施設への対応、ストレス反応を起こしている子どもの心のケア、長期化している避難生活へのストレス等から発生が予測される児童虐待への対応等が求められる。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 発災当初は大量のマンパワーが必要となるため、短期間に大勢の人間が支援を行うことが必要であったが、本格的に復興に向かう時期には、地域事情を知る者が計画から実行まで長期的に支援する必要がある。そのため、パートナー制は有効であると考えている。

回答自治体名：静岡県（手話通訳者）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡県（手話通訳者）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県名取市
- 3 支援した期間：平成 23 年 6 月 3 日～17 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

○うまくいった点

（活動内容に関すること）

- ・行政職員が同行することにより、現地市役所や警察署等行政機関との折衝において通訳者の負担を減らすことができました。
- ・急性期が終わっていて、情報の把握も進んでいたことから、人的、時間的に比較的余裕を持って、きめ細かな、より実行的な対応ができた。

（活動環境に関すること）

- ・派遣における現地等との調整を行った東日本大震災聴覚障害者救援中央本部が、宿泊場所の手配等を代行してくれたため、派遣元の負担は軽減された。
- ・複数の機関が、短期間の入れ替わりで支援している状況ではあったが、支援記録がある程度整理（データ化）蓄積されており、比較的速やかに支援の計画、行動を開始することができた。その意味で記録の整理、蓄積が有効に機能したと感じた。

●今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・支援記録の整理により支援の円滑化を図っているものの、短期間（6日間）で次の者へ引継ぎとなるため、より長期的な視点に立った継続的な支援がしにくかった。

（活動環境に関すること）

- ・派遣先の市役所担当者はあまり支援には関わらず、手話通訳者に任せきりであったため、関係団体との情報の共有や連携を含め、その後の福祉施策にどの程度つなげていけるか不透明。
- ・外から入って、特にどことも連携せず、誰の指示も受けずに、独立で遊軍的に活動したイメージがあった。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：発災3ヵ月後(23.6.3~6.17)

(課題)

- ・継続的な手話通訳者の派遣により罹災証明等の被災後の諸手続については概ね順調に進んでいたが、手話通訳者は、単なる通訳だけでなく聴覚障害者の心のケアなども担うため、1週間程度で交代することにより聴覚障害者との信頼関係を十分に築くことはできなかった。
- ・この時期には、支援の内容も、住宅被害の人の仮設住宅への移転もおおむね済んで避難所暮らしの人はほとんどいない状態。食料等の物資の支給もほぼ終わりとのことであった。
- ・このフェーズに来て、PTSDのような精神面の問題や、住宅の改修、自動車の購入や、ローンの支払いなどの金銭的な問題。職探しとか、親をなくした子供の就学などの人生設計に関わる問題など、中長期的な問題に眼が向くようになってきている。
- ・行政(市)としても、目の状況への対処から、復興のビジョンの提示、予算の使い道の優先順位づけや、利害調整などより政治的判断が必要になる局面に移行しつつあるようであった。国の予算や復興に関するスキームについての情報の必要性を感じているようであった。

6 被災地の中長期的な課題

- ・支援に入った名取市には設置手話通訳者(市役所に常駐)が設置されていなかったが、被災後の支援にあたることで聴覚障害者にもその必要性が再認識された。今後は、市として手話通訳者の設置をどのように行うかが課題と思われる。
- ・特に障害者支援という点では、住宅被害等により仮設住宅等への転居を余儀なくされ、住所も電話番号も変わってしまうことで、長い間かけて築いてきた地域のコミュニティーや、当事者同士のネットワークのようなものが断絶した状況がある。
- ・仮設住宅にあっても隣近所の人に障害特性を理解してもらい、コミュニティーに参画していくこと。当事者同士のネットワーク、支援者とのネットワークを修復すること。これが、障害者が本当の意味で生活を取り戻すために必要であると思われる。
- ・これらの再構築にあたって、当事者、ろうあ者協会などが一様に口にしていたのが、行政の把握している情報がもらえれば、ということであった。地元市役所の方も苦慮をしていたが、これには個人情報保護という高い壁がある。行政がどのように関わっていけるかという点も課題であると感じた。

7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

- ・中国(四川大地震)では有効に機能(支援競争のようになって驚異的なスピードで復興)したようであるが、同じような状況が日本で起きると思えない。長期的に付き合うことで、より深い支援ができるということはあるかもしれない。

回答自治体名：静岡県（精神医療チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡県（精神医療チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県宮古市
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 24 日から現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・被災者の多くが避難所生活となったため、避難所を中心に巡回することにより効率的に回診ができた。
 - （活動環境に関すること）
 - ・地元保健師が地域の被災状況、避難地状況等を十分把握しており、巡回、回診への同行により、スムーズに支援を行うことができた。
 - ・応援班設置病院を始め、多くの病院の協力により、継続的な派遣支援が可能となった。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：平成 23 年 3 月 24 日から現在
 - （課題）
 - ・現地の医療状況や支援活動に必要な情報の把握。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・精神科医療チームが中心となる病院があれば中長期派遣も可能であるが、そのような病院がない場合、国や関係機関団体、他県等から医師、看護師等の長期派遣について検討が必要。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・特になし。

回答自治体名：静岡市（こころのケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡市（こころのケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県宮古市
- 3 支援した期間：平成23年4月2日(土)～平成23年4月6日(水)
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・活動場所の基点となるベースキャンプが市内の小学だったこともあり、避難所の支援以外にも、児童・保護者・教員等への学校支援ができたことは有意義だった。
- ・避難所等の回診について、限られた時間の中で避難所全体の状況を見ようとすると被災者個人の本音を聞き出せないため、バランスをとった診療の調整が困難だった。

（活動環境に関すること）

- ・自衛隊の活動により道路(仮設含む)が整備されているため、拠点から拠点への移動はスムーズに行えたが、給油する時間・場所が限定されるため、行動計画の立案に苦慮した。
- ・避難所が縮小化(閉鎖・統合)される時期であり、支援の方法についての見直しが必要だったが、今後の方針がなかなか決定されなかった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年4月2日(土)～平成23年4月6日(水)

（課題）

- ・被災から約3週間が経過し、避難所から自宅に戻る人や仮設住宅へ入居する人が増加し、就職活動を始める時期であり、今後の生活への不安を抱えた受診者が多数を占めたため、総合的な行政相談窓口と連携した対応が求められた。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・市職員や教師等の復興事務に従事する職員も被災者であるため、定期的なこころのケアといったフォローが重要だと考える。
- ・避難所から自宅への帰宅、仮設住宅への入居した場合に、継続的な支援計画の実施を行うための方法が確立されていない。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・同一自治体の組み合わせによる支援は、円滑な引継・情報共有をおこなうことができ、効率的な活動を行うことができるが、被災自治体のニーズを支援自治体のみで対応することが困難であることも想定されるため、双方の意見調整を行うコーディネーターは必要だと考える。

回答自治体名：静岡市（保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡市（保健師チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 15 日（火）～平成 23 年 6 月 29 日（水）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

・市名入りのビブスを着用することで被災者や他市町の派遣スタッフから声をかけてもらいやすくなり、活動しやすくなった。

（活動環境に関すること）

・派遣職員の不安を解消するために、派遣前には、事前に被災地の現況を報告し、情報共有にこころがけるとともに、派遣後は派遣職員と綿密な情報交換に努めた。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月中旬

（課題）明らかなマンパワー不足であり、物資の不足やライフラインが確保されていなかったため、様々な制約を受けながらも、いかに有効な医療支援ができるかが課題であった。

（支援時期）：3月下旬～4月上旬

（課題）人的支援及び物資が集中する中でのコーディネートが困難であった一方で、支援が行き届かない避難所もあり、避難所間での格差が顕著に表れたため、情報共有が課題となった。

（支援時期）：4月下旬

（課題）人的支援助が集中する中で、役割分担をして対応したが、かえって支援方法が分断されてしまったため、一貫性を持った支援が課題となった。

- 6 被災地の中長期的な課題

・支援すべき範囲が明確でないため、被災者の依存につながるケースが発生し、対応に苦慮することがあった。

・現場対応に追われたために、被災地の土地柄や風土、組織等を理解したうえでの支援が出来なかった。

・被災地での取り決め事項（引き継ぎ事項）が人の入替により変更されてしまい、周知徹底が困難であった。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

・同一自治体の組み合わせによる支援は、円滑な引継・情報共有をおこなうことができ、効率的な活動を行うことができるが、被災自治体のニーズを支援自治体のみで対応することが困難であることも想定されるため、双方の意見調整を行うコーディネーターは必要だと考える。

回答自治体名：静岡県浜松市（児童相談所）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：静岡県浜松市（児童相談所）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県亘理町、山元町
- 3 支援した期間：6日間
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・調査を必要とする各避難地の責任者を現地職員が同行し紹介してくれたので、支援がうまくいった。
 - ・被災地自治体の支援ニーズを明確にしてから支援チームを入れる工夫が必要だった。
 - （活動環境に関すること）
 - ・自前の公用車で支援に行き、効率的な支援活動ができた。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：4月上旬
 - （課題）
 - ・要保護児童及び心理的ケアの必要な児童の把握が必要であった。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・被災児童及びその保護者の心理的ケア
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 -

回答自治体名：浜松市（保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 浜松市（保健師チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名： 陸前高田市
- 3 支援した期間： 3月16日～6月29日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ 陸前高田市の一部地域を継続的に担当していることから、地域のリーダーである代表者や民生委員と連携した継続訪問ができた。

（活動環境に関すること）

- ・ 初期は、直接避難所等で住民のニーズを聞き取り、市の対策本部へつなぐことで、必要物資の配布ができた。（仮設トイレの設置他）

（今後工夫が必要な点）

- ・ 現地での1チームの活動期間が4～5日のため、地域の現状がわかり始めたところで退散となってしまう。派遣職員の健康面も考慮し、10日間ぐらいの派遣期間である方が地域の課題や対策も見つけやすいのではないか。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：

初期：ライフラインが遮断された中で、①被災された方々の健康をいかに守っていくか。②派遣職員の健康維持（寝食の確保）

中期：①避難所生活が長くなったことに関する心身のケアへの対応

- ②障害のある方をはじめとする要支援者への支援（福祉サービス）利用が困難で本人、家族共に疲れが大きくなった。

長期：①母子保健、介護保険など通常事業の展開

- ②被災地域が広いため、職員の宿所と現地との往復に時間がかかることから、保健師のみの派遣では対応が難しく、事務職員とチームを組んだ対応が必要である。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・ 生活支援全般が必要となることから、通常業務の早期展開が重要である。地域全体の連携が不可欠と考える。（医療・保健・福祉など）

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 派遣する自治体の責任が明確になり、長期的に支援する方が課題の抽出や計画策定が行いやすい。
- ・ 被災された自治体との定期的な意見交換や調整ができ、その地域の実情に沿った支援であることが重要と考える。
- ・ パートナー制を行うのであれば、平常時に体制を整えておくことが必要である。今回のように、震災直後に様々な自治体が入ってしまうと、指揮系統がはっきりせず、被災地の全体像が見えないままであった。

回答自治体名：愛知県(保健師チーム)

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：愛知県(保健師チーム)
- 2 地域名：岩手県上閉伊郡大槌町（大槌高校及び安渡地域）
- 3 支援期間：平成 23 年 3 月 17 日から平成 23 年 6 月 30 日（回答期日）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

＜うまくいった点＞

- ・発災直後は、現地滞在型で避難所で宿泊し、避難所の運営者や医療チーム等との会合や緊急時の対応等タイムリーに連絡し活動することができた。
- ・3月24日から5月末までは、当県の公衆衛生担当チーム2名（獣医師・薬剤師・栄養士で構成）と合流し、感染症予防等の衛生対策と健康教育が効果的に実施できた。

（活動環境に関すること）

- ・支援開始から5月中旬までは、釜石市内及び大槌町内での宿泊施設の確保が困難であったこと、避難所運営者から現地滞在型の支援を求められたこと等で大槌高校内の教室で宿泊していた。
但し、5月中旬から遠野市で宿泊施設が確保できたため、巡回型の支援活動に変更した。
- ・活動用の自動車については、当初は東北新幹線が不通だったこともあって、物資搬送を兼ね往復公用車（県及び市町村）とし、そのまま活動に使用していたが、5月中旬からは、公共交通機関の復旧に併せて、移動手段を電車に変更したため、公用車1台のみであるが、現地に残し使用している。

＜問題点＞

- ・避難所での宿泊は、身体的疲労が大きく早めに改善したかったが、遠野市等限られた地域の宿泊施設に多くの他県派遣者が集中していたので確保が難しかった。宿泊可能な施設の情報収集に苦労した。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成 23 年 3 月 17 日～4 月 19 日

（課題）

○派遣地域の県保健所・被災自治体と各県派遣チームとの情報共有

- ・現在、釜石保健所管内に入っている各県派遣チームは、毎朝、保健所ミーティングで情報共有しているが、当初、当県担当地域が保健所から遠方でありかつ避難所に宿泊していたため参加要請がなく、保健所や他県派遣者との情報交換ができなかったこともあって、しばらく被災地や支援状況の全体像がつかめなかった。

⇒（改善）4月下旬からは、当県の希望で参加している。

6 被災地の中長期的な課題

○被災地の復興状況の情報共有と派遣チームの役割の明確化

・今回の震災による被害は、大槌町の役場や職員を失う甚大なものであり、大槌町保健師への連絡も釜石保健所を経由し直接は行わないことが保健所の指示事項であった。それほどダメージであることは理解でき、依頼された役割を担っているが、町行政に関する情報が得にくかったため、時間の経過と共に、今後の町保健活動の復興に向けた支援活動としての目的や意義が不明確になりつつあった。

⇒ (改善) 6月23日から、週1回、大槌町内において、保健所・大槌町・各県の派遣者との合同ミーティングが開催され、問題解決に向けた検討の場が持たれるようになった。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

今回のように、行政機能全体に甚大な被害が生じ、医療関係を始め、行政職や公衆衛生担当職員、保健師、心理職等様々な分野から派遣される場合は、派遣職員の調整や活動物資の調達、派遣自治体からの後方支援等において、派遣先が統一された方が窓口も一本化され、関係者間の情報交換や情報共有或いは派遣者同士の相談や協議も可能であり、効果的は支援活動ができる。

ただし、派遣方法については、一人を長期間派遣する場合は、現所属の業務調整、家族の理解と協力体制、派遣に関する疲労やストレス等心身の健康管理等、派遣の条件整備が必要である。

被災直後のように、健康観察や健康教育等、繰り返し行う業務であれば、短期（1～2週間程度）の方が、派遣条件が整い易く、短期に派遣者が交替しても各人が高いモチベーションと体力が維持できる利点もある。しかし、長期的な復興計画の下に企画・実施・評価の視点を含めた業務を担う場合は、じっくりと落ち着いて考える時間も必要となり、被災県が派遣者に求める役割と内容によって、短期・中期（1～2か月程度）・長期のどのような派遣方法が適当であるか或いは可能であるのか検討が必要である。また、派遣元としても、派遣者への後方支援の体制や方法についても整備が必要である。

このように復旧・復興が長期化している状況では、全国各自治体からの派遣と被災県独自の職員採用の両面から、人材確保をしていくことが望ましく、広域的かつ長期的な視点から継続的支援を可能にする仕組みづくりが必要である。

回答自治体名：名古屋市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：名古屋市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県陸前高田市
- 3 支援した期間：平成 23 年 4 月 22 日～平成 24 年 3 月末日まで（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

複数の自治体が支援して、連携を取り合い支援の方向性が提案し示せる。災害保健のノウハウを共有しあうことが大切。被災地の自治体は、疲労しており活動の方向性をみいだせないで、問題を共有しながら支援した自治体が方向性を提案していく必要がある。支援する自治体側が復興計画に対して早急になりがちであるが、その自治体の歴史や職員の想いに沿って支援することが大切であるとする。

（活動環境に関すること）

被災地内に住むことでできず、通勤に時間がかかる。冬季に道路の凍結の危険性があり、自力での通勤は危険。本市はパートナー制の派遣で被災地に災害対策本部を設けているため、宿舎、通勤、健康管理は現地で一体的に行えている。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：4 月下旬

（課題）保健師派遣の場合、短期派遣自治体 11 か所 50 人近くが一同に介し同じ活動を行うが、派県自治体の中でも取りまとめ役を決め情報共有・指示命令系統をはっきりさせないと活動がスムーズにいかない。

被災者の状況把握のためローラー作戦を実施していたが、被災者の居住地が確認しにくいなど思ったより時間がかかった、また地図を用意したり、調査票の整理など事務も重要なのでその場にあった役割分担が必要と考える。

- 6 被災地の中長期的な課題

・ 応急対応期が過ぎ、避難所から仮設住宅への移行、生活基盤整備の時期であるが、保健福祉行政としては、災害要援護者（高齢者、有病者、障害者、乳幼児等）を把握し継続支援の体制を作るとともに通常業務を再開させる時期でもある。

・ 継続支援ケースの絞り込み作業を実施し、必要なサービスにつなげる。

・ 仮設住宅での健康相談や健康教育による健康支援を展開し、同時にコミュニティの再生支援のための働きを行う。

・ 予防接種や乳幼児健診などの通常業務を開始し軌道に乗せる。

・ 24 年度保健事業の計画策定

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

本市もパートナー制により1つの自治体を継続支援しているが、多部門の職員が短期間に別々の自治体に派遣される場合と比較して職員の連帯感も生まれメンタル的にも良いと思われる、また後方支援も一本化され無駄がない、派遣する自治体側の市民にとっても支援先がわかりやすく、一体感が生まれやすい。長期支援は、ひとの入れ替わりも少ないため被災自治体の職員に負担がかからないように感じる。長期に派遣されていると通常業務への支援、次年度事業計画策定への参画もあり派遣先自治体の事情がよくわかるので、本当に1年の支援でよいのか、復興には時間を要し、1年経過しても継続支援が必要ではないかと感じる場合がある。

回答自治体名：三重県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：三重県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県陸前高田市
- 3 支援した期間：3/18～8/末（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・医療関係で、被災者でもある被災地の医療関係者と被災地の医療提供体制の早期の自立をめざした連携が図られた。
- ・保健師活動において、被災地の自治体自らが復興計画を示したことで、活動内容が明確になった。
- ・栄養・食生活支援において派遣の効果的な活用を図るためには、市、支援保健所、後方支援保健所のスムーズな連携が必要と考えられる。
- ・児童福祉関係において、要保護児童の調査、保護者や教員、保育士等への情報提供など、かなりのマンパワーを要する部分に対する支援が有効だった。

（活動環境に関すること）

- ・支援が長期に及ぶことから、派遣チームの宿泊場所のあっせん等、広域的な視点で調整があれば、よりよい支援が行えたと考えられる。
- ・医療活動と保健師活動の調整など関連する職種間の活動の調整機能が必要となってくると思われる。
- ・現地において、保健医療の本部が早期に整備されたことは有効だった。管理栄養士の活動においても、調整機能を担う拠点が必要と考えられる。
- ・児童福祉関係において、被災自治体の負担を減らすためにも、支援自治体同士がある程度自律的に動けるような引継ぎの体系化が必要。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：被災後40～90日

（課題）避難所への食料の調達、配送拠点に被災者の健康管理、2次的な健康被害の予防の視点がなかった。避難所用レシピの支援等に派遣栄養士の活用が望ましいと思われた。

（支援時期）：震災後1ヶ月が経過し、翌週から学校が再開する時期

（課題）学校再開に向け、避難所の出入りが増加していた。また、学校が始まることで情報がより密に入ることやある程度組織だった支援体制が期待できる状況であったが、一方で未就学児やその家庭への支援が滞っていた。

6 被災地の中長期的な課題

- ・復興後の医療提供体制のビジョンの策定
- ・急性期後における被災地のマンパワーの確保（現地での雇用、自治法派遣等）
- ・仮設住宅での食料の確保、調理意欲の低下等、不適切な食事による2次的な健康被害の予防を担うマンパワーの確保
- ・児童だけでなく、教員、保育士、自治体職員など、自らも被災しながら支援を担っている方々への長期の支援
- ・児童を引き取った親族へ、親族里親などの制度活用の推奨や支援が必要。また、元々家庭基盤の弱い家庭の養護性が、児童の問題として現れてくる可能性も考えられる。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

支援者が次々に変わることは被災自治体にとっても負担と考えられ、また、災害の規模にもよるが、自治体職員が被災している場合は、支援する側もされる側も、互いに深く情報共有することができ、責任を持って活動できるため、パートナー制による支援は効果的と思われる。

回答自治体名：滋賀県健康福祉部健康推進課

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：滋賀県健康福祉部健康推進課

2 最も多くの支援を行った地域名：福島県小野町、郡山市

3 支援した期間：3月15日～継続中

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

○うまくいった点

- ・滋賀県は医師、薬剤師、獣医師、放射線技師、管理栄養士、保健師等によりチームを編成し支援を行ってきており、現地の健康ニーズに合わせて支援が行えた。
- ・保健師の他、チームリーダーを保健師以外の技術職が担うことで、現地保健所との現場での調整が行えた。

○今後工夫が必要な点

- ・現地の健康ニーズが刻々と変わる中、派遣日数、人員、活動場所等について現地保健所とタイムリーに調整する必要があったが、なかなか困難であり、この点が課題であった。

(活動環境に関すること)

○うまくいった点

- ・支援者の安全を確保するとともに、自律型支援を行うような形で派遣を行った。(当初の生活用品持参、宿の確保、公用車使用 等)

5 被災地の支援当時の課題

○ (支援時期)：発生4日から2週間

(課題) 医療機関が閉鎖、避難生活のストレス・衛生状態の悪化

○ (支援時期)：発生2週間から3ヶ月

(一次避難所(体育館等)、二次避難所(旅館等))

(課題) 医療機関は再開、避難所での感染症対策、慢性疾患患者への療養支援、介護予防

○ (支援時期)：発生3ヶ月以降 (仮設住宅入居)

(課題) *今後入居者の健康調査予定

6 被災地の中長期的な課題

- ・福島県では被災自治体の役場機能の移転等があり、今後は本来業務を開始に対するための支援が必要となる。

現在は1週間交代で派遣しているが、今後派遣期間の延長や派遣人数、派遣職種等、現地のニーズに合わせた検討が必要である。

7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

- ・現地の特性を理解して支援できるという点のメリットはあるが、支援継続のためにはマンパワーが必要であり、1対1体制では限界となる可能性がある。

回答自治体名：滋賀県（障害１）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：滋賀県（障害１）

2 最も多くの支援を行った地域名：名取市 ※手話通訳者派遣（４人）

3 支援した期間：平成２３年５月１８日～３１日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

聴覚障害者は中々役場には相談に来られないので、こちらから家庭訪問する中で、役場への手続きの仲介や日頃の悩みを聞くことができたこと。

（活動環境に関すること）

庁舎の入口に手話通訳者派遣の案内および広報（庁舎内も含む）をしたことで、庁内外の方に関心をもってもらえたと思われる。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成２３年５月１８日～３１日

（課題）聴覚障害者の多くは親戚等に避難されている。名取市には専任の手話通訳者を配置されていないため、行政として聴覚障害者の心の悩み等相談の対応ができていない、聴覚障害者も市役所に出向きことも少ない。また、市役所内の機関連携も十分ではなく、生活再建に向けた様々な部署とのつながりにも課題も感じられた。また、市役所内の機関連携も十分ではなく、生活再建に向けた様々な部署とのつながりにも課題も感じられた。

6 被災地の中長期的な課題

まず、市が独自に専任手話通訳者の配置が望まれる。それまでの間、現在、県外の各自治体から、名取市に２週間程度の交代派遣での継続した支援を続けているが、引き続き、継続的な関わりが必要である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

自治体の役割分担の上で、効果的であると思われる。

回答自治体名：滋賀県（障害２）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：滋賀県（障害２）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：県北地域（心のケア）
- 3 支援した期間：23年4月1日から6月17日まで。
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

単独チームで同一地域に連続して支援に入ったため、現地管轄保健所職員と顔の見える関係を築けたことで地域の実情に即した活動ができ、また、活動の引き継ぎも円滑にすることができた。

新たな被災地に入る場合には地域背景（特に心のケアで必要）を理解するための情報をより多く入手できるよう工夫が必要。

（活動環境に関すること）

現地管轄保健所を拠点とすることができたことから連携に優位であった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：活動時期全般を通して

（課題）：**原発事故の先行きが不透明で生活の基盤が決まらないことから不安が増強し心の健康に悪影響を与えている。**

日々被災者の状況が変化していく中、被災地スタッフにも混乱があり、指揮系統に混乱があった。

- 6 被災地の中長期的な課題

被災者受入地域の住民の被災者に対する不満を耳にして精神的に不安定になっている被災者が見受けられることから、地域住民と被災者との交流の場を持つなど、地域住民の誤解を解消する取り組みが被災者の精神的安定のためにも必要。

支援活動には対象者を掘り起こす側面があることから、それに見合った精神保健医療資源の充実が必要。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

窓口が一つになり、被災自治体にとっては支援の一本化につながり、混乱を来さない方法であると思われる。しかし、派遣自治体に負担が集中することから、派遣自治体の体力に応じて複数自治体で一つの被災自治体を支援する形を選択できるようにすることが適当。

回答自治体名：京都府（放射線技師）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：京都府（放射線技師）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県内
- 3 支援した期間：4/2～4/19、6/21～7/8
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

特になし（以下同様）

(活動環境に関すること)

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：

(課題)

- 6 被災地の中長期的な課題

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：京都府（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：京都府（医療救護班）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県（会津保健福祉事務所管内）
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 18 日～7 月 1 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・現地において、避難所支援を実質的に行っている機関（保健所）と連携して支援を行うことで、避難所の巡回や地元関係者との連携が円滑に行うことができた。
- ・避難の長期化に伴い、心のケアが必要な者や運動不足による疾患の悪化を訴える者が増えてくるなど、医療ニーズが変化してきたが、機動的な対応が難しかった。

（活動環境に関すること）

- ・地元医療機関も被災したため、初期での避難所の医療支援に協力が得られなかった。（4 月以降は、地元医療機関も立ち直り、連携できた）
- ・避難所の数が多く、（二次避難所は 200 を超える）又、小規模なもの（ペンション等）が多かったことから、巡回に時間を要した。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成 23 年 3 月 18 日～

（課題）

- ・派遣先の福島県内の公共交通機関の運行が途絶したため、派遣方法が車両に頼らざるを得なかった。
- ・原子力発電所の近くに位置する町が、町機能も含めて住民全てが避難したため、受入市町で混乱が生じた。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・福島県については、原子力発電所も被災したため、避難が長期化
- ・特に、原子力発電所から 20 km 圏内の市町については、避難者の帰宅の時期が定まらない。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

一つの自治体が単独で支援するのではなく、複数の自治体が連携しつつ交代で支援を行うべきである。

（理由）

支援自治体にも、住民に対する通常業務があり、この業務を継続しつつ、支援業務を行うことは重い負担となり、その結果、通常業務に支障が生じ住民サービスの低下を招きかねない。

回答自治体名：京都府（保健師派遣）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：京都府（保健師派遣）

2 最も多くの支援を行った地域名：会津若松市

3 支援した期間：平成23年3月15日～7月2日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・被災地受入市及び保健所の役割分担が不明確で、指示命令系統が明確でなかった。被災地受入状況の全体が見えにくかった。

（活動環境に関すること）

- ・支援調整員が市や保健所との連携やその他活動周辺の対応を担当して保健師が現地避難所の業務に専念できた。→調整員の必要性

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：震災直後

（課題）

- ・一次避難所である体育館の生活環境の整備
及び医療相談実施に伴う必要物品の不足 等
→ 通常時から避難所機能を整備する必要あり

6 被災地の中長期的な課題

- ・行政機関も含めて被災した場合の対応は、今までの災害対応では想定されておらず、複数の自治体が連携した保健事業等の事業実施体制の確立も必要
- ・仮設住宅移動後の孤独感の問題や高齢者対策をはじめ、派遣職員の心のケアに対する配慮も必要

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・京都府は関西広域連合で分担を行い、福島県（会津若松市）の支援に入ったが、支援の相手方自治体を特定したことにより、効率的に協議し支援を実施することができた。
- ・保健師などの技術職員の派遣については、1自治体での支援体制では限界がある。

回答自治体名：京都府（児童福祉部門）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：京都府（児童福祉部門）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県仙台市
- 3 支援した期間：4 / 25～29
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

特になし（以下同様）

（活動環境に関すること）

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：

（課題）

- 6 被災地の中長期的な課題

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：京都府（手話）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：京都府（手話）

2 最も多くの支援を行った地域名：福島県いわき市

3 支援した期間：5月26日～6月1日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

・聴覚障害者への戸別訪問を行い、地震体験・生活状況についての傾聴及び支援ニーズの把握を行った。

・個人情報に関する取り決めが必要。

（活動環境に関すること）

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：5月末

（課題）

・聴覚障害者の地震後の生活状況、支援ニーズの把握ができていない。

・手話によるコミュニケーションの場がない。

・聴覚障害者に対する行政情報の提供が不十分。

6 被災地の中長期的な課題

・地域（保健福祉センター域）での聴覚障害者の支援ネットワークづくり。手話通訳者（本庁のみに配置）と保健福祉センター、福祉事業所との情報共有、支援体制の構築。

・聴覚障害者に対する手話によるメンタルケア。

・聴覚障害者が集まって手話でコミュニケーションできる場づくり。

・聴覚障害者に対する放射能に関する情報提供。聴覚障害者向けの放射能の学習会の設定等。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

・一貫した支援ということではよいと思うが、手話通訳者の場合、正規職員数が少ないので実質的に難しい。

回答自治体名：京都府（心のケア）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：京都府（心のケア）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県会津保健所管内
- 3 支援した期間：4月11日から7月末（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・ベテラン精神科医を中心に途切れなく、巡回支援を実施し、地元の評価は高い。
 - ・保健師活動から医療まで一連の精神保健医療体制が再構築されつつある。
 - （活動環境に関すること）
 - ・一次避難所の環境は改善されてきているが、2次避難所の中には、見通しが立たず、町職員が疲弊しているところもある。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：4月
 - （課題）
 - ・被災地職員が高ストレス状態にあり、自死リスクが高い。
 - ・支援対象ケースの拾い上げの困難さ（避難住民に比べて保健師の絶対数が少ない。）
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・避難者に対し職員が少なく、職員に対する環境改善等の支援が必要
 - ・避難先がホテルの場合はプライバシーが確保される反面、避難者間の横の連携を妨げ、問題の集約、整理を困難にしている
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・支援側と被支援側の信頼関係の構築により調整等がスムーズに行われ、円滑な支援が可能となる。
 - ・支援側の人的な負担が大きいため同じスキームで支援側は複数の団体が協力して支援するのがベター。

回答自治体名：京都市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：京都市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：仙台市
- 3 支援した期間：平成23年3月15日～（派遣中）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - 派遣自治体（仙台市）と直接調整することができ、比較的早期に複数の職員を派遣することができた。
 - 派遣自治体からの指示に基づき、適切に支援活動が行うことができた。
 - （活動環境に関すること）
 - 現地への交通手段の確保（京都市においては、市全体で仙台市を支援しているため、新幹線復旧までの間は、定期的に観光バスをチャーターした。）
 - 現地での宿舎・食糧が確保できないため、京都市においては、寝袋及び食糧を持参した。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：平成23年3月15日～（派遣中）
 - （課題）
 - 現地への交通手段の確保
 - 現地での移動手段の確保
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 被災地職員の体調管理（定期的な休暇等が必要）
 - 避難所から仮設住宅へ転居された方への支援継続のあり方
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 京都市は政令市間の災害支援協定に基づき、保健衛生以外の部門（事務、建築、ゴミ収集等）も含めて、主に仙台市への支援を行った。
 - これにより、派遣調整が仙台市に1本化されるとともに、派遣部門間において連携※が図ることができた。
 - ※職員の一括輸送、公用車の相互利用、緊急時の連絡体制等

回答自治体名：大阪府（こころのケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：大阪府（こころのケアチーム）

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県

3 支援した期間：3月23日～7月5日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・保健活動チームなどとの連携により、「こころのケア」へのつながりがスムーズに行われた。
- ・支援チームの交代時に引き継ぎの日を一日設けたことで、支援及びケース対応に継続性が持てた。
- ・医療活動及び保健活動チームのミーティングにより、情報交換・連携がスムーズに行われた。

（活動環境に関すること）

- ・支援者の宿泊先を支援先から少し離れた場所に確保したことで、支援者の惨事ストレスを軽減することができた。
- ・被災自治体の職員の多くが被災者であるため、支援受入体制に人手が不足しており、受入側支援体制への早急な対応が不可欠である。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）3月23日～7月5日

（課題）・複数の自治体が支援に入る場合の日程及び担当地区の調整

- ・受入側の調整機能を担う人手の不足
- ・各避難所で健康管理等を行う保健師等の配置
- ・支援開始時期と終了時期の判断

6 被災地の中長期的な課題

- ・避難所から仮設住宅等に移り、生活環境の変化により、新たに様々な問題が生じる恐れがあり、「こころのケア」として新たな段階への対応が必要になると思われる。
- ・現地で「こころのケア」に対応できる職員（精神保健福祉士・保健師等）及び医療体制の整備

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・支援者の派遣を行うための移動時間等も考慮し、相手を決定すべきである。
- ・自治体相互間の窓口について、支援内容による個々の対応でなく、基本的に統一すべきである。
- ・被災後早急にパートナーとなる自治体を決定する必要がある。

回答自治体名：大阪府（医師・保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：大阪府（医師・保健師チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県山田町
- 3 支援した期間：3月24日～7月2日（ただし、医師は～5月13日）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

中核市や市町村の協力のもと混成チームによる支援体制が構築できた。（日常からの府と中核市等との連携・協力体制が寄与。）

山田町内の特定地区を継続的に支援することで、被災地や被災者の実情等を把握、円滑な支援活動につながられた。

また、新潟中越地震等の経験に基づくマニュアルが支援体制の構築・現地活動に大いに役立った。

（活動環境に関すること）

宿舎を宮古市内に、また、活動拠点を町内の保健センターに確保できたことで効率的、効果的な支援活動ができた。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月24日～7月2日

（課題）：県、保健所、町の指揮系統が不明確で、保健師の総括者はいるが地域全体の情報共有・連携が図れていない。報告連絡系統の明確化と情報共有・伝達できる体制が必要。

また、県と厚労省、あるいは、厚労省内の情報共有・連携が不十分で、支援側に被災地のニーズ等が十分に伝わってこない。

- 6 被災地の中長期的な課題

夏場を迎え、仮設住宅や避難所などにおける食品衛生・環境衛生面での課題が顕在化してきている。また、現地の職員も長期化する中で、日々の苦情対応等で疲労しきっている。

県も含め支援の方針・被災地での役割分担等を明確化していくことが必要。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

被災自治体を、1自治体で支援するには、体力的にも限界があり、複数自治体での支援体制が必要。また、自治体間の連携、引き継ぎが重要。

そのためには、被災自治体側でのマネジメント、情報の共有できる体制の構築が必要。（現地リーダーの存在、県の役割が重要）

支援先を固定することで、派遣職員の交代時の引き継ぎや宿舎、移動手段の確保、派遣先の状況把握等の面で効果がある。

回答自治体名：大阪府（管理栄養士）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：大阪府（管理栄養士）

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県 山田町

3 支援した期間：5月1日～6月3日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・岩手県宮古保健所への派遣は府管理栄養士が一番早く、避難所での状況把握、食事提供、食材在庫と管理、個別栄養相談等について、どういう流れや様式を使用して行っていくかなどのシステムづくりの支援ができ、府の支援終了後も現地で継続実施されている
- ・国からの依頼に管理栄養士が明記されたことで、派遣を行うことになった。

（活動環境に関すること）

- ・支援先の町において、指揮命令系統が明確でないために、支援活動に混乱があった。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：5月1日～6月3日

（課題）

- ・災害が大規模であり、現地行政の被害も大きく、混乱状態にある中で、全国保健所管理栄養士会の過去災害地をもとにしたマニュアルは、参考程度に使用したものの、実際は、現場の状況を見ながら積み上げることになった。
- ・派遣受け入れ態勢が整うまでに時間がかかったため、他の被災県より避難所での栄養状況把握が遅れた。

6 被災地の中長期的な課題

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・支援する自治体で、災害に対する訓練、専門職としての研修が必要。

回答自治体名：大阪市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：大阪市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石市、宮城県岩沼市
- 3 支援した期間：
保健活動チーム 3月13日～5月3日(宮城県岩沼市)
5月5日～7月2日(岩手県釜石市及び大槌町)
心のケアチーム 4月2日～5月29日(岩手県釜石市) 等
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

【保健活動チーム…主として岩手県岩沼市における活動について記載】

- ・ 活動当初より感染症予防のための啓発、環境整備等の対策を重点的に実施した結果、避難所における感染症の集団発生を防ぐことができた。
- ・ 避難所で地区の代表者と避難所の管理者が合同で毎日会議をして、情報提供や困りごとを吸い上げるようなシステムが組まれたことは、非常に情報の伝達や共有に有効であった。
- ・ 避難所から自宅の片付けなどに帰る方が多く、実際に避難所を巡回しても、直接会えない場合が多く、施設管理者への間接的指導に終わることが多かった。
- ・ 医療班等が入る時間が定例でなく、その度に保健師の巡回の同伴やつなぎを求められたため、保健師が支援計画を立て、活動をすることが困難であった。

【心のケアチーム(岩手県釜石市で活動)】

- ・ 避難所を巡回して活動する中で、相談者のプライバシーの確保を行うため公用車内で対応するなどの工夫に努めた。
- ・ 同時期に同じ避難所に、自衛隊等のチームが入っていたことなどもあり、重複を避け、効率的に活動を行うことができるよう全体を掌握し調整を行う機能が必要である。

(活動環境に関すること)

【保健活動チーム…主として岩手県岩沼市における活動について記載】

- ・ 短期間での派遣サイクルとなるため、引継ぎの徹底と派遣元が活動報告を受けながら、活動内容や方向性を派遣チームに伝え、継続した活動となるようにした。
- ・ 健康手帳などは市町村毎に違うため、2箇所以上市町村を担当した場合、保健指導内容に若干差異が生じた。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：保健活動チーム 3月13日～5月3日(宮城県岩沼市)
心のケアチーム 4月2日～5月29日(岩手県釜石市)

(課題)

【保健活動チーム…主として岩手県岩沼市における活動について記載】

- ・ 現地の調整機能が麻痺した中、後方支援として現地での情報収集班の設置、収集内容の支援自治体及び現地への還元などが今回、行なわれなかった結果、支援側が不必要な準備を行なわざるを得なく、逆に必要な資材を後追いで届けざるを得ないこととなった。
- ・ 大規模(800人)の避難所では、個々人の健康状態の把握が困難であったので、避難所の管理者と調整して、入所時に氏名や住所等と簡単な健康状態の把握を行うようにし、課題があればその場で面接するようにすることで改善した。早い時期にどの位置に誰が居るのかを示すものを準備する必要がある。

【心のケアチーム(岩手県釜石市で活動)】

- ・ 順次、避難所から仮設住宅での生活に移行していく状況の中で、今後における心のケアのあり方を策定することが急務であった。

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 被災地の自立を支援する体制作りを後方支援し、フェーズに応じた応援体制を構築する必要がある。
- ・ 夏季を迎えて、熱中症予防・食中毒予防対策が必須である。
- ・ 県と市町村の関係性があり、指示命令系統が一本化されないため、調整が困難であった。

7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

広域的な激甚災害における支援の方法として有効性が高く、被災地状況、ニーズの把握と迅速な対応が可能となるが、国が主導して被災自治体の状況及び他市町村の支援能力等を調査・勘案し、都道府県や事業全国組織等との調整を行ったうえで、支援都市と受援都市のペアリングを決める制度の構築が必要と考える。

回答自治体名：堺市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：堺市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石市甲子地区
- 3 支援した期間：3月15日から6月28日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

<うまくいった点>

(活動内容に関すること)

- ・過去の派遣経験から迅速な初動体制をとり4日目から現地で支援活動を実施したこと。
- ・初期支援において、派遣チームの構成を保健師と事務職にしたことで、保健師活動に専念できたこと。
- ・初期は、避難所の運営担当者と避難所の小学校職員と健康課題を共有し、医療・感染症予防対策や避難所の環境整備ができた。その後、住民リーダーも参画し住民と協働した避難所運営の後方支援とコミュニティ形成の支援をした。

(活動環境に関すること)

- ・公用車による移動手段で、支援活動物資や派遣職員の生活物資の搬入を行い即支援活動が開始できたこと。

<今後工夫が必要な点>

- ・初期に避難者の健康調査をし、健康ニーズを掌握し適切な支援を行う。
- ・支援活動の全体調整や終結に向けて、受入れ側の保健所職員を支援する体制が必要である。

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：初期から1か月

(課題)・避難者の健康管理及び処遇調整・医療の確保・感染症予防対策

- ・食事確保と配食の栄養バランス・避難所の環境整備

※水道・電気の復旧が健康管理に大きな影響を及ぼすのでライフラインの確保が重要である。

(支援時期)：1か月後から2か月半

(課題)・避難者の健康管理、メンタルヘルスキアの増加、被災地職員の疲弊・健康管理に留意する。

(支援時期)：2か月半以降

(課題) ・被災地における派遣体制の総合的な調整機能。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・被災者のPTSDフォロー
- ・仮設住宅へ移動した被災者の健康管理
- ・被災地職員の健康管理、メンタルヘルスキア

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・継続した支援上、無駄がなく望ましいと思うが、派遣元の要員確保が厳しい。複数の自治体で担当するのがよい。

回答自治体名：兵庫県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：兵庫県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市、南三陸町
- 3 支援した期間：3月12日～6月29日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

救護班を複数病院でローテーションを組んだが、本県が被災地から遠いことで交通機関の関係から、前後の救護班間における引継が十分に行われない場面があった。

(活動環境に関すること)

通信手段の確保が困難であった。

※ 衛星電話しか通話できない被災地域があり、携帯していない救護班があったことから、各班がそれぞれ持ち込むのではなく活動拠点(避難所・救護所)で確保する必要がある。

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：発災後の3月中旬

(課題)

救護所の早期立ち上げ、運営に必要な医薬品、医療資器材、パソコン・コピー機等機器・事務用品等資材の確保

- 6 被災地の中長期的な課題

救護班引き揚げ後における被災地内の医療資源・機能の回復

- 7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

手法としては一定の成果があったと考えるが、関西広域連合のみ取り組みではなく、全国の都道府県において取り組まれるよう、事前にパートナーを定めておくことが必要ではないかと考える。

回答自治体名：兵庫県（健康増進課：保健活動）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：兵庫県（健康増進課：保健活動）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市、気仙沼市、南三陸町
- 3 支援した期間：3月23日～現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

(1) 関西広域連合現地支援本部の活動

- ・各市町災害対策本部と現地支援本部が情報を適切かつ迅速に共有し活動することにより、チームの一員として参画する保健師等も、総合的な情報を持ち被災者支援を行うことができた。
- ・保健師等の保健活動により見出した被災者のニーズや課題を、現地支援本部を通じて現地へ提案することにより、早期に対応できた。

(2) 派遣期間の工夫

- ・活動期間を現地8日間の長期間とし、交替時に的確に引継ぐことにより、支援活動が円滑に行え、現地支援者や被災者の信頼を得ることができた。

(3) 現地情報の共有

- ・他府県からも多くの医療保健専門職が派遣され支援活動を行い、現地の保健活動計画や進捗状況を共有することが困難な中、本県からも発案し、派遣者によるミーティングを定期的開催でき、現状や課題を共有するとともに、宮城県や地元市町に引き継ぐことができた。

（活動環境に関すること）

(1) チーム派遣

- ・活動支援員として事務職等を配置することで保健師の訪問活動等が円滑に行えた。また、栄養士、歯科衛生士を派遣することにより、健康支援をトータルに行えた。

(2) 活動初期の環境

- ・交通機関やライフラインが途絶える中、安定した支援活動を行うため、宿泊所や移動手段の確保が重要であった。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：3月～現在

(課題)

(1) 避難住民の生活環境、健康状況

- ・ライフラインが復旧しない中、避難所ではトイレの管理ができておらず、衛生環境が劣悪であった。避難所運営に係る支援者や被災者自身に、清掃方法等の周知が必要であった。
- ・数週間にわたり避難所への食糧配給が不十分であった。特に高齢者や乳幼児の食糧が不十分で、兵庫県から高齢者食や離乳食等の支援物資を提供した。
- ・栄養調査の結果、栄養量が不十分であること、避難所間の格差が大きいこと等が明らかとなり、兵庫県から、災害救助法による食費の特別基準適用及び食品等の提供期間延長、調理環境改善などについて、国、被災県、被災市町に提言を行った。
- ・指定外の避難所も多く、様々な生活物資の配給に格差があった。
- ・避難所が過密なため、プライバシーに配慮された安心して相談できる環境が確保できていなかった。

(2) 現地スタッフの疲労と支援者の受入れ

- ・現地のスタッフは直接避難所運営に従事し、不眠不休で被災者対応に追われ、その状況が長期化していた。
- ・現地スタッフが避難所運営に関わっていたため、全体のコーディネート機能が不十分であった。初期から応援チームが避難所運営を支援し、現地スタッフの負担を軽減する必要があった。

(3) 活動計画の策定

- ・避難者及び在宅の者の生活状況や健康状況について、全数把握が計画的に行われず、結果として重複したり、二度三度と調査する必要が出てきており、当初から計画的に実施する必要があった。
- ・継続して支援の必要な人の全体像がつかみにくかった。

6 被災地の中長期的な課題

- (1) 仮設住宅入居後の閉じこもり、高齢者や子育て世代の孤立の防止、見守り組織の育成、コミュニティの再構築
- (2) 仮設住宅移行に際し、現地での医療や福祉資源の確保
- (3) 避難生活が長期化することによる、生活不活発病や熱中症などの二次的な健康問題の発生防止
- (4) PTSDやアルコール問題などのこころのケア対策
- (5) 保健活動強化のためのマンパワー確保
- (6) 中長期にわたり変化する被災者の健康状況の把握と的確な対応

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

継続的に支援することが可能であり、現地スタッフや被災者との信頼関係ができ、支援計画の見通しもたてやすい。また、派遣者のチームワークがとれ、組織的に対応でき、被災者の生活全般の支援につながりやすかった

回答自治体名：兵庫県（障害福祉課）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：兵庫県（障害福祉課）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県仙台市
- 3 支援した期間：3月18日～6月28日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

多職種によるチームとしたことで、多面的な支援を行うことができた。一方で、刻々と変化する現地ニーズに応じて、またチームスタッフの勤務体制等と併せタイムリーに現地入りする人員を確保（質、量ともに）していくことが課題である。他都道府県の保健師チームが避難所の方々の情報を把握していたため、必要な方に迅速にこころのケアチームが接触できた。

（活動環境に関すること）

支援に入る側の生活環境に関して、当初から宿泊先の確保ができたことが何より良かった。一方で余震が続く状況で支援に入る側の安全の確保、安否確認方法、事故時の補償等に改善、検討の余地が残る。またこころのケア活動に関しては災害救助法において求償に関する明記がない。今回は特例的に求償できるようになると国の担当者からは聞いているが、正式な通知等が出ていないため、どのように対応するのか不明である。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月18日～6月28日

（課題）日々刻々と現地の状況が変化の中で、支援体制を縮小するタイミング等を見極めが難しい。

6 被災地の中長期的な課題

現在被災地は他都道府県による支援が縮小、撤退しているところである。今後は現地が通常の間精神保健福祉活動の中で対応していく必要があるが、通常業務をこなしつつ、被災者支援を行うことは容易ではない。被災者の精神的な問題は良くなっていく者と、悪くなっていく者との二極化がますます進むと思われる。また、支援者への精神的な支援も必要である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

情報が蓄積され被災地での認知度も高まることから、派遣チームのメンバーが入れ替わり現地入りしても、スムーズに活動することができた。一方、割り振りに関して、こころのケアチーム活動は厚生労働省が割り振りを行ったため、関西広域連合による割り当て地としてももらうよう調整が必要であった。調整の結果、宮城県仙台市へ入ることとなったが、関西広域連合によるパートナー制については、国等に対して周知の徹底を願いたい。

回答自治体名：神戸市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：神戸市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県陸前高田市
- 3 支援した期間：3月20日～継続中
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

住民の全戸調査が終了した時期に、被災自治体の負担状況や今後派遣職員が行うべき支援の内容・期間などを確認するため、日々の派遣チーム以外に、調整的役割を担うチームを現地に派遣した。被災自治体からは、活動の進ちょく確認が出来てよかった等の感想が聞かれた。

- 5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：応急対応期

(課題)

職員や庁舎等多くの行政機能を失った被災自治体では、長期間にわたって様々な課題(人員、保健活動のノウハウ、マネジメント等々)に直面している。

- 6 被災地の中長期的な課題

避難住民の保健衛生面にとどまらず、生活を支えるための産業、基本的な行政機能の復旧など、被災自治体だけでは解決困難な課題が山積している。

- 7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

一自治体だけでは支援が困難な場合もあるため、国が一定のパートナー制度を構築し、自治体間で協議できるような体制が望ましいのではないか。

回答自治体名：奈良県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：奈良県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間：
 - 【保健師班】 3月16日～現在も活動中
 - 【医療救護班】 3月19日～6月3日
 - 【心のケア班】 6月13日～現在も活動中

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

- ・医療救護班で当初薬剤師の継続的な派遣を予定していなかったが、現地の状況から継続派遣に切り替え、スムーズな処理ができた。
- ・所属が違う派遣チーム間で、事前に現地の状況などを得やすくするため、メーリングリストを開設したことで、活発な情報交換が行われ、また、事務等の改善に繋がるような提案もあった。

(活動環境に関すること)

- ・宿泊場所を電気・水道も使用可能な場所で確保したことが、被災地までの移動に時間はかかったものの、救護活動と休息时间とにメリハリができ、特に寒い時期に充実した救護活動ができたことにつながったと考える。
- ・今後改善した方がよいと考えるものとしては、バラバラな服装で救護活動している状況であったが、患者さん等から見た時に誰に聞けばよいかよくわからない状況であったので、ユニフォームを用意しておく必要性を感じた。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：

(課題)

- ・医療救護班については、県内医療機関の協力を得て医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名のチームを組み、現地の復興がある程度確認できるまで救護活動を継続する意向で6月末までの日程調整を行っていたが、5月20日に5月末で活動を終了してほしいとの連絡が有り、活動を終えることとなったが、震災により医療ニーズが高まっている中、元々、医療資源の乏しい地域において、本当に引き上げて大丈夫かという派遣されたチームの懸念があった。現地の認識との間で、いかに引き継ぐか、引き際の難しさを感じた。

6 被災地の中長期的な課題

震災前から医師不足が問題となっている地域で、今後、下水の復旧など公衆衛生の回復が遅れ、劣悪な衛生環境の元で、多くの感染症や食中毒などの発生が懸念されている。そのような中で、災害派遣の医療救護班がすべて引き上げた時に、適切な医療が提供できるのか懸念される。今後とも、現地の継続的なモニタリングと、必要に応じて、再度、公衆衛生対策や医療支援など、人的支援が必要となることもあるのではないか。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

本県で言えば、保健師班と医療救護班が同じ地域にはいることがき、宿泊場所を同じ所に確保できることや交通手段（飛行機等）の確保の手間が減るなどの効果や、現地の状況を把握しやすいなどの効率的、効果的な支援ができるというメリットがある。

また、継続的に一つの地域を支援することで、現地の復旧状況が明確になり、医療、保健など多面的に現地の置かれている課題を把握することができた。さらに、現地のスタッフとの信頼関係も形成されたことから、もし何かあれば、直ぐにでも対応をするという気持ちが、関係者に関わったものに根付いている。

回答自治体名：和歌山県（こころのケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：和歌山県（こころのケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県下閉伊郡山田町
- 3 支援した期間：3月20日～7月31日（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

こころのケアで被災地に入ったが、他の自治体から派遣されている保健チームや医療チームとの連携が比較的スムーズに行われたことは評価出来る一方で、本県のチームの引き継ぎが十分に出来たとは言い難い。出来れば、現地で1日行動を共にしながらの引き継ぎが理想的と思える。

（活動環境に関すること）

現地の情報が入りにくくやむを得ない状況ではあったが、食料や防寒用品等大量の物資を持ち込んだところ、結果的に多くを余らせてしまった。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月27日～5月1日

（課題）津波等による医療システムの壊滅により、投薬を請けられない患者への与薬が中心的で PTSD へのこころのケアの段階としては、やや早い時期の支援であったが、ASD、ASR への対応について一定の成果があったと言える。

- 6 被災地の中長期的な課題

被災後、3ヶ月が過ぎ、徐々に仮設住宅への入居が行われているが、その一方で避難所に残された人たちに PTSD 症状が目立ち始める時期である。また、仮設住宅においても閉鎖空間での孤独からうつ病やアルコール依存症の問題が出てくることも予測され、今後さらにこころのケアが必要となる。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

パートナー制は理想的ではあるが、支援する自治体のマンパワーの問題がある。大きな自治体では可能であるが、本県のような自治体職員の少ない県が一つの市町村を長期的に支援することは、困難である。複数の支援自治体を限定し、一つの市町村を長期的に支援せざるを得ないと思う。

回答自治体名：和歌山県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：和歌山県（医療救護班）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県下閉伊郡山田町
- 3 支援した期間：3月20日～7月31日（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
県内災害拠点病院の協力のもと、和歌山県チームとして継続した医療救護班の派遣体制を確立したことで、効率的に医療支援活動を実施することができた。
 - （活動環境に関すること）
医療救護班の活動報告を県立医大のサーバーに置き、支援病院間で情報を共有できるようにした。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：平成23年3月～6月
 - （課題）支援を受ける側からの情報発信が少なかった。
＜ガソリン給油、通信、道路、宿泊先等、ライフラインの状況＞
現地における医療ニーズ全体を把握し、多数の医療救護班を調整できる体制づくりが必要である。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 急性期医療支援体制については、DMAT派遣など一定の体制整備がなされているが、今回のような甚大な災害時に必要となる中長期的な医療支援体制についてはまだまだ未整備である。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 効果的に機能したと考えている。

回答自治体名：和歌山県（公衆衛生チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：和歌山県（公衆衛生チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県下閉伊郡山田町
- 3 支援した期間：3月20日～7月31日（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

医師、保健師、薬剤師、事務職計5名がチームとして一体的に健康支援を行うことができ、うまくいったが、派遣時期とチームの役割分担はできるだけ事前に検討・調整する必要がある。当初は支援先の状況の情報が不足しており、持参物資や医薬品のニーズが掴めなかった。過栄養傾向にあったため栄養士による支援の必要性を感じた。

（活動環境に関すること）

移動手段として公用車を持っていったため活動がし易かった

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：4月7日～4月30日

（課題）

保健師が不在または支援が非常に手薄であった。

地域のニーズの把握や調整機能が十分機能していなかった。

避難所の環境等に格差があり、とくに障害者の方々の環境が劣悪であった。

複数の機関が支援に入るなかで個人の健康台帳が不備で投薬内容等が不明であった。情報を共有できるシステムの構築が必要。

被災職員の健康管理、睡眠・休養のとれる環境整備が必要。

救援物資に偏りがあり、仕分ける人が不足していた。また救援物資がありすぎて過栄養傾向や偏りがあった。

生活習慣病の管理が不十分であった。

- 6 被災地の中長期的な課題

住居の確保、就労の確保

コミュニティの再編

原発事故に伴う長期的な健康管理システムの確立

市町村の行政機能の回復

被災者のニーズにあったきめ細やかな支援

長期的な人的支援

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

一つの自治体ではその自治体の体力に差があり、長期的支援は困難。

関西広域連合による支援自治体の振り分けは効果的であった。

回答自治体名：和歌山県（保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：和歌山県（保健師チーム）

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県下閉伊郡山田町

3 支援した期間：3月16日～7月31日（予定）

支援内容：保健師を派遣し、避難所や仮設住宅の住民の健康管理を実施

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- 被災地のライフライン等が整わない初期の段階は、事務職とペアで派遣を実施。事務職は活動の調整やガソリンの確保等、保健師業務の支援また避難所の運営支援等に関わり、効果的な被災地への支援に繋がったと考える。

（活動環境に関すること）

- 支援開始当初は、通信がスムーズに出来ず、衛星電話を持って行ったが、つながる場所が限定しており活用に困難をきたした。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月16日～7月31日（予定）

（課題）※支援期間が長期になると課題も変化する

～1カ月＜避難所の課題＞

医療の必要な人が多い（体調不良者、薬がない）

医療チームの必要性

感染症の発生（インフルエンザ、ノロウイルス）

流水の必要性

土足での生活

衛生上、土足禁止が重要

情報の交錯

情報の一元化が必要

1～3カ月＜避難所の課題＞

避難所生活の長期化によるストレス、食事の偏り、運動不足

蚊、ハエの発生 熱中症 食中毒

避難所の環境改善、仮設住宅の早期設置が必要

3カ月～＜仮設住宅の課題＞

馴れない生活環境 孤独（家族の喪失）

仮設住宅入居者の健康調査、メンタルケアの必要性

6 被災地の中長期的な課題

仮設住宅の早期設置

仮設住宅入居者の健康管理、自治会機能の回復

被災による要支援者の増加（介護、メンタルケア等）

通常業務の再開 → 職員の業務量増加

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

被災自治体の状況及び変化が詳細に把握でき、また、被災地の職員との人間関係も円滑になることから、効果的な支援につながると考える。

しかし、被災自治体の復興が遅れると、支援が長期化し支援自治体の負担が大きくなると思われる。

回答自治体名：鳥取県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：鳥取県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：3月12日～
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - (活動内容に関すること)
保健師の交代派遣にあたり、一つの避難所を継続して担当し、引継ぎを行って継続的なケアができた点は良かったと考えている。
 - (活動環境に関すること)
救援活動、支援物資の配布、ボランティアの受け入れなどのため、情報収集・整理、移動方法・経路の確保などが課題になると考えます。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - (支援時期)：特に初期段階
 - (課題) 通信手段及び燃料の確保。医療救護班と保健師班の連携。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - 被災自治体職員の負担軽減（自治体機能の維持）
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 迅速に統制のとれた支援が行える

回答自治体名：島根県（医師）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：島根県（医師）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県七ヶ浜町
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 21 日～5 月 2 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

県内病院の協力のもと、島根県医療救護班として 14 班でローテーションを組むことができ、中断のない継続的な活動を実施できた。ただ、震災直後は情報収集が極めて困難であったことから、いかに迅速に正確な情報を収集するかは今後の課題である。

（活動環境に関すること）

時間の経過に伴い避難所の集約化が段階的に実施されるので、それにスムーズに対応するための準備・工夫が必要である。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成 23 年 3 月 21 日～5 月 2 日

（課題）

震災直後、正確な情報収集・迅速な対応をいかに行うかが課題であった。派遣後は、医療資器材や食料品に不足が出ないようにこまめにチェックを行う必要があった。また、一班当たり 3 泊 4 日で 14 班がローテーションを組んで活動したことから、一貫した診療内容の実現が課題であった。

- 6 被災地の中長期的な課題

被災地における医療体制の回復には時間がかかるので、被災直後とは異なるスタイル（例えば震災直後に対応した体制と比較して小規模の体制であっても 1 週間程度の短期ではなく 1 月程度の期間で同じドクターがフォローする等）で中長期的なフォローをいかに実施していくかが課題である。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

当面は、一貫した診療の実現に寄与することから、支援自治体が可能な範囲でパートナー制が実施されることは望ましいものとする。

将来的には、広域的視点で支援チームの最適配置を目指す仕組づくりが求められる。

回答自治体名：島根県（心のケア）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：島根県（心のケア）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県登米市（宮城県警職員を対象）
- 3 支援した期間：6 / 22～24
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

警察官の方においては支援者個々の支援業務への義務感、使命感が強いため、業務上のストレス、困難についても個人がそれを問題として取り上げにくい傾向があるように感じました。その中で、一般的な研修として「惨事ストレス」についての知識と対処方法を知る機会を作れたことは、今後の中期的、長期的な支援業務に関わる上でプラスになるのではと考えます。自分の感じる困難さが、個人の問題ではなく、災害による惨事ストレスによって引き起こされる正常で一般的な反応であると受け止め、それを全体で共有することで、適切な対処、対応に繋がりがやすくなるのではと思います。

（活動環境に関すること）

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：

（課題）

- 6 被災地の中長期的な課題

今回の活動は内陸の警察署での講話、個別面談でしたが、災害直後の応援業務や異動前の被災地勤務などで被災地業務を経験しておられる方も多いようでした。そのような方の中で、現在も続いている捜索活動などの被災地業務と、内陸の正常に近い業務とのギャップに戸惑い、罪悪感を感じている方がおられました。警察のような被害格差の大きな広い地域を包括的に支援する組織では、担当所轄による割り振りだけでなく全体的な支援体制を整えることができるかということが中長期的な課題となるのではないかと感じました。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

被災自治体が支援の中心となることは良いと思いますが、警察のような複数自治体に関わる組織においては、被災地自治体の警察署が長期的にその自治体を支援するという形は負担、業務格差が大きすぎて弊害が多くなるのではないかと感じます。今後、宮城県内においても地域による復興格差は広がっていくと思いますが、被災地域が現実的な復興状況においても精神的にも孤立しないために、完全なパートナー制で考えるよりも包括的な枠組みで支援体制を考えていくことが長期的には望ましいと考えます。

回答自治体名：島根県（保健師）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：島根県（保健師）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：4ヶ月
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

○被災地の状況がどうなっているのか、総合的に把握しにくかったが、市役所、支所、応援チーム等の合同ミーティングにより、改善された。

（活動環境に関すること）

○被災地の要請に臨機応変に対応するためには、自動車と事務担当者が必要。パソコン、印刷機等ネット環境の整備を行い、派遣元との活動情報の共有や事務の効率化を図ることが必要。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）

○震災後1～2ヶ月後

（課題）

○市の全体的な支援体制がわかりにくかった。

○疲労感、余震への不安、今後の生活の立て直し等、精神的なストレスの増大、不眠等の増加、ガレキによる粉塵により、呼吸器、目の症状を訴える人が多くなっている。高齢者・障害者等震災前から問題をかかえた方の問題悪化。

○各種の情報伝達が不十分。

- 6 被災地の中長期的な課題

○中期的な計画がわからず（被災地の自治体レベルで計画がたてられない）、いつまで、支援すべきか、判断が難しい

○支援の依頼が縦割りで、同じ県でも支援地や時期がバラバラである。

特に中長期の支援になるほど、同じ自治体が総合的に、同一の被災地を支援する方が合理的かつ効果的である。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

○支援地域は、継続している方が良い。支援する側は、支援地域が変わる前後は、前の支援地での機材等片づけ、新たな支援地への機材移動、新たな支援地の状況把握、宿泊（被災地では簡単に確保できない）変更等、多大な労力がある。

回答自治体名：岡山県精神科医療センター（心のケア）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：岡山県精神科医療センター
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県南三陸町
- 3 支援した期間：平成23年3月中旬～現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関する点）

- ・地区毎の定期巡回化、スクリーニング。
- ・支援チームの統制→各チームの役割分担。

（活動環境に関する点）

- ・インターネット上に精神科医療チームの活動報告サイトを立ち上げたことにより、他チームとの情報の共有化が出来た。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月中旬

（課題）

- ・被災者のメンタルへの支援、スクリーニング。
- ・連絡手段の確保が極めて困難であった。民間企業の努力による方法しかなく、国、県レベルで通信手段を確保すべきである。
- ・現地での対応について、県からのコーディネイトがなく現場任せになっており、現地での準備や調整に大変苦労した。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・被災前のかかりつけ医療機関に戻ってもらうこと。
- ・地元で活用可能な人的資源を中心に継続性のあるフォローへの移行。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・岡山県こころのケアチームと南三陸町とは、パートナー制を選択したが、身体疾患の救急医療とは異なり、慢性疾患や精神疾患の医療は、患者との信頼関係が予後に大きく影響するため、パートナー制が有効であった。

回答自治体名：岡山県（保健福祉部医療推進課） … 医療救護班の派遣

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：岡山県（保健福祉部医療推進課） … 医療救護班の派遣

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県大船渡市大船渡地区

3 支援した期間：平成23年3月24日～4月30日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・医療チームの存在そのものが、避難民等に大きな安心感を与えた。
- ・チーム編成・派遣に各医療機関が協力的で、派遣ノウハウが出来た。

（活動環境に関すること）

- ・岡山県が派遣した保健師チームが同じ地域で支援を行っており、連携することが出来た。
- ・レンタカーを岡山から搬送し現地移動手段を確保できた一方、現地までの航空機便確保に苦労した。
- ・派遣元（県・医療機関）と現地チーム間の通信手段の確保が課題。
- ・医療チームの損害賠償保険加入に当たり、災害特約適用を制限する保険会社が多かった。（派遣先決定にも影響を与える課題。）

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年3月24日～4月30日

（課題）

- ・現地医療状況の急激な変化に地元自治体が対応しきれず、各地から入ってきている支援チームの活動調整に手間取っていた。

6 被災地の中長期的な課題

- ・医療チームによる無料診療と、地元医療機関による有償診療との調整。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・支援先の決定・調整を迅速に行えるとともに、効率的かつ継続的な支援が可能と思われる。

回答自治体名：岡山県（保健師）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：岡山県（保健師）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県大船渡市
- 3 支援した期間：H23.3.18～（継続中）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・担当避難所へ継続支援することにより、支援を行う側と受ける側の信頼関係を築くことができた。
- ・関係者との日々のミーティングにより、保健師チーム以外の情報を共有し、連携した支援が可能になるとともに、自らの活動の評価等にもつながった。

（活動環境に関すること）

- ・約50km離れた場所に宿泊しており、現地への移動時間がかかるものの、支援活動との区別ができ、気持ちの切替えが可能であった。

- 5 被災地の支援当時の課題

< 3月～4月（避難所生活） >

- ・医療の確保、インフルエンザ等感染症対策、慢性疾患（高血圧、糖尿病等）の食事、生活不活発病予防、トイレの衛生等環境整備、ストレス、子どもの心の問題、口腔ケア

< 5月～（応急仮設住宅への移動開始） >

- ・慢性疾患の自己管理、避難所でのアルコール問題、長期化した避難所生活や格差によるストレス・将来への不安、気温の上昇に伴う食品の管理、熱中症予防等、応急仮設住宅のバリアフリー、ハエの進入等衛生面での環境整備

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・応急仮設住宅での個別支援や共助の体制づくり、応急仮設住宅だけでなく地域との融合を図るなど新たなコミュニティづくり
- ・被災者が、様々な喪失感や生活不安感、PTSDをかかえながらも人生の再建に向けて歩むことができるための支援

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・担当避難所へ継続支援することにより、支援を行う側と受ける側の信頼関係を築くことができるとともに、派遣チーム間の引継ぎもスムーズに行うことが可能

回答自治体名：岡山市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：岡山市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：多賀城市
- 3 支援した期間：平成23年3月20日から8月29日（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・ 避難所や訪問ですぐ使える物や様式の情報提供ができたこと
 - ・ 他自治体と連携しての支援ができたこと
 - ・ 専門職の有効な活用について（事務職との役割分担等）
 - ・ 派遣先に意見が言えるパイプ作りが必要
 - （活動環境に関すること）
 - ・ チームでの派遣対応ができたこと
 - ・ 同一ホテルの確保とレンタカーの確保ができたこと
 - ・ 国のとりまとめがあり、他自治体の活動状況を知ることができる
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：3月20日頃
 - （課題）
 - ・ 情報が錯綜し、現場の意見を吸い上げるシステムになってない
 - ・ 現場では、全体の方向性や方針が見えにくい
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・ 目の前のことに追われ、長期を見据えた計画が立てにくい
 - ・ 暮らしと地域コミュニティの再建
 - ・ 長期的ところのケア体制の確保
 - ・ 安全で衛生的な環境の保持
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・ 関係性を保つことができる
 - ・ 長期的視点に立った方向性を一緒に検討することができる

回答自治体名：広島県（HICARE:放射線被曝者医療国際協力推進協議会）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：広島県（HICARE:放射線被曝者医療国際協力推進協議会）

2 最も多くの支援を行った地域名：福島県県中保健所管内

3 支援した期間：平成23年3月16日～21日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・福島第一原子力発電所事故による避難者に対するスクリーニング検査を、福島県県中保健所と合同で円滑に実施することができた

今後工夫が必要な点

- ・測定器や要員が十分でない中で多くの住民を検査する場合は、汚染が疑われる者を優先的に検査する必要がある
- ・測定者と検査結果の説明者を分けることで、検査の効率化と検査結果の丁寧な説明が可能となる
- ・スクリーニング検査等を実施する者は、定期的な訓練を実施する必要がある

（活動環境に関すること）

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年3月16日～21日

（課題）

- ・県中保健所の公用車のガソリンの確保
- ・スクリーニング検査の証明書の発行については、厚生労働省の事務連絡通知では健康相談の主旨にそぐわず、望ましくないとされているが、実際には、福島第一原子力発電所事故による避難者は、移動（接触）先で証明書を求める場合があるとのことであった。
- ・測定値が除染基準に達していないものの、バックグラウンドより高かった場合、入浴やシャワー、着替が有効であるが、直ぐには対処できないという場合もあった。

6 被災地の中長期的な課題

- ・福島第一原子力発電所事故の被災者については、避難の長期化が想定されること等により、精神面のケア等様々な課題があると思われた。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：広島県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：広島県（医療救護班）

2 最も多くの支援を行った地域名：福島県郡山市

3 支援した期間：H23.3.23～H23.7.1（予定）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ チームを組み、積極的にラウンドや声かけするシステムを構築することで、避難者に安心感を与えるとともに体調管理に配慮できた。
- ・ 1班あたり1週間と、比較的長期の支援により、ある程度避難者の状況把握もできたと思われる。

（活動環境に関すること）

- ・ 特に避難所設置当初においては、現地自治体でも避難者の状況や支援自治体の構成が把握できておらず、避難所ごとの規模や状況ならではのニーズに応えた活動が困難であった。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：H23.6月～

（課題）活動を実施している日中の不在者が多かったり、仮設住宅への避難者が増える中で、効果的な活動方法がとり難かった。

6 被災地の中長期的な課題

- ・ 仮設住宅入居後の心のケア、疾病等の未然防止、リハビリケア等を行う体制を確保すること。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 災害の規模、支援自治体の負担の程度（地理的状況や医療従事者の人数等）、全国規模のフォロー環境等を総合的に勘案して判断すべき。

回答自治体名：広島県（避難所運営支援）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：広島県（避難所運営支援）
- 2 最も多くの支援を行った地域名： 宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間： 23.3.29～23.6.28
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - (活動内容に関すること)
 - ・避難所の環境が変化する中で、広島県の支援チームとして、業務実施内容の継続性の確保が重要
 - ・業務引継ぎ方法や派遣期間等、より効率的な支援形態の検討が必要。
 - (活動環境に関すること)
 - ・今回の活動を通じ、効率的な情報管理のシステム化が必要
- 5 被災地の支援当時の課題
 - (支援時期)：
 - (課題)
 - ・物資の滞留（物資集積所の管理運営体制の構築）
 - ・被災者個人への情報伝達手法の確立
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・完全な自主運営への移行の難しさ（リーダー不在，広域災害）
 - ・仮設住宅移転過渡期の避難所運営
 - ・継続的なボランティア活動のしくみづくり
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・現地の要望に対して、迅速な判断・対応が可能
 - ・一つの被災基礎自治体（市町）の全ての分野の支援を、一つの広域自治体（県及びその県内市町）が行う体制を構築すれば、業務間の連携ができて、効率的・組織的な支援が可能となる。

回答自治体名：広島県（保健師派遣）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：広島県（保健師派遣）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間：3/21～8/29（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・各種支援チーム（ボランティア含む）の役割分担及び受入調整
 - （活動環境に関すること）
 - ・支援物資の配分調整，在庫管理
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：災害発生11日目
 - （課題）
 - ・避難所運営体制の整備
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・被災地職員の健康管理
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・被災自治体からの依頼のし易さ，支援自治体の責任分担の観点からは，迅速かつ適切な判断が可能となるのではないか。
 - ・一方で，支援自治体の状況によっては，被災自治体からの要請内容に十分応えられない状況も想定されることから，この辺りのバックアップ体制をどうするかについて課題があるのではないか。

回答自治体名：広島市①

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：広島市①

2 最も多くの支援を行った地域名：福島県会津地域

3 支援した期間：4月5日～6月20日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

現地スタッフ間のミーティングにより医療チーム、こころのケアチームのスケジュールが把握できたため、スタッフ間の連携がとりやすかった。

(活動環境に関すること)

保健師等の他に運転や記録業務を主に担当するサポート要員をチームに加えたことにより、保健師が本来業務に専念することができた。

また、活動用の車を確保したことは、数か所の避難所を巡回する際に役立ち、携帯電話とパソコンを準備したことは、現地と派遣元事務局とのタイムリーな情報の共有に役立った。

今後工夫が必要な点として、今回のような大規模災害の場合、できるだけすみやかに派遣を開始する必要があるため、日頃から災害に備えた体制づくりや研修会等を実施しておく必要がある。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：震災3週目～

(課題)

避難所及び宿泊施設での活動であったが、避難所ではプライバシーの確保に工夫が必要であり、個々の健康課題への対応に加え、エコノミー症候群等の予防や季節の変化に伴う感染症予防対策といった集団への対応が課題であった。一方宿泊施設では個室へ閉じこもりがちな被災者の状況把握が課題であった。

6 被災地の中長期的な課題

今後、被災者は避難所や宿泊施設から仮設住宅へ移ることになるため、一人暮らしの方の孤立化予防の支援や、コミュニティの確立に向けた支援が課題である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

1つの被災自治体を継続的に担当することにより、被災者や地域の状況把握が容易となり、支援計画が立てやすい。また、被災者や被災自治体職員とのコミュニケーションが図りやすいため、結果的に質の高い支援が可能となる。

回答自治体名：広島市②

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：広島市②

2 最も多くの支援を行った地域名：福島県郡山市

3 支援した期間： 3月25日～ 3月31日
4月29日～ 5月 5日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関する点)

地元保健所の指示どおりに実施し、特にトラブルはなかった。

【支援時期：4月29日～ 5月 5日】

(活動環境に関する点)

インフラは整備されており、問題なかった。

【支援時期：4月29日～ 5月 5日】

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：4月29日～ 5月 5日

5月初旬に派遣されたので、避難住民、殊に高齢者、慢性疾患患者への対応が重要と考えた。

(課題)

派遣された避難施設では、各地から送られた薬剤、毛布、食料が未使用のまま山積されており、それらの適切な分配が必要と感じた。

6 被災地の中長期的な課題

医療面からは、精神的ケアが重要だと感じた。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

一長一短があり、何より地元のニーズに合致した支援が必要と考える。

回答自治体名：山口県（DMAT）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

【DMAT（県立総合医療センター、山口大学医学部附属病院、社会保険徳山中央病院、国立病院機構関門医療センター）】

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：山口県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県（いわて花巻空港内設置SCU）
- 3 支援した期間：H23年3月12日～3月15日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

○厚生労働省経由の被災県からのDMAT（災害派遣医療チーム）の要請に迅速に対応した。要請の翌日には県から派遣したDMAT 4チームが急性期に医療活動を行った。

（活動環境に関すること）

○特になし。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月12日から15日（発災日から3日間の災害急性期）

（課題）

○当初、地震による傷病者はあまり見られず、津波により水を大量に飲んでいる傷病者が多かったと聞いている。災害種別毎に予め携行する資機材を選択する必要がある。

○通信網の遮断により固定電話や携帯電話などの通信機器が使えなかった。災害時に有効な衛星携帯電話の携行が必要である。

6 被災地の中長期的な課題

超急性期から急性期、亜急性期・慢性期への切れ目のない医療支援が必要である。（DMAT、医師会、地元医療機関との連携、受け継ぎ体制の確保）

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

特になし。

回答自治体名：山口県（心のケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について（回答）
【心のケアチーム（県立こころの医療センター）】

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：山口県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石市
- 3 支援した期間：H23年3月22日～6月19日(断続的に実施)

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- 岩手県では、こころのケアについての受入システムやマニュアルが既にできており公開されていたので、活動方法について理解しやすかった。
- 早い時期からネット上で情報が随時公開、更新されていたことから、現地の状況がつかみやすかった。（避難所の場所と人数、稼働中の医療機関などの情報）
- 現地では、継続的な支援が必要とされているので、県立こころの医療センターケアチームが山口大学医学部附属病院チームと交替で活動できたことで、継続的、効果的な支援ができた。

（活動環境に関すること）

- 現地機関に負担をかけたり、依存することが前提でなければ活動できないようでは、現地では活動できない。よって、困難な活動環境でも活動できる体制で現地に赴くことが必要である。（事前の準備と情報収集）

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月22日～

（課題）

被災直後（被災から1ヶ月以内）は、救助や救急救命が最優先されることから、こころのケアチームの派遣時期については、早すぎても動けない状況がある。

6 被災地の中長期的な課題

支援規模については、縮小する方向で妥当と思われるが、仮設住宅等に移った後も、経済的、社会的な基盤が崩壊する大規模災害では、引き続いて支援が必要である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

受入側と派遣側の共通理解のもとに支援を行う必要があることから、受入側における対応マニュアルの整備が必要と考える。

回答自治体名：山口県（被災者の健康相談等）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について
【被災者の健康相談等（県保健師等）】

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 山口県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：東松島市
- 3 支援した期間：H23年3月18日～4月24日 仙台市
H23年4月17日～5月19日 会津保健福祉事務所管内
H23年4月21日～8月3日（予定）東松島市

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- 過去の震災等の災害派遣による課題（派遣チームの人員や職種、必要物品等）を生かした、派遣体制が整えられた。
- 現地での情報収集を先行班の任務のひとつとして位置付け、取得した情報を基に、後発班に綿密な事前説明を実施したことにより、現地での自立した活動が可能となった。
- 派遣当初、派遣職員6人に対し車両4台を投入。機動力を活かし、広域の訪問活動や、現地情報収集、迅速な物資調達を行った。
- 支援自治体となる場合に備えては、どのような災害に対しても、即時に被災地支援に執務できるよう、年度ごとに緊急対応できる職員のリストの作成が必須と考える。
- 併せて、災害発生以後の物資不足も鑑み、迅速な支援のため災害支援助対応物品及び管理場所を確保し、緊急対応できるようしておくことが必要。
- 現地状況は常に変化していることから、チームの引継情報だけでなく、市役所等から自ら情報収集することが重要。

（活動環境に関すること）

- 今回、派遣職員の被災地での宿泊場所を確保ができたことが、派遣職員の心身面の疲労回避や業務時間の確保等、支援に際し効果が大きかった。
- 派遣者の拠点となる宿泊場所の確保は不可欠であるが、7月初旬現在、被災者の（仮）入居や、復旧作業員・ボランティアの長期宿泊などにより確保が困難となっており、毎日1時間以上かけて被災地に通う支援自治体もあると聞いている。急性期が経過した後にも継続して支援を行う場合、「可能であれば」受援自治体に拠点確保を考慮していただけるとありがたい。（避難者が仮設住宅に移った後の宿泊研修施設の利用等。）
- チームと災害対策本部との連携が必要。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：3月18日～

(課題)

- 受援市に、派遣者への市の支援体制全体像の説明、業務の位置づけの説明、業務振り分け調整といった支援受入調整機能が欠如し、またそれを補うべき県(保健所)の援助も見られなかった。
- 発災後3ヶ月たっても避難所に移れないなど災害対応が遅れており、本来であればこの時期に行われるべき地域保健活動支援ができない。(住民への保健指導・健康相談や、医療福祉へのつなぎなど住民のための直接の支援が十分行われず、健康調査ばかりが行われている。)
- 地域情報や保健活動に必要な最低限の支援メニュー等の情報提供が派遣者になされず、また、複数の自治体・団体等から支援チームが派遣されてきているのかかわらず、合同ミーティングもなく、情報共有と検討事項の協議もできないため、支援業務が困難であった。
- 保健師等有資格者を派遣しているにもかかわらず、支援業務は資格を有効に活かすものとはいえず、資格と業務のミスマッチが起こっている。
(ある団体が助産師を派遣したが、妊産婦相談等の業務はなく、調査業務を行っているような例。)そもそも国縣市等誰がどのような調整を行い、その市に派遣され資格に合わない業務を任されることになったのかが把握できない状況。
- 人と人とのコミュニケーションを円滑に行う仕組みが重要。(チームは交替するが、コーディネーターするスタッフは長期間の滞在が必要。)

6 被災地の中長期的な課題

- 市としての保健福祉体制の復興の方向性がみえない。(発災前の平常業務体制への回復工程等)
- 仮設住宅の対応が遅れているため、避難所生活の長期化及び自宅待機による健康問題の表出(心のケア、栄養バランス問題等)や対応の遅れが生じるおそれがある。
- 避難所に行かず、半壊状態の自宅で生活している住民への行政情報提供サービスの不備による対応の遅れ等。
- 梅雨、夏に向けての健康課題対策必要。(熱中症、食中毒、蚊、ハエ等の害虫対策など。)
- 日常生活へのシフトを支援すること。
- 住民の多くが家に帰れないため仮設住宅の整備が急務、家が決まらないと仕事が決まらない。

7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

- 今回のような、広域被害の場合、パートナー制による支援の方が、継続性のある一貫した支援ができ効果的と考える。
- 派遣行程等の事務処理も軽減できると考える。
- このような場合は、支援自治体が被災県に拠点を確保し、被災県と一本の窓口で支援分野に応じた調整が可能となることから効率的である。
- ただし、一定の期間が経過したのち、例えば1県のみ支援を受ける必要が残った場合など、当該県の支援パートナーとなっている一部の支援自治体のみに負担が継続しないような工夫が必要である。

回答自治体名：徳島県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：徳島県（医療救護班）

2 最も多くの支援を行った地域名：石巻市

3 支援した期間：H23. 5. 18～H23. 6. 2

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・医療救護班については、県・大学・県医師会による連携・協力体制の構築が図れたことにより、安定的かつ継続的な支援ができたものと考えている。

（活動環境に関すること）

- ・宮城県庁内に「現地連絡事務所」を設置し、情報収集をはじめ、関係機関との連絡調整、さらには薬剤・資機材等の調達など、派遣チームの後方支援を行うことにより、円滑な医療救護活動が展開できた。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：発災直後

（課題）・医薬品、医療資機材等の確保 ・ガソリンの確保

- ・通信手段の確保（携帯電話がつかない）・宿泊先の確保
- ・徳島～宮城県への移動手段の確保（当初は陸路、途中から空路）

6 被災地の中長期的な課題

- ・本県が支援した石巻市は、石巻赤十字病院の医師が「県災害医療コーディネーター」として、管内の医療支援全体を統括する仕組みができていた。今回は宮城県及び石巻市の医療コーディネーターの指示により医療救護班の派遣は休止となったが、地元の自立に向けての過渡期の支援のあり方が難しい。今後、本県が被災した場合を想定し、災害時の医療を統括・調整するコーディネーターの育成・配置を検討する必要がある

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

関西広域連合において、カウンターパート方式（地域担当性）が導入され、支援先が速やかに決定したことから、迅速かつ集中的な医療支援が実施できた。

回答自治体名：徳島県（心のケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：徳島県（心のケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県仙台市
- 3 支援した期間：平成23年3月17日～平成23年4月30日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・チームは、県・大学・県医師会との連携によりチーム編成が行われたことにより、安定的な支援が可能となった。
- ・薬剤等については、徳島県から持参したため、不足などは生じなかった。

（活動環境に関すること）

- ・宿泊については、発災直後から活動したため、山形県を拠点としたことから、活動場所への移動に時間を要した。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成23年3月17日～4月30日

（課題）

- ・発災直後は、ガソリン等の物資の調達。
- ・仙台市の精神保健福祉センターが、派遣されたチームの活動を統括していたが、災害対策本部との間での情報伝達が不十分であったため、派遣チームの効率的な体制が組めなかった部分があった。また、合同ミーティングには、各チームが参加し、情報共有することが望ましいと思われる。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・今回の活動においては、本部との意思疎通の面で検証すべき部分が見受けられた。全体調整を行う部署間での情報交換が重要であり、これらの体制について検討する必要がある。
- ・この度は、国からの示唆もあり、発災直後から支援活動に従事したが、心のケアを実施すべきタイミング等について、適切であったのか等の検証必要であると思われる。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

今回の支援は、関西広域連合のカウンターパート方式により実施した。

パートナーとして支援先を定めることにより、お互いの顔がみえる関係との意識が醸成されることにより、円滑な支援に資するものと思われる。

回答自治体名：徳島県（保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：徳島県（保健師チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県気仙沼市
- 3 支援した期間：平成23年3月17日～現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

避難所等の避難者の状況確認及び状況に応じた支援の提供等について、他県からの支援を効率よくマッチングさせる人材が不足していたことにより、避難所ごとに支援が充実している箇所と支援が不足している箇所が生じていた

（活動環境に関すること）

最近、気温が上昇してきたことにより、ハエが大量発生し、衛生環境が良くない状態が続いている。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月17日～現在

（課題）

活動に使用した公用車の燃料不足、宿泊地の確保が困難であった。宿泊については、支援地からかなり離れた場所に確保せざるをえず、また、移動に要する燃料確保に事務職員が奔走する状態が続いた。

避難所によって支援物資の過不足があり、栄養面の問題が長期にわたり解決されていなかった。県と市、市の部門間での情報集約と情報に基づいた対応の取り方に課題が見られた。

- 6 被災地の中長期的な課題

被災状況をアセスメントし、必要な対応等を講じるとともに被災者に対する支援について、他県からの支援を効率的にマッチングするために平素から「災害時コーディネーター」を養成しておくことが必要と考えられる。

また、官民の関係者が「復旧に対する計画」について、十分に話し合い、共通の認識・ビジョンを持って行動することが重要である。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

被災県と支援する県との間の情報交換や連携が円滑かつ緊密に行われ、非非常に有意義であったと思う。

さらに、同一県でも種類の異なるチームが同一自治体を支援できれば、チーム間の連携が取りやすく効果的であると考えられる。

回答自治体名：徳島県（介護支援チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：徳島県（介護支援チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県本吉郡南三陸町
- 3 支援した期間：平成23年4月7日～6月21日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

町の地域包括支援センターの指示に基づいて活動を行ったので、現地で最も必要とされる支援が行われたと考えているが、被災により町と県との連絡調整機能が損なわれていたため、宮城県全体の災害復旧を効果的に行うための他の支援活動との連携ができていなかったと思う。

（活動環境に関すること）

派遣職員の安心・安全確保のため、宿泊場所や移動手段については、十分に留意し、作業環境についても、現地の関係者の協力が得られたため、活動環境は良かったと思う。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：4月7日～6月21日

（課題）

行政機能が損なわれ、組織的な対応ができていなかったため、県と町、また町内部においても、本部と現地で現状認識や意見が異なり、その調整に苦勞することがあった。

- 6 被災地の中長期的な課題

効果的な復旧活動を行うためには、官民の関係者が「復旧に対する計画」について、十分に話し合い、共通の認識・ビジョンを持って行動することが重要である。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

被災県と支援する県との間の情報交換や連携が円滑かつ緊密に行われ、非非常に有意義であったと思う。

回答自治体名：香川県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：香川県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県南三陸町
- 3 支援した期間：3月17日～継続中（保健師派遣チーム）
3月17日～4月30日（医療救護班）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・医療、保健関係のミーティングが毎日定例で行われ、情報共有ができていたこと、他県・市のチームと支援について情報交換の機会がもてたこと
 - ・活動期間が2日間と短く、十分な支援ができなかった。（救護班）
 - （活動環境に関すること）
 - ・担当地区が変わらなかったこと
 - ・今後支援体制が先細りする中で、担当市町が変わることへの懸念
 - ・作業（記録など）やミーティングスペースの確保（電源、机、椅子など）
 - ・衛星携帯が使えないなど、通信環境に不備があった。
 - ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）の活用が、有効であった。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：3月中旬～6月頃
 - （課題）
 - ・被災自治体の行政機能が失われており、現場が混乱していた。地域状況のわかる宮城県職員（常駐）をコーディネーター役として早期設置が必要。
 - ・各種調査結果と課題の共有、保健事業の実施計画策定（方向性を示す）
 - ・給油ができず、活動制限があった。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・震災被害対応と通常の行政サービスに対する支援のバランス
 - ・仮設住宅における新たなコミュニティの形成
 - ・災害時の医療に精通した者が、全体の統括者として、情報の分析や方針の決定を行うべきである。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・被災地は、長期的、安定的な人的支援を必要としており、被災自治体だけでなく支援する側にとっても、パートナー制による支援は有効であると考えている。
 - ・情報伝達が容易になり、状況に応じた支援が可能になる。

回答自治体名：愛媛県（保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 愛媛県
- 2 最も多くの支援を行った地域名： 岩手県釜石保健所管内（釜石市）
- 3 支援した期間： 3月18日～8月末（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

①うまくいった点

- ・今回の支援地域においては、地区（避難所）を限定して担当したため、派遣班が交代しても継続した係わりができた。
- ・担当地区が広範囲であったため、独自の機動力（車）を持つことで効率的な活動ができた。
- ・前回の災害派遣の際から、前後に県名を大きく入れたオレンジのベストを着用したことで、避難所での活動中も、派遣班が交代しても愛媛県の保健師として認識してもらいやすかった。（在宅の訪問についても受け入れてもらいやすかった。）
- ・引継ぎ日を確保し、各避難所や訪問先に同行したことで、現地のスタッフへも顔つなぎができ、次の班の活動もスムーズに行うことができた。

②今後の工夫

- ・機動力（車）の確保は重要だが、遠隔地に公用車を長期間派遣することによって本来業務に支障をきたしたことから、現地でのレンタカー利用等に切り替えることとなり、予算の確保が必要となった。

③その他

- ・今回の派遣先は、キーステーションとなる保健所のスタッフが少ないため、地域全体の情報集約が追いつかないなど、支援者への情報提供等が困難な状況であった。

また、支援チームも担当地域以外の状況がわからないことから、本庁への情報が乏しく、派遣計画を立てる際に見通しが立てにくかった。

支援者も活動に対しての不全感が残っていた。

もっとキーステーションを支援する体制を整えていくことが必要であると感じた。

（活動環境に関すること）

- ・支援者の被災地での支援ストレス等健康管理が保持できることが長期にわたる継続支援のコツであり、そのためにもより良い活動環境が必要である。
- ・過去2回の派遣の経験から、現地での活動日数を7日程度に決め、宿泊地を確保することを検討した。今回は、派遣地周辺には宿泊地を取れなかったため、現地まで1時間のところに宿泊地を決めたが、支援者からは、現地から離れることで時間の区切りがついたとの感想があった。

【参考】愛媛県の派遣チーム編成

保健師（4名県2、市町2）運転手1名、事務1名の6人体制

派遣日数・・・8泊9日

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：被災後1週間

(課題)

- ・現地保健所担当者が2名で調整と実働を兼ねていたため、避難所や地域内の情報集約が追いつかず、支援チームへの情報発信や提供ができない状況であった。

6 被災地の中長期的な課題

- ・支援は、被災地の現状に合わせて変化していくため、避難所対応だけでなく地域全体を見る存在が必要であるが、現地のスタッフも少なく、担当する保健師等も疲弊していたため、全体をコーディネートするスタッフが必要であると感じた。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

回答自治体名：高知県（医療）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：高知県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県南三陸町
- 3 支援した期間：3月11日から5月末
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - ・ 支援に派遣したチームからの情報収集が有効
 - ・ 他機関等からの支援と連携した派遣（情報共有等）が有効
 - ・ 長期的な支援が行えるように支援のライン化を当初から計画すべきだった
 - （活動環境に関すること）
 - ・ 派遣チームは自己完結能力が必須
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：3月11日から5月末まで
 - （課題）受け入れ態勢の構築
 - ・ 被災県において医療ニーズが把握できていないことから、どの地域でどのような支援が必要か明確でないため、支援される医療資源の配置に手間取っていた。
 - また、被災県において受け入れの調整に時間を必要とし、活動期間及び場所等の回答が遅れるため、支援に入るチームの日程調整が困難であった。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・ 医療ニーズの把握とアップデート
 - ・ 各種支援と医療ニーズのマッチング
 - ・ 情報伝達網の再構築
 - ・ 行政機能の復旧
 - ・ 避難所の運営
 - ・ 慢性期における医療（又は保健）提供（感染症等への対応、また予防指導）
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・ 平時における相互支援協定等の締結も有効と思われる。
 - ・ 活動に関する各種情報の引き継ぎ、また、日程調整も容易であるため効果的と思われる。
 - ・ 支援活動における課題について、長期的な支援を行うことで、活動期間ごとの課題把握ができることも利点と思われる。
 - ・ 被災自治体においても、長期間の支援が確保されることは、受け入れの調整業務の負担軽減にも繋がる。

回答自治体名：高知県（心のケア）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：高知県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県下閉伊郡山田町
- 3 支援した期間：平成 23 年 4 月 17 日～平成 23 年 8 月 12 日
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - （活動内容に関すること）
 - うまくいった点
 - ・大学病院との連携等民間病院の協力をいただくことにより、官民共同によりチーム編成ができた。
 - 工夫が必要な点
 - ・現地に派遣したスタッフの活動を統括する者の確保。
 - （活動環境に関すること）
 - うまくいった点
 - ・岩手県の作成したマニュアルに基づき必要な物品等を知ることができスムーズに活動環境を整えることができた。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：平成 23 年 4 月中下旬
 - （課題）
 - ・現地での医療・保健師・心のケア等各チームの活動を統括する者がなく、活動内容が重複・混乱した。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・仮設住宅への入居後の高齢者の独居・認知症の問題や、特に中高年男性を中心としたアルコール問題への対応。
 - ・相談診察拠点の整備。
 - ・現地の役場の保健師等スタッフの精神保健活動のレベルアップ。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - 特になし

回答自治体名：高知県（保健）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：高知県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県南三陸町
- 3 支援した期間：3月18日～ 派遣継続中
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・複数のチーム派遣の引継ぎ方法として、出発日をずらしたため、継続した現地活動が可能となった。
- ・現地では保健ミーティングを毎日開催することで、他県派遣チームと情報交換や連携を持ちながら効率的な活動が可能であった。
- ・事務職等も含めたチーム編成としたため、保健活動の多様なニーズに対応が可能となった。
- ・市町村保健師の協力が得られたため、複数のチーム編成が可能であった。

（活動環境に関すること）

- ・車を持参し事務職と共に活動したため、被災地での移動がスムーズに行えた。
- ・インターネットパソコンや衛生電話を持参したため、現地での情報収集や派遣元からの情報提供がスムーズに行えた。
- ・複数チーム派遣の際、宿泊場所の確保に困難をきたした。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）

震災直後

（課題）

- ・甚大な被害であり、通信網が全滅状態で宮城県庁も南三陸町の現状把握ができない中での現地派遣となった。
- ・当初は、医療チームと保健チームの調全体制が確立されていなかった。

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・甚大な被害であり、フェイズ2（避難所対策を中心とし仮設入居までの期間）が長いため、活動方針の見通しが難しい。
- ・被災地の保健活動の再構築（マンパワー、建物、物品等）
- ・被災地の健康二次被害への予防活動

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

短期間でチームが交代するのは、活動の継続性が担保されにくいことから、自治体からの長期派遣は理想の形。ただし、自治体も行革で派遣人員や財源にゆとりがないのが実情である。

回答自治体名：福岡県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：福岡県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：3月14日～現在（1チーム6泊7日→5／8から8泊9日、7月4日現在20チームを派遣）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

○派遣初期

- ・現地での移動手段（レンタカー）を確保したことで、派遣先自治体の求めに応じ、ニーズのより高い地域への支援ができた。
- ・保健師をはじめ、医師、薬剤師、管理栄養士、事務職等多職種のチーム編成を行い、健康管理のみならず服薬管理や医療チームとの効率的連携等、様々な避難所のニーズに対応できた。

○現在

- ・5月8日から、県内市町村保健師と合同でチーム編成して派遣し、幅広い支援ができています。また、被災地での支援を通じて県・市町村保健師の人材育成にも役立っている。

（活動環境に関すること）

○派遣初期

- ・広範囲に及んだ災害であり、宿泊先の確保と移動手段の確保に非常に苦慮した。現地における宿泊先やガソリン等の調整部署（ボランティアでも可）が必要と考える。それが困難な場合、寝泊まりができるキャンピングカー等の確保、普通車では移動困難な場所を移動できるジープ等の移動手段の確保が必要である。
- ・宿泊地・食料の手配、レンタカー手続き等派遣継続にかかる現地での事務処理が多いと予測されたため、後方支援者（事務職）を帯同させたことで、支援活動に保健師等が専任できた。
- ・被災地では通信手段が遮断されていた。被災地の情報や厚生労働省からの情報が届かなかつたり、派遣元に対し、次の派遣チームへの情報を提供することができなかつた。このことから、現地で情報収集や情報発信ができる拠点が必要である。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：3月14日～

（課題）

- ・ライフラインが断絶されたことにより、被災者の基本的な生活環境が失われ、通信手段断絶により被災者が情報過疎に陥った。
- ・津波被害が甚大で、行政機能も停滞しており、多数の避難所の状況把握も困難を極めていた。
- ・要支援者（医療、介護、子ども、障害者など）に必要な資源の絶対的不足

6 被災地の中長期的な課題

- ・被災者の住居の安定的な供給
- ・新たな生活環境でのコミュニティづくり
- ・失われた社会資源（医療、介護、福祉、交通、商店等）の復旧
- ・被災体験をきっかけとする精神的状況の悪化
- ・生活環境の激変による被災者の体調の悪化（運動不足によるエコノミークラス症候群や空気の悪化による呼吸器障害）
- ・人不足、医療資源不足により病気の予防・治療が十分に行われていないため、体調管理体制の再構築が必要である。
- ・住民の健康づくりに資する人材育成

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・福岡県では宮城県石巻市及び福島県郡山市において短期派遣を継続して行い、長期的な支援活動を行っている。
- ・短期派遣を長期的に行う場合、派遣者の確保や、宿泊や移動手段の手配・調整等事務費が膨大である。被災自治体の状況やこれまでの対策、支援内容をよく把握していることから、長期派遣するメリットがあると考えられる。
- ・しかし、長期派遣は派遣職員の負担が大きいこと、また派遣元においては、現状の業務と職員の配置数から日常業務に支障をきたすため難しいと考える。

回答自治体名：北九州市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：北九州市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県釜石市
- 3 支援した期間：3月14日（火）～8月28日（日） 予定
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

①うまくいった点

- ・初対面の避難住民への保健指導等を行うにあたり、第1班より『保健師が行う指導』について十分な説明がされており、その後の班による支援がスムーズに行えた。
- ・日ごろから自治組織が機能している地域の避難所は、衛生管理等の周知が行きわたりやすい。また、民生委員が住民の状況をよく把握しており、避難住民や在宅避難者に関する情報確認に大変助かった。

②今後工夫が必要な点

- ・震災数日後に現地入りしたため、隣県や現地にも物資や情報をほとんど得ることができなかった。
- ・災害発生から1～2週間は、状況が日々変化するため、必要物品等の調達は、現地の状況を確認してからが良い。
- ・被災自治体の行政機能がマヒしている状況下で、どのようにして住民の情報を収集し、管理するかを早い段階で確認する必要がある。
- ・自治体名や職種がはっきりと分かる、ビブスがあれば、避難住民や他自治体と関わりやすく、支援が効率よく行える。
- ・被災地の県と市間の連携がうまく取れておらず、岩手県対策本部の情報が集められるばかりで有効な対策が講じられるまでに至っていなかった。

(活動環境に関すること)

①うまくいった点

- ・事務職員が同行したことで、現地での保健師活動に専念でき、とても良い支援形態であった。
- ・夜間、避難所以外で休める場所を確保していただき、支援者自身の体調を良好に保つことができた。

②今後工夫が必要な点

- ・物資がない被災地の支援は、陸路（車の利用等）で物資を持っての支援形態が有効。
- ・派遣期間中は、余震等への対応のため、食料、水、懐中電灯及び携帯ラジオ等を常時装備しておく必要がある。
- ・派遣職員がケガや二次災害に遭遇することがないように、安全に活動するためのポイントを事前に確認する必要がある。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：第1段階〔3/14～4月末〕

(課題)

- ・ライフラインが途絶えたままの避難所生活は、精神的にも身体的にも健康な状態を維持する上で大きな支障となっていた。
- ・支援物資等は、早い段階で現地の本部に届いていたが、ガソリン等がなく、被災者の下へ届けることが困難な状況にあった。
- ・避難所は、現地市職員が寝泊りをして支援にあたっていたため、市職員自身の疲労が激しく、現地市職員の支援も含めて行っていく必要があった。
- ・市民の気持ちが今後の生活について考えることができる時期になると、住まいの確保や就労支援のニーズが高まってくると考えられた。

(支援時期)：第2段階〔4/30～6月末〕

(課題)

- ・生活の場が避難所から仮設住宅等へ移行する時期となり、仮設住宅等で孤立させないための働きかけが必要であった。
- ・支援体制について、被災地の県と市の間で情報や意向に差があり、活動を行う際に戸惑うことがあった。

6 被災地の中長期的な課題

- ・被災自治体による的確な調整能力、情報の集約化及び情報発信
- ・早い段階での安全安心な住まいの確保及びメンタルヘルスケア対応実施
- ・被災者でもある現地市職員への支援を視野に入れた支援体制づくり
- ・表面化しづらい子どもたちの精神面への支援
- ・仮設住宅への移行期に、避難所に残っている方たちへのこころのケア

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・被災自治体にとっては、有効な支援体制の1つであるが、派遣元の自治体の本来業務への影響が懸念される。
- ・1対1のパートナー制では、1つの自治体への負担が大きくなることが予想されるため、支援する側の自治体を2～3自治体とするチーム編成でのパートナー制が有効と考える。

回答自治体名：福岡市

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：福岡市
- 2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県石巻市
- 3 支援した期間：宮城県仙台市（3月16日～29日）
石巻市（3月29日～継続中）
福島県相馬市（4月6日～5月26日）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
(活動内容に関すること)
 - ・他都市と情報交換をし、現地の状況をみながら時期に応じた対応ができた。
 - ・専門職と事務職をチームで配置したことで効率よく活動できた。(活動環境に関すること)
 - ・同時期に複数の都市への派遣は、派遣職員の活動環境整備の面で負担がかかった。複数チームを派遣する場合も活動拠点が同一の場所にとれると今回のように長期化する場合は効率がよいのではないかと。
- 5 被災地の支援当時の課題
(支援時期)：3月16日～現在も継続中
(課題)・被災地の職員へ負担をかけない支援のあり方
 - ・現在は、通常業務への移行支援、避難が長期化する方の生活支援の継続、仮設住宅等で新生活を開始する方の健康状態の把握等
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・被害が大きく広範囲なため、住居や雇用等長期化する生活課題があり、これに伴う、生活習慣病や心の病の予防対策が必要。
 - ・被害の大きさから、自治体間の支援のみでは対応が間に合わない。緊急雇用対策等の早急な対応が必要。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・今回のように、規模が大きく長期的な対策が必要な場合は、一つの自治体でとぎれず支援を続けるには負担が大きい。固定した複数の自治体でチームを組み、計画的に一つの自治体支援を継続する等工夫が必要ではないかと。

回答自治体名：佐賀県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名： 佐賀県
- 2 最も多くの支援を行った地域名： 宮城県塩釜市・多賀城市、福島県新地町
- 3 支援した期間： 3月12日～継続中

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

- 健康相談に加え、健康体操を実施したこと。
- 日中は片付けなど留守者が多いため、対象者不在の場合のアプローチ方法に工夫が必要。
- 支援の押し付けではなく、相手が何を求めているかを引き出すこと。
また、希望に沿った支援活動をチーム完結型で行う工夫が必要。

(活動環境に関すること)

- タブレット端末の持ち込み
- レンタカー等活動車両・パソコン・プリンター等、活動に必要な器材等の持ち込み
- 同時期に同地域で活動するチーム間での情報共有
- 保健・医療の専門職に加え、調整員を随行させたこと。
- 後方（派遣自治体）での情報収集、整理、派遣チームへの情報提供
- 受け入れ自治体の負担軽減に配慮した支援のあり方に工夫が必要
- 一時的な支援チームにも活動拠点の設置は必要
- 受け入れ自治体、派遣自治体にそれぞれ何を報告すべきかの整理・統一

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期) 震災発生直後

(課題)

- ・ライフライン壊滅状態下での支援活動のあり方。
- ・全国から大量に支援物資が届く一方、現地の支援人員不足というギャップの解消

(支援時期) 3月末～

(課題)

- ・解決すべき課題の優先づけ
- ・懸案事項に対する表面的な解決ではなく、根本原因の発見及び対処
(医療体制は復旧していても、受診のための移動手段がない等の状態の改善)

(支援時期) 4月下旬～

(課題)

- ・支援チーム毎に被災者へ同じ質問を繰り返すなど、心理的負担をかけている状況あり。
避難所の居住図作成、健康情報等のデータベース構築を行い、継続支援に繋げる工夫。
- ・心のケアの必要性がさらに顕在化

(支援時期) 5月後半～

(課題)

- ・避難所、仮設住宅等の健康なお年寄りが所在なくごろごろしている状況。
寝たきり防止の対策

(支援時期) 6月中旬～

(課題)

- ・自宅被災者、仮設住宅へ移行した者（特に高齢者・独居者）のフォロー
- ・他市町村からの避難者に対する平常時の住民サービス提供主体が不明確

(支援時期) 全期間

(課題)

- ・受け入れ自治体との連携（負担を最小限にする支援・連携のあり方）
- ・同一地区に複数の支援チームが入った場合の連携

6 被災地の中長期的な課題

- 被災者・支援者に対する心身両面のケア、休養の場の提供
- 仮設住宅移行後における生活困窮者、高齢者等への関わり
- 医療機関・福祉施設の再建（収入確保、職員の退職防止、医師確保）
- 生活・復興支援の大枠の中での、医療・健康支援の位置づけを明確化
- 次第に変化するフェイズに求められる支援内容を的確に把握し、提供する体制整備
- 被災地の再建・自立ビジョンに沿った支援の実施

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

派遣者からは総じて、肯定的な意見が多く見受けられた。

(容認派)

- ・中長期的に責任を持った支援活動の構築が可能。
- ・効率的であり、受け入れに係る調整の労力を他にまわすことが可能。

(慎重派)

- ・パートナー制をとっても、派遣職員が短期間で入れ替わるとすれば思ったほどの効果があるのか不明。

パートナー制を導入するに当たっては、下記のようなポイントを押さえる必要があるのではないかと。

- ・当該自治体が必要としている支援の把握、それを支援できる自治体とのマッチングをどこで行うのか。
- ・長期的にパートナー制での支援を行う場合、
まず、先方の状況調査、活動内容の検討、支援管理責任者（全体状況を把握する者）を設置した上で、支援活動の実施・活動状況把握→活動内容の評価→必要な変更・改善→支援活動の実施というルーティン化（PDC Aサイクルの採用）

回答自治体名：長崎県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：長崎県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：
 - ・宮城県仙台市（心のケアチーム）、福島県郡山市（診療放射線技師チーム）
 - 福島県伊達市（保健師チーム）
- 3 支援した期間：平成23年3月～現在
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
(活動内容・環境に関すること)
 - ・各被災地にて保健師・心のケア・診療放射線技師チームを派遣し、被災者の支援に努めた。職員の協力のもと交代制ではあるが継続的な支援を行なっている。
 - ・支援物資については、被災地の情報収集に努め、ニーズに合わせた物資の輸送に努めているが、毛布、オムツ等については被災地のニーズがなく在庫として保管中であり、今後の検討が必要。
- 5 被災地の支援当時の課題
(支援時期)：平成23年3月
(課題)
 - ・被災地においては、自治体職員の多くが被災者という現状であり、被災後の混乱の中ではあったが、対策本部と各避難所の情報ネットワークの構築の必要を感じた。
 - (同一人が複数の避難所に存在の可能性、避難所間の物資・食料の充足度の格差、医療食が必要な人の情報の把握 など)
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・避難所の効率的な運営のためにも、情報ネットワークによる各避難所間の連絡調整や情報共有が必要であり、また、報道等による情報からくる風評被害も懸念され、復興に向けた市民等への正確で速やかな情報伝達は、不安解消に必要と考える。
 - ・放射線に対する県民の恐怖心は根深いものがあり、継続的なケアが求められる一方で、支援側の専門職への過大な負担増となっている。
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・パートナー制による支援は、交代制による支援の場合、現況及び必要な支援の状況等が後続支援者や地元自治体への引継が効果的に行える。

回答自治体名：熊本県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：熊本県

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県本吉郡南三陸町

3 支援した期間：平成 23 年 3 月 21 日～現在派遣中

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

医師、薬剤師、保健師、事務職など多様な職種で派遣チームを構成したため、健康調査から診察、処方と単独チームで完結した活動ができ、特に急性期、亜急性期においては有効であった。

派遣チーム間の引継がうまくいかない場合がある。

(活動環境に関すること)

被災者が他の自治体へ避難している場合、自治体間の連絡・理解が不十分な場合もあった。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：被災直後

(課題)

役場、医療機関、介護施設やライフラインが壊滅的被害を受けているなか、被災地への交通手段や、宿泊施設の確保、必要な物資等の情報収集や各機関との連絡調整が困難な状況であった。

現地機関の職員も被災しており行政機能の維持が厳しい状況であった。

6 被災地の中長期的な課題

・通常活動への移行に向けて、総合的・計画的に支援活動をコーディネートする機能が必要

・必要な福祉サービスの提供に向け、計画的な活動を行う人材が重要

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

活動におけるノウハウの蓄積や、必要な物品や活動内容の引継を考慮すると、パートナー制は評価できる。

回答自治体名：大分県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：大分県
- 2 最も多くの支援を行った地域名：福島県いわき市
- 3 支援した期間：4月23日～8月末（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

医師、保健師、管理栄養士など被災地のニーズに応じた職員派遣ができたのではないかと。急性期には他の職種もどこへでも派遣できる体制を整えていたのだが、被災地とのマッチングがうまくできなかった。

（活動環境に関すること）

現地ではホテルやレンタカー等の準備ができた。急性期にはガソリンや食料も不足しがちではあったが、支援活動への支障はなかった。

家庭訪問では不在も多く、住民に会うための対策が必要。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：現在も支援活動中

（課題）支援チームの訪問等により借り上げ住宅等に入居している避難住民や地域住民の健康状況や課題が把握されている。これから、その対策を地元の保健師等が主体的に担わなければならないが、支援がなくなれば、そこまで手がまわるか気になるところである。

- 6 被災地の中長期的な課題

支援している被災地は原発事故という解決の糸口がみえない難題を抱えており、当面避難住民等の健康課題に対し、適切な対応を行うことは大切なことだが、同時に安心して暮らせる地域社会の再建をどうするかという大きな課題の解決を迫られている。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

長期的な派遣が可能であれば、一定の復旧の目処がつくまで、パートナー制による支援の方が良いと考える。

回答自治体名：宮崎県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：宮崎県

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県宮古市、釜石市

3 支援した期間：平成23年3月23日～

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

(活動内容に関すること)

震災直後は、被害の情報を発信する機能すら失われた地域もあり、支援の意思はあっても、どこでどのような支援が必要かといった情報が伝わってこなかった。

(活動環境に関すること)

自己完結型である自衛隊の活動は、うまく機能したのではないか。

5 被災地の支援当時の課題

(支援時期)：仮設住宅への入居開始時期

(課題) 避難所でこころのケアを行っていた被災者を訪問したところ、知らない間に仮設住宅等へ転居されており、その後の足取りがつかめないことがあった。

6 被災地の中長期的な課題

◆診療拠点の確保

もともと閉鎖的な精神科病院しかなく、住民が日常的に診療を受けられる医療機関がない被災地もある。

◆保健師や看護師の活動から、医療支援につなげるための体制づくり

仮設住宅への入居が進んでいることから、保健師等の戸別訪問の結果を効率的に医療につなげる必要がある。

◆上記の体制構築には、地方公共団体の支援では限界があり、国の全面的な支援(人、金)が必要。

7 パートナー制による支援(一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法)についてのご意見

被災地における支援の工程(いつまでにどういった支援が必要かといったこと)と支援自治体の役割分担を示し、その情報を公開していくことも必要ではないか。

回答自治体名：鹿児島県

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名：鹿児島県

2 最も多くの支援を行った地域名：宮城県牡鹿郡女川町

3 支援した期間：平成 23 年 3 月 23 日～現在（～9 月 30 日予定）

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

先に活動していた心のケアチームと、4月1日から活動を始めた保健活動チームが同地区で活動したため、派遣体制において柔軟な対応ができた。

（活動環境に関すること）

県チームは、自動車や必要物品を確保して現地入りした。また、随時、県担当者と連携を取り、不足物品等を補充するように努めた。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：被災直後～3ヶ月

（課題）

情報不足（必要な情報が伝わっていない）。物品不足。

住民に関するデータがない。

現地に多種多様な方々が支援に入り、担当部署は対応に苦慮していた。

6 被災地の中長期的な課題

公衆衛生活動に移行する中、広域的災害では、国で復興見通しを立て、公衆衛生医等の派遣を要請し、組織的継続的な支援に繋げる必要がある。

地域活動において、現地で継続的に活動できる人材を現地で確保することが困難である。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

医療、保健・福祉支援等の派遣先が同一自治体であると、支援が継続的で効率的な活動に繋がる。そのために広域的な災害に備え、平常時に広域的な担当を決めておくことで、迅速な対応が可能になると思われる。

今回、複数の関係機関から各自治体に対し派遣依頼があったため、対応に手間取ったところである。そのため、派遣依頼を国等で一本化し、見通しを立て依頼を行っていただく方が、継続的支援に繋がると考える。

回答自治体名：沖縄県（こころのケアチーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：沖縄県（こころのケアチーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県大船渡市
- 3 支援した期間：4月～6月
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点
 - 良い点（活動内容に関すること）
 - ・こころのケアの相談日、場所を設置して週一回対応している。（現地の従来の精神保健相談機能の回復を図る）
 - ・特別支援学校での相談日が設定できたこと。
 - ・健康教室開催が参加者が多くなる夜間帯に開催できたこと。
 - 検討点（活動環境に関すること）
 - ・支援チームの活動範囲が広く、移動に時間がかかる。
 - ・避難所と自宅訪問が多いが、対象者の留守が多く、時間的ロスが多い。
- 5 被災地の支援当時の課題
 - （支援時期）：4月～6月
 - （課題）
 - ・日中の対象者が4・5月に比べると減少し、接点がもてないことから活動内容の点検など地元職員のコーディネートが大切。
 - ・病院に紹介状を書いても、受診しないケースもある。通院手段も問題あり。
 - ・今後の地元住民の継続支援に向けて、地元の精神保健に精通した民間の支援スタッフ（地元PSW等）の協力確保が必要。
- 6 被災地の中長期的な課題
 - ・精神保健に関する地元住民の認識の問題に対して、気軽に相談できる地域全体のサポート体制作りが必要。
 - ・日中の活動が避難所、自宅が多いが、学校、職場での相談体制づくりが必要。
 - ・他府県支援チームと地元の支援者（PSW、心理士等）との混成チームも継続支援の視点から必要
- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見
 - ・一つの自治体の継続支援は、現地の人々との信頼関係構築もできるので、有効であると考えます。特に、精神保健福祉の分野は、対象者との信頼関係は重要。

回答自治体名：沖縄県（医療救護班）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

1 回答自治体名： 沖縄県（医療救護班）

2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県宮古市

3 支援した期間：3月22日～4月30日

4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）うまくいった点：地元保健師と日々連携を図り、現地の避難生活者の個人の情報把握できたこと、支援チームメンバーと地域住民との繋ぎ役を果たしてもらえたことが他地域出身の支援チームの医療支援活動においてとても有効だった。

（活動環境に関すること）うまくいった点：他地域と比べ電気・水道等の復旧も早く、地域全体として衛生環境も早期に改善されたこと、及び地域の公共施設の提供等、支援チームの受入れが迅速に行われ活動拠点の確保がスムーズに行えた。

5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：4月中旬以降

（課題）立ち上がりつつある地元医療機関の保険診療と、医療支援チームの無償診療をどこで線引きして割り振るかの見極め、および徐々に急性期の医療ニーズが薄れていく中、隊員のモチベーションのコントロール。

6 被災地の中長期的な課題

医療ニーズを踏まえて医療支援活動の拠点変更、または活動終了する際に、いかに地域住民の理解を得ながら地元医療機関へ繋げていくか。

7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

隣県ではなくあえてお互いに距離のある自治体同士が支援の枠組みを平時から作り人的交流を図っておくことで、将来の災害において、同時被災のリスクを避け、広域かつ迅速な相互応援体制を整えることができると考える。

回答自治体名：沖縄県（保健師チーム）

被災地への支援を通じて把握した被災地の課題等の調査について

調査の趣旨

震災直後の急性期が終わり、今後は復旧状況に応じて変化する被災地の課題に合わせた支援が必要となりますが、課題を把握するために被災地に調査照会するのは困難であるため、支援に入るチームが支援の過程で被災地の課題を把握していくことが重要になると考えています。

つきましては、今までに実施された支援チームが感じた被災地の課題について、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 回答自治体名：沖縄県（保健師チーム）
- 2 最も多くの支援を行った地域名：岩手県大船渡市
- 3 支援した期間：平成 23 年 3 月 22 日～7 月 31 日（予定）
- 4 被災地への支援の中でうまくいった点、及び今後工夫が必要な点

（活動内容に関すること）

- ・ 保健師と事務職員のペアでチーム編成することにより、保健師が保健活動に集中して取り組むことができた。
- ・ 前任と後任のチームが現地で時間を充分確保して引き継ぎができる体制を確保したことで、活動が円滑に継続できた。

（活動環境に関すること）

- ・ 派遣元自治体と派遣チームとの情報伝達手段（メールや F A X 等）の確保に工夫が必要。（現地自治体等の機器を使用しにくい状況があった。）
- ・ 活動拠点を確保することで、支援者の活動を支援することができた。

- 5 被災地の支援当時の課題

（支援時期）：平成 23 年 3 月 22 日～27 日

（課題）

- ・ 生活物資（水、食料、薬等）の確保が困難。
- ・ 余震等が発生した場合の避難場所や連絡方法等の情報が不十分。
- ・ 支援活動時の身分証明のあり方（支援者を不審者と警戒する事例もあった。）

（支援時期）：被災後 1 ヶ月以内

（課題）

- ・ 慢性疾患、精神疾患等の治療中断者への対応
- ・ 感染予防策、食中毒予防対策

- 6 被災地の中長期的な課題

- ・ 被災者へのケアを効果的に行うためには、被災者と支援者の信頼関係構築が重要であるが、一定期間（1 ヶ月以上）継続して支援できる人材を確保するのが困難。
- ・ 被災者が被災地で円滑に生活できる環境を確保するため、人間関係やコミュニティーの再構築に向けた支援が必要。
- ・ 各支援チームから引き継がれた個別支援を必要とするケースへの対応、乳幼児健診、妊産婦管理、一般の住民健診等通常の保健活動の企画実施体制の整備等が課題になってくると思われる。
- ・ 派遣チーム引き上げ後も必要な支援が継続できるよう把握したケースの整理が課題となる。

- 7 パートナー制による支援（一つの被災自治体を一つの自治体が長期的に支援する方法）についてのご意見

- ・ 被災地への支援については、支援活動拠点（宿泊所）の確保、次チームへの事務引き継ぎの円滑化等の面から、パートナー制による支援が望ましいと考える。